

## 所蔵図書(3501-4000) (Tanaka Yutaka)

### 3501) 「文學界」 11 月号 1983 <創刊 50 周年記念特大号>

#### <創作特集>

河馬に噛まれる(大江健三郎)/祖母の乳(丹羽文雄)  
泣鬼とアイルランドの紳士(庄野潤三)/青頭巾談議(円地文子)  
つや(水上勉)/海を渡って來休日(中里恒子)/冬のかまきり(畑山博)  
残りの花(中上健次)/力(宮本輝)/食べる男(井上光晴)  
詩・中国の旅から(清岡卓行)/龍陵会戦(古山高麗雄)  
はみだした明日(中野孝次)/フーシェ革命暦(辻邦生)  
隅田川暮色(芝木好子)

銷夏問答(永井龍男)/文學界の表紙(宇野千代)

「祭礼の日」から 30 年(吉行淳之介)/茫々 30 年(安岡章太郎)

蛙の産卵(遠藤周作)/物騒だけれど痛切な挿話(開高健)

王朝和歌の入寂(丸谷才一)/編輯室は四畳半(野々上慶一)

原稿二つ(式場俊三)

<鼎談・「文學界」 50 年のあゆみ><戦後篇>(中村光夫・江藤淳・磯田光一)

コントロールタワー<「文學界」匿名批評史(下)>

感觸的昭和文壇史(野口富士男)

文芸時評(饗庭孝男)

同人雑誌評(大河内昭爾)

木のイメージ<扉の詩>(石垣りん)

海外文学展望(独・高辻知義/米・志村正雄/仏・豊崎光一)

「文學界」 50 年評論傑作選

世評に答へる(林房雄)/二葉亭四迷論(中村光夫)/芥川賞予選記(川端康成)

古典美への誘惑者(亀井勝一郎)/遠野物語から(桑原武夫)

モツアルトの憂鬱(河上徹太郎)/実朝(小林秀雄)

石鎚山<日本の名山>(深田久彌)/平衡操作による文学<伊藤整論>(奥野健男)

生活演技説・修正(平野謙)/劣等生・小不具者・そして市民(服部達)

奴隷の思想を排す(江藤淳)/小説の再発見(山本健吉)

「文学」以前(篠田一士)/殉教の美学<三島由紀夫論>(磯田光一)

「宮本武蔵」と「柳生武芸帳」(秋山駿)

雲<扉の詩>(室生犀星)

同人雑記・編集後記抄(川端康成・小林秀雄・林房雄ほか)

文學界新人賞応募規定

文學界新人賞中間発表

昭和 58(1983)年 11 月 1 日発行(文藝春秋)

### 3502) 「文學界」 5 月号 1983 <追悼特集・小林秀雄>

<絶筆・全文掲載>正宗白鳥の作について(小林秀雄)

白鳥論覚え書(郡司勝義)

<小林秀雄と私>小林秀雄・志賀直哉をめぐって(尾崎一雄)

小林さんのこと(井上靖)/お花見(円地文子)/小林秀雄君の思ひ出(丹羽文雄)

横顔(生島遼一)/中野重治と小林秀雄あるいは、一つの運命(山本健吉)

私信(西村貞二)/『コメディ・リテレール』座談会のこと(本多秋五)

小林さんと「文學界」と私(野々上慶一)/意識の奥の部屋(遠藤周作)

小林秀雄さんを思ふ(中里恒子)/小林秀雄氏の死去の折に(寺田透)

おっかさん(高見澤潤子)/或る回想<扉の詩>(草野心平)

<私にとっての小林秀雄>小林さんのお辞儀(中野孝次)

小説に近い批評(加賀乙彦)/小林秀雄と西脇順三郎(飯島耕一)

二つの祖述(竹西寛子)/再読した頃(坂上弘)/沈黙の種子(田久保英夫)

種々の陰翳(前田愛)/小林秀雄と川端康成(川端香男里)

「モオツァルト」と「本居宣長」(山口昌男)  
 <特別対談>伝えられたもの(大岡昇平・大江健三郎)  
 <追悼の小林秀雄>彼岸雨日(永井龍男)/小林さんを悼む(水上勉)  
 小林秀雄氏の思い出(藤枝静男)/小林秀雄先生の風貌(久保守)  
 <小林秀雄論>精神と身体の布置『無常といふ事』など(上田三四二)  
 批評というライフ・スタイル(佐伯彰一)/文学批評と批評文学(菅野昭正)  
 日本という幻覚(ドストエフスキー・ゴッホ・宣長)(磯田光一)  
 批評の現実性(栗津則雄)/行為する思索(西尾幹二)  
 花やかへりて我を見るらん(高橋英夫)  
 小林秀雄--その古代回帰の劇(清水孝純)  
 ドストエフスキ論と歴史感情(桶谷秀昭)  
 小林秀雄氏と儒学的なるもの(野口武彦)  
 言語としての歴史『本居宣長』を中心に(饗庭孝男)  
 小林秀雄の現代性(秋山駿)  
 <小林秀雄略年譜>(制作・郡司勝義)  
 冬への順応(南木佳士)  
 お菓子の時間(井上光晴)  
 隅田川暮色(連載第8回)(芝木好子)  
 陽気なクラウン・オフィス・ロウ(連載第17回)(庄野潤三)  
 フーシェ革命暦(連載第50回)(辻邦生)  
 感触的昭和文壇史(野口富士男)  
 文芸時評(饗庭孝男)  
 <書評>藤枝静男『虚懐』(岡松和夫)/奥野健男『"間"の構造』(松本徹)  
 山本道子『ヴィレッジに雨』(木崎さと子)  
 辻邦夫『トーマス・マン』(池田浩士)  
 同人雑誌評(松本道介)  
 海外文学展望(独・高辻知義/米・志村正雄/仏・豊崎光一)  
 コントロールタワー  
 文学界新人賞応募規定  
 第56回文学界新人賞中間発表  
 昭和58(1983)年5月1日発行(文藝春秋)

### 3503) 「文学界」11月号1982

白い原(120枚)(木崎さと子)/散歩路の犬(小沼丹)  
 初めての仕事(佐江衆一)/塀(村上節)/川のなかの街(峰原緑子)  
 雪おんな(井上光晴)/風切羽(同人雑誌推薦作)(昆道子)  
 <新連載・第2回>隅田川暮色(芝木好子)  
 陽気なクラウン・オフィス・ロウ(連載第11回)(庄野潤三)  
 フーシェ革命暦(連載第44回)(辻邦生)  
 <対談・小説作法>(連載第6回)(ゲスト水上勉・中野孝次)  
 「病者」について--近代文学の弱点についての一考察(秋山駿)  
 十八世紀の江戸(暉峻康隆)/森のふくろう(馬場あき子)  
 窓外(山本道子)/渡辺一夫の<画戯>(栗坪良樹)  
 現代詩を読まないでください(荒川洋治)  
 日米関係のなかの文学--その6・知的逆襲のドラマ(佐伯彰一)  
 文芸時評--<十月>労働が労働でなくなるとき(川本三郎)  
 生活を底荷として--小関智弘『羽田浦地図』その他(久保田正文)  
 鮮やかな劇的秩序--丸谷才一『裏声で歌へ君が代』をめぐって(小田島雄志)  
 ひどいことになって来た--成城だよりⅡ・9(大岡昇平)  
 <書評>中野孝次『南チロルの夏』(高橋英夫)  
 阿部昭『単純な生活』(松本道介)  
 丸山健二『ときめきに死す』(長谷川龍生)  
 中上健次『千年の愉楽』(三浦雅士)

海外文学展望(独・高辻知義/ 米・志村正雄/ 仏・豊崎光一)  
同人雑誌評(大河内昭爾)  
一夜<扉の詩>(吉野弘)  
コントロールタワー  
文学界新人賞応募規定  
第55回文学界新人賞中間発表  
昭和57(1982)年11月1日発行(文藝春秋)

3504) 「文学界」10月号1982

<新連載>隅田川暮色(芝木好子)  
キャバレー(井上光晴)/塵の子(光岡明)/硬い光(重兼芳子)  
飯場蒲団(立松和平)/活火山(南木佳士)  
地面のした(同人雑誌推薦作)(小川登姉子)  
棲息(連載第9回)(宮本輝)  
陽気なクラウン・オフィス・ロウ(連載第10回)(庄野潤三)  
フーシェ革命暦(連載第43回)(辻邦生)  
<対談・小説作法>(連載第5回)(ゲスト遠藤周作・中野孝次)  
鹿鳴館の系譜--その8・日比谷・銀座界限(磯田光一)  
文芸時評--<九月>「さかさま」に立つ想像力(川本三郎)  
戦中世代の後衛の充実  
--三浦朱門『武蔵野インディアン』をめぐって(奥野健男)  
ミュンヘン物語--最終回・旅人の町、我が美文の町(小松伸六)  
桃源郷談義(高橋健二)/小さな町の出来事(高井有一)  
文学のトポロジー(前田愛)  
八月十五日--成城だよりⅡ・8(大岡昇平)  
<書評>富岡多恵子『遠い空』(川村二郎)/竹西寛子『兵隊宿』(大久保典夫)  
高城修三『約束の地』(川村湊)  
海外文学展望(中南米・鼓直/ 英・出淵博/ 露・川端香男里)  
同人雑誌評(大河内昭爾)  
遊糸<扉の詩>(青木はるみ)  
コントロールタワー  
文学界新人賞応募規定  
昭和57(1982)年10月1日発行(文藝春秋)

3505) 「文学界」9月号1982

<創作特集>  
霧と桜(丸山健二)/迷路の双子(吉行理恵)/俯く像(日野啓三)  
ハワイ・マラソン(三浦朱門)/足が濡れている(森内俊雄)/赤い眼(吉村昭)  
屋根裏部屋のある家(飯尾憲士)/化生の者(大原富枝)  
水上バスに乗った日(井上光晴)  
棲息(連載第8回)(宮本輝)  
陽気なクラウン・オフィス・ロウ(連載第9回)(庄野潤三)  
フーシェ革命暦(連載第42回)(辻邦生)  
<対談・小説作法>(連載第4回)(ゲスト大江健三郎・中野孝次)  
変容つづける人物--大庭、津島、古井にみる「文学主義」(松本徹)  
日米関係のなかの文学--その5・和辻哲郎のアメリカ論(佐伯彰一)  
文芸時評--<八月>村上春樹をめぐる解説(川本三郎)  
戦中世代の後衛の充実  
--三浦朱門『武蔵野インディアン』をめぐって(奥野健男)  
ミュンヘン物語--その15・崩壊と再建(小松伸六)  
テープレコーダー(桑原武夫)/世界口腹文学余話(篠田一士)  
竹中郁さんの勁さ(足立巻一)/科学と文学の人間観(重兼芳子)  
西鶴小言(森銑三)

重たい夏--成城だよりⅡ・7(大岡昇平)  
＜書評＞阿川弘之『テムズの水』(河盛好蔵)  
三浦哲郎『おろおろ草紙』(綱淵謙錠)  
辻邦生『樹の声海の声』(源高根)  
日野啓三『天窓のあるガレージ』(川西政明)  
同人雑誌評(近藤信行)  
海外文学展望(仏・豊崎光一/独・高辻知義/米・志村正雄)  
CANTA LUNATICA＜扉の詩＞(高橋睦郎)  
コントロールタワー  
文学界新人賞応募規定  
昭和57(1982)年9月1日発行(文藝春秋)

3506) 「文学界」 8月号 1982

＜創作特集＞  
老詩人の肖像(坂上弘)/稲妻(上田三四二)/子供地蔵(後藤明生)  
土手(村上節)/子猫のコは子猫のコ(高橋揆一郎)/天国(井上光晴)  
棲息(連載第7回)(宮本輝)  
陽気なクラウン・オフィス・ロウ(連載第8回)(庄野潤三)  
フーシェ革命暦(連載第41回)(辻邦生)  
＜対談・小説作法＞(連載第3回)(ゲスト尾崎一雄・中野孝次)  
自然と内面(中上健次論)(栗津則雄)  
本多秋五『古い記憶の井戸』を読んで(藤枝静男)  
十二年目のパリ(飯島耕一)/もう一人の千利休(渡辺保)  
ノンフィクション考(三枝和子)  
ロルカ＜汎セクシュアリストの肖像＞(野々山真輝帆)  
鹿鳴館の系譜＜『田園の憂鬱』の周辺＞(磯田光一)  
文芸時評＜さまざまな『迷い子』たち＞(川本三郎)  
ミュンヘン物語＜第二次大戦開戦前夜の町＞(小松伸六)  
咎め立て--成城だよりⅡ・6(大岡昇平)  
＜書評＞中里恒子『青い炎』(佐伯彰一)/大岡昇平『ながい旅』(秋山駿)  
山口瞳『婚約』(長部日出雄)/井上光晴『明日』(篠田浩一郎)  
高橋揆一郎『晩籟[ばんらい]』(勝又浩)  
＜同人雑誌推薦作＞広島巡礼(亀沢深雪)  
同人雑誌評(近藤信行)  
海外文学展望(英・出淵博/中南米・鼓直/露・川端香男里)  
夏の似せ絵＜扉の詩＞(澁沢孝輔)  
コントロールタワー  
文学界新人賞応募規定  
昭和57(1982)年8月1日発行(文藝春秋)

3507) 「文学界」 7月号 1982

猫っ毛時代--性を夢見る少年を嘲弄する夏(青野聰)  
サン・モールの月(鈴木重生)/南風(井上光晴)  
くもり日＜同人雑誌推薦作＞(谷川朝子)  
大江健三郎または死と言葉(三浦雅士)  
断作戦(最終回)(古山高麗雄)  
陽気なクラウン・オフィス・ロウ(連載第7回)(庄野潤三)  
フーシェ革命暦(連載第40回)(辻邦生)  
＜対談・小説作法＞(連載第2回)(ゲスト野間宏・中野孝次)  
受難の文学--検閲と亡命＜共同討議＞(江川卓・高辻知義・野々山真輝帆・鼓直)  
外国から来た日本の古典(中村真一郎)/読書する姿(吉田秀和)  
ある郷愁のこと(大橋健三郎)/第二作目のジंकス(池田満寿夫)  
敵のイメージ--日米関係のなかの文学・4(佐伯彰一)

文芸時評<六月>加速する時間と作家たち(川本三郎)  
"冬の時代"へ<ミュンヘン物語・13>(小松伸六)  
「愛する女であれ」--成城だよりⅡ・5(大岡昇平)  
<書評>小林秀雄『本居宣長 補記』(栗津則雄)  
芝木好子『貝紫幻想』(桶谷秀昭)  
野口富士男『相生橋煙雨』(高橋昌男)  
加賀乙彦『錨のない船』(工藤正広)  
同人雑誌評(近藤信行)  
海外文学展望(米・志村正雄/ 仏・豊崎光一/ 独・高辻知義)  
排泄戦線<扉の詩>(ねじめ正一)  
コントロールタワー  
文学界新人賞応募規定  
昭和 57(1982)年 7 月 1 日発行(文藝春秋)

3508) 「文学界」 6 月号 1982

<第 54 回文学界新人賞決定発表>  
<受賞作>あなしの吹く頃(田中健三)  
<佳作>A・B・C.....(佐藤竜一郎)  
<選評>(柴田翔・清岡卓行・古井由吉・阿部昭・田久保英夫)  
吹き流し(木崎さと子)/楓の下で(黎[れい]まやこ)/約束(宮原昭夫)  
むささびの夜(大原富枝)/恋文(井上光晴)  
断作戦(連載第 15 回)(古山高麗雄)  
フーシェ革命暦(連載第 40 回)(辻邦生)  
棲息(連載第 6 回)(宮本輝)  
坂上人形--成城だよりⅡ・4(大岡昇平)  
<対談・小説作法>(新連載)(ゲスト吉行淳之介・中野孝次)  
鹿鳴館の系譜<『明星』派の水脈>(磯田光一)  
文芸時評<五月>「生々しさ」を失った「性」(川本三郎)  
陽気なクラウン・オフィス・ロウ(連載第 6 回)(庄野潤三)  
ミュンヘン物語(連載第 12 回)--大正教養主義者の未来(小松伸六)  
伴信友と保田與重郎(川村二郎)  
独り遊び(中谷孝雄)/ある短篇小説(黒井千次)/予知(司修)  
その晩年--「白秋めぐり」追記(山本太郎)  
芥川賞のことなど(瀧井孝作)  
<付記>瀧井孝作氏の近況(近藤信行)  
<書評>上田三四二『花衣』(西尾幹二)/古井由吉『山躁賦』(饗庭孝男)  
遠藤周作『女の一生 第一・二部』(菅野昭正)  
宮本輝『錦繡』(古屋健三)  
同人雑誌評(松本道介)  
海外文学展望(露・川端香男里/ 中南米・鼓直 / 英・出淵博)  
ロマネスク<扉の詩>(那珂太郎)  
コントロールタワー  
文学界新人賞応募規定  
昭和 57(1982)年 6 月 1 日発行(文藝春秋)

3509) 「文学界」 5 月号 1982

<新鋭作家競作>残光(高樹のぶ子)/雨過ぎ(車谷長吉)  
ユーカリの林(岡松和夫)/変形(後藤明生)  
宇宙船(佐江衆一)/カプセル(井上光晴)  
薔薇噴水(134 枚)--においをめぐる家族の確執(光岡明)  
断作戦(連載第 14 回)(古山高麗雄)  
陽気なクラウン・オフィス・ロウ(連載第 5 回)(庄野潤三)  
棲息(連載第 5 回)(宮本輝)

悪のひそむ市井(野口武彦)  
 戦争反応の水脈--日米関係のなかの文学・3(佐伯彰一)  
 文芸時評<四月>「文学とは旅である」(川本三郎)  
 ミュンヘン物語(連載第11回)--ヒトラー一揆(小松伸六)  
 『万葉集』雑記(川崎長太郎)/小説家の素地(野口富士男)  
 死者の時(鷺巣繁男)/日本小説をよむ会のこと(山田稔)  
 見ざる、聞かざる、歩けざる--成城だよりⅡ・3(大岡昇平)  
 <書評>庄野潤三『早春』(足立巻一)/吉村昭『破船』(高井有一)  
 大岡昇平『生と歌 中原中也その後』(中村稔)  
 清水孝純『ドストエフスキー・ノート』(木村彰一)  
 同人雑誌評(松本道介)  
 海外文学展望(独・高辻知義/米・志村正雄/仏・豊崎光一)  
 蜜蜂が眠っている間に<扉の詩>(田村隆一)  
 コントロールタワー  
 文学界新人賞応募規定  
 第54回文学界新人賞中間発表  
 昭和57(1982)年5月1日発行(文藝春秋)

3510) 「文学界」4月号1982

<文学界新人賞受賞第一作>雨季(第52回受賞者)(峰原緑子)  
 重い陽光(第53回受賞者)(南木佳士)  
 冬の幻(飯島耕一)/四面道の赤ん坊(三枝和子)  
 鮫の歯(高橋昌男)/黄金バットの空(井上光晴)  
 断作戦(連載第13回)(古山高麗雄)  
 フーシェ革命暦(連載第38回)(辻邦生)  
 棲息(連載第4回)(宮本輝)  
 成城だよりⅡ・2--寒中数学(大岡昇平)  
 鹿鳴館の系譜 その5--「小学唱歌」考(磯田光一)  
 室原友幸之墓(杉浦明平)/板橋・練馬(高橋英夫)  
 仕込みということ(竹西寛子)/オフエンバックの目(澁澤龍彦)  
 陽気なクラウン・オフィス・ロウ(連載第4回)(庄野潤三)  
 ノンフィクションの言語(短期連載・下)(篠田一士)  
 ミュンヘン物語(連載第10回)--バイエルン革命(小松伸六)  
 老樹のこころ<島村利正論>(勝又浩)  
 文芸時評<三月>「消滅」と「生成」の往還(川本三郎)  
 <書評>日野啓三『抱擁』(秋山駿)/北杜夫『輝ける碧き空の下で』(山田智彦)  
 岩阪恵子『蟬の声がして』(荒川洋治)  
 海外文学展望(中南米・鼓直/英・出淵博/露・川端香男里)  
 同人雑誌評(松本道介)  
 天の居酒屋で<扉の詩>(草野心平)  
 コントロールタワー  
 文学界新人賞応募規定  
 昭和57(1982)年4月1日発行(文藝春秋)

3511) 「文学界」3月号1982

さかさまに立つ「雨の木[レイン・ツリー]」(大江健三郎)  
 三次(小川国夫)/祝福の夜(曾野綾子)/歳月(大原富枝)  
 日曜日のキャットフード(井上光晴)/冬日(上田三四二)/岩礁(笠原淳)  
 断作戦(連載第12回)(古山高麗雄)  
 青い炎(最終回)(中里恒子)  
 フーシェ革命暦(連載第37回)(辻邦生)  
 棲息(連載第3回)(宮本輝)  
 成城だよりⅡ・新連載1--犬のいる正月(大岡昇平)

陽気なクラウン・オフィス・ロウ(連載第3回)(庄野潤三)  
 トールノン行(河盛好蔵)  
 ミュンヘン物語(連載第9回)--亡命者の植民地(小松伸六)  
 「世界」の構造--鶴屋南北の忠臣蔵劇(川村湊)  
 トラーヴェミュンデの石(阿部昭)/二重の視野(菅野昭正)  
 貴重な体験(津島佑子)/オイレンシュピーゲルと驢馬(阿部謹也)  
 真珠湾の影--日米関係のなかの文学・2(佐伯彰一)  
 文芸時評<二月>家族がブキミになる時(川本三郎)  
 ノンフィクションの言語(短期連載・中)(篠田一士)  
 <書評>岩橋邦枝『浅い眠り』(古屋健三)/円地文子『鴉戯談』(大河内昭爾)  
 辻邦生『十二の肖像画による十二の物語』(平岡篤頼)  
 <九州芸術文学賞 受賞作>黄色いハイビスカス(蔵原惟和)  
 <選評>しっかりした短篇小説(秋山駿)  
 海外文学展望(独・高辻知義/米・志村正雄/仏・豊崎光一)  
 同人雑誌評(松本徹)  
 裸木<扉の詩>(宗左近)  
 コントロールタワー  
 文学界新人賞応募規定  
 昭和57(1982)年3月1日発行(文藝春秋)

3512) 「文学界」 2月号 1982 新春特別号

<特別対談>歴史小説の新手法(安岡章太郎・大江健三郎)  
 鳶(水上勉)/大きな鞆(小沼丹)/骨(三浦朱門)/晩夏の出来事(山田智彦)  
 光の箱(小関智弘)/恋物語(井上光晴)  
 草の壁<同人雑誌推薦作>(堀 巖)  
 断作戦(連載第11回)(古山高麗雄)  
 青い炎(連載第14回)(中里恒子)  
 フーシェ革命暦(連載第36回)(辻邦生)  
 棲息(連載第2回)(宮本輝)  
 ミュンヘン物語(連載第8回)--日曜日の美術館(小松伸六)  
 詩人・芥川比呂志(中村真一郎)  
 鹿鳴館の系譜(磯田光一)  
 <新連載1> 日米関係のなかの文学--アメリカの衝撃(佐伯彰一)  
 雑雑雑雑(草野心平)/わが友、ホッカイさん(佐江衆一)  
 <銀座>めぐり(三田誠広)/風俗を謳う(牧羊子)  
 <私>小説とは何か--日本の心性との関わり(饗庭孝男)  
 ノンフィクションの言語(短期連載・上)(篠田一士)  
 文芸時評<一月>不確かな現在への執着(川本三郎)  
 <書評>井上靖『本覚坊遺文』(福田宏年)/安東次男『連句入門』(栗津則雄)  
 野口富士男『いま道のべに』(桶谷秀昭)  
 陽気なクラウン・オフィス・ロウ(連載第2回)(庄野潤三)  
 海外文学展望(露・川端香男里/中南米・鼓直/英・出淵博/)  
 同人雑誌評(松本徹)  
 ことば<扉の詩>(石垣りん)  
 コントロールタワー  
 文学界新人賞応募規定  
 昭和57(1982)年2月1日発行(文藝春秋)

3513) 「文学界」 1月号 1982 新年特別号

<新連載>陽気なクラウン・オフィス・ロウ(庄野潤三)  
 棲息(宮本輝)  
 フーシェ革命暦(第二部)(辻邦生)  
 <中篇>相生橋煙雨(野口富士男)

陶磁の夢(中村真一郎)/どこの港へつくじゃやら(富士正晴)  
 微笑(瀬戸内晴美)/毫碌(杉森久英)/白頭鷺(大庭みな子)  
 29歳のよろい戸(日野啓三)/五分間の事件(高井有一)  
 サイギサイギ(後藤明生)/知らない顔(黒井千次)/沈む部屋(増田みず子)  
 藪椿のころ(梅原稜子)/テニスコート(井上光晴)  
 <鼎談>世紀末について--明治の日本が接したヨーロッパ文化の光と影  
 (中村真一郎・瀬木慎一・阿部良雄)  
 断作戦(連載第10回)(古山高麗雄)  
 青い炎(連載第13回)(中里恒子)  
 晩籟(最終回)(高橋揆一郎)  
 石川淳論(最終回)(栗津則雄)  
 ミュンヘン物語(連載第7回)--若き芸術家たちの町(小松伸六)  
 <共同討議>日本文学の現在(篠田一士・奥野健男・秋山駿・西尾幹二・桶谷秀昭)  
 思ひ込み・早とちり(尾崎一雄)  
 大正のスタンダード(大岡昇平)  
 谷崎潤一郎と私(深沢七郎)  
 漱石とドストエフスキ--病理・文明・小説(桶谷秀昭)  
 外国人を書く(遠藤周作)/冬眠(宮尾登美子)  
 この九月は...(古井由吉)/ブラジルの日本文学(岡松和夫)  
 <対談時評>小説の「作り」(川村二郎・後藤明生)  
 <書評>井伏鱒二『海揚り』(河盛好蔵)/江藤淳『落葉の掃き寄せ』(田中英道)  
 増田みず子『麦笛』(畑山博)  
 丸山健二『さらば、山のカモメよ』(大橋健三郎)  
 同人雑誌評(松本徹)  
 海外文学展望(仏・豊崎光一/独・高辻知義/米・志村正雄)  
 夕日のつぶやき<扉の詩>(鮎川信夫)  
 コントロールタワー  
 文学界新人賞応募規定  
 昭和57(1982)年1月1日発行(文藝春秋)

#### 3514) 「文学界」12月号1981

<第53回文学界新人賞決定発表>  
 <受賞作>破水[はすい](南木佳士)  
 <佳作>田舎審判(最上典世)  
 <選評>(柴田翔・清岡卓行・古井由吉・阿部昭・田久保英夫)  
 南チロルの夏(中野孝次)/夏草(木崎さと子)  
 風の吹く部屋(尾辻克彦)/微笑(井上光晴)  
 断作戦(連載第9回)(古山高麗雄)  
 青い炎(連載第12回)(中里恒子)  
 晩籟(連載第12回)(高橋揆一郎)  
 海辺の時間--阿部昭論(松本道介)  
 鹿鳴館の系譜 3--東京外語と漱石山房・上(磯田光一)  
 石川淳論 5--ロマネスクの構造(栗津則雄)  
 ミュンヘン物語(連載第6回)--「うたかたの記」をめぐる(小松伸六)  
 蛇のいない風景--同時代ゲームとしてのアトランダムな文学誌(高田衛)  
 母のこと(小川国夫)/朝、軽い吐き気が(秋山駿)  
 文学と宗教の相克(上総英郎)/ある作家の危機(米川良夫)  
 清らかな詩人--保田與重郎を哭す(林富士馬)  
 <対談時評>観念と感情\*大江健三郎『「雨の木」を聴く女たち』  
 \*森内俊雄『覗く女』(川村二郎・後藤明生)  
 <書評>大江健三郎『青年へ』(三浦雅士)/小川国夫『若潮の頃』(三枝和子)  
 栗津則雄『小林秀雄論』(高橋英夫)  
 富岡多恵子『砂に風』(飯島耕一)



桶谷秀昭『中野重治--自責の文学』（岡井隆）  
同人雑誌評（大河内昭爾）  
幕末のような歳末によせて〈扉の詩〉（清水哲男）  
コントロールタワー  
文学界新人賞応募規定  
昭和 56(1981)年 12 月 1 日発行（文藝春秋）

3515) 「文学界」11月号 1981

「雨の木[レイン・ツリー]」を聴く女たち（大江健三郎）/思惑（林京子）  
トマトの話（宮本輝）/遠すぎる友（高樹のぶ子）/林檎（井上光晴）  
断作戦（連載第 8 回）（古山高麗雄）  
青い炎（連載第 11 回）（中里恒子）  
晩籟（連載第 11 回）（高橋揆一郎）  
正宗白鳥の作について（その 6）（小林秀雄）  
二つのリアリズム〈秋聲・直哉とその展開〉（高橋英夫）  
ミュンヘン物語（連載第 5 回）--"黄禍論"など（小松伸六）  
石川淳論 4--変革と散文（栗津則雄）  
「都市」の中の作家たち（村上春樹・村上龍）（川本三郎）  
真贋・三島由紀夫（伊吹武彦）/アイデンティティをなくした夜（長部日出雄）  
《アメリカ》の小説（富山太佳夫）/友だちと永久運動と夏の終わり（村上春樹）  
〈対談時評〉\*村上節『春の嵐』\*丸山健二『河』  
\*坂上弘『杞憂夢』（川村二郎・後藤明生）  
〈同人雑誌推薦作〉会津八一（堀 巖）  
同人雑誌評（大河内昭爾）  
若い整骨師の肖像〈扉の詩〉（平出隆）  
コントロールタワー  
文学界新人賞応募規定  
第 53 回文学界新人賞中間発表  
昭和 56(1981)年 11 月 1 日発行（文藝春秋）

3516) 「文学界」10月号 1981

〈文学界新人賞受賞第一作〉春の嵐（村上節）  
水上公園（岡松和夫）/地籟（大原富枝）/隻眼の人（飯尾憲士）  
〈同人雑誌推薦作〉澁刺たる幽霊（佐藤光子）  
あの橋（井上光晴）  
子規・文学と生涯を読む（大江健三郎）  
〈共同討議〉海外文学に何が起きているか  
（篠田一士・高辻知義・出淵博・志村正雄・豊崎光一・鼓直）  
断作戦（連載第 7 回）（古山高麗雄）  
青い炎（連載第 10 回）（中里恒子）  
晩籟（連載第 10 回）（高橋揆一郎）  
ミュンヘン物語（連載第 4 回）--明治十九年のミュンヘン（小松伸六）  
石川淳論 3--風俗と観念（栗津則雄）  
鹿鳴館の系譜 2--湯島天神と丸善（磯田光一）  
半紙とともに（結城信一）/鼻（三木卓）/わが翻訳事始（野坂昭如）  
意味を笑う人々（川村湊）  
〈対談時評〉表現世界の幅と類型（岡松和夫・桶谷秀昭）  
〈書評〉山本健吉『いのちとかたち』（大久保典夫）  
井上ひさし『吉里吉里人』（川西政明）  
清岡卓行『夢のソナタ』（松本道介）  
松浦理恵子『セバスチャン』（田中美代子）  
同人雑誌評（大河内昭爾）/ぶどうゼリー〈扉の詩〉（阪田寛夫）  
昭和 56(1981)年 10 月 1 日発行（文藝春秋）

3517) 「文學界」 9月号 1981

- ＜芥川賞受賞第一作＞木の芽時(吉行理恵)  
雨月(立松和平)/風の墓(森内俊雄)/百舌[もず](津村節子)  
花井場長の憂鬱(井上光晴)/無明のまつり(大城立裕)  
＜落葉の掃き寄せ＞(最終回)『戦艦大和ノ最期』初出の問題(江藤淳)  
＜付録＞未発表テキスト『戦艦大和ノ最期』(全文)(吉田満)  
正宗白鳥の作について(その5)(小林秀雄)  
断作戦(連載第6回)(古山高麗雄)  
青い炎(連載第9回)(中里恒子)  
晩籟(連載第9回)(高橋揆一郎)  
ミュンヘン物語(連載第3回)--『即興詩人』とミュンヘン(小松伸六)  
石川淳論2--「森鷗外」傍観者と散文(栗津則雄)  
不思議な興奮(後藤明生)/ある催眠術師(柄谷行人)  
もし十年早く生れていたら(高本研一)/やっさもっさ全集(田辺聖子)  
＜対談時評＞自己探求の重要性\*飯島耕一『梅雨の入り』  
\*車谷長吉『万蔵の場合』(桶谷秀昭・岡松和夫)  
＜書評＞芝木好子『玉の緒』(奥野健男)/高井有一『海の入り日』(高橋昌男)  
宮本輝『道頓堀川』(足立巻一)/峰原緑子『風のけはい』(長谷川龍生)  
高橋英夫『志賀直哉--近代と神話』(紅野敏郎)  
＜同人雑誌推薦作＞影の怯え(喜多哲正)  
同人雑誌評(近藤信行)  
《核》＜扉の詩＞(会田綱雄)  
昭和56(1981)年9月1日発行(文藝春秋)

3518) 「文學界」 8月号 1981

- ＜創作特集＞惜身命(上田三四二)/ワルキューレの光(日野啓三)  
梅雨の入り(飯島耕一)/風間[かざま](岳真也)  
サガレンの女(畑山博)/書店(井上光晴)  
＜落葉の掃き寄せ＞(7)改竄[かいざん]された経験--大東亜開戦と平野謙(江藤淳)  
＜新連載＞鹿鳴館の系譜--訳語「文学」の誕生(磯田光一)  
断作戦(連載第5回)(古山高麗雄)  
青い炎(連載第8回)(中里恒子)  
晩籟(連載第8回)(高橋揆一郎)  
海嘯(連載第66回)(金石範)  
ミュンヘン物語(連載第2回)--明治六年のミュンヘン(小松伸六)  
漱石の文明論と現代(西尾幹二)  
近くて遠い国へ(芝木好子)/低気圧(河野多恵子)  
グルート島紀行(武満徹)/横光利一と時代の好尚(栗坪良樹)  
＜対談時評＞成熟への試行\*津島佑子『多島海』  
\*高橋昌男『寛永寺の辺り』(岡松和夫・桶谷秀昭)  
＜書評＞佐伯彰一『近代日本の自伝』(粕谷一希)/林京子『無きが如き』(松本鶴雄)  
上田三四二『深んど』(桶谷秀昭)/三田誠広『野辺送りの唄』(中島誠)  
＜同人雑誌推薦作＞暗い眼(奥山宏)  
同人雑誌評(近藤信行)  
紙の風景＜扉の詩＞(山本太郎)  
昭和56(1981)年8月1日発行(文藝春秋)

3519) 「文學界」 7月号 1981

- 離郷(140枚)(木崎さと子)/寛永寺の辺り(高橋昌男)/眼の部屋(岩橋邦枝)  
甲羅(吉村昭)/外食券乙(井上光晴)/夜明けの眠り(八木義徳)  
断作戦(連載第4回)(古山高麗雄)  
青い炎(連載第7回)(中里恒子)

晩籟(連載第7回)(高橋揆一郎)  
 砂に風(最終回)(富岡多恵子)  
 野辺送りの唄(最終回)(三田誠広)  
 海嘯(連載第65回)(金石範)  
 作家としてフォークナーを読む(大江健三郎)  
 養女の日常(色川武大)/蒙古人種のヒト(宮内勝典)  
 癌細胞の不安(三浦雅士)/或る師弟(生島遼一)  
 石川淳論--空洞としての「わたし」(栗津則雄)  
 ミュンヘン物語--慶応二年のミュンヘン(小松伸六)  
 本多の姉さんのこと(藤枝静男)  
 <書評>八木義徳『一枚の繪』(保昌正夫)/筒井康隆『虚人たち』(松田修)  
     江藤淳・開高健『文人狼疾ス』(川本三郎)/高橋たか子『怪しみ』(森禮子)  
 <対談時評>感覚と観念\*峰原稜子『風のけはい』  
     \*笙野頼子『極楽』(藤枝静男・中野孝次)  
 同人雑誌評(近藤信行)  
 アパートの水<扉の詩>(井坂洋子)  
 昭和56(1981)年7月1日発行(文藝春秋)

### 3520) 「文學界」 6月号 1981

<第52回文學界新人賞決定発表>  
     <受賞作>風のけはい(峰原緑子)  
     <佳作>田舎審判(最上典世)  
     <選評>(柴田翔・清岡卓行・古井由吉・阿部昭・田久保英夫)  
 人形の恋(中村真一郎)/螢粥(佐江衆一)/れんがの城(橋本勝三郎)  
 祀る町(小関智弘)/ガラスの学校(井上光晴)  
 正宗白鳥の作について(その4)(小林秀雄)  
 書けなかったこと--高橋和巳回想(駒田信二)  
 断作戦(連載第3回)(古山高麗雄)  
 青い炎(連載第6回)(中里恒子)  
 晩籟(連載第6回)(高橋揆一郎)  
 砂に風(連載第10回)(富岡多恵子)  
 野辺送りの唄(連載第18回)(三田誠広)  
 海嘯(連載第64回)(金石範)  
 <落葉の掃き寄せ>(6)『ハイド氏の裁き』について(江藤淳)  
     たて軸とふくらみ(本多秋五)/普通の人々(加賀乙彦)  
     二つの帽子(坂上弘)/暴力中学生と伝統の力(山口昌男)  
 <対談時評>テーマの深め方\*長谷川卓『百舌が啼いてから』  
     \*笠原淳『サイモンの塔』(藤枝静男・中野孝次)  
 <書評>小松伸六『美を見し人は』(佐伯彰一)/中里恒子『水鏡』(野口武彦)  
     高橋揆一郎『青草の庭』(饗庭孝男)  
     井上光晴『ゲットーマシンと33の短篇』(立石伯)  
 <同人雑誌推薦作>真澄のツー(上田真澄)  
 同人雑誌評(久保田正文)  
 同人雑誌推薦作一覧  
 転生<扉の詩>(牧羊子)  
 昭和56(1981)年6月1日発行(文藝春秋)

### 3521) 「文學界」 5月号 1981

<新鋭作家特集>死者の時間(森禮子)/手毬の芯(増田みず子)  
     乾いた部屋(寺沢健一郎)/アイモンの塔(笠原淳)/見られる(岩阪恵子)  
 密通(井上光晴)  
 断作戦(新連載第2回)(古山高麗雄)  
 青い炎(連載第5回)(中里恒子)

晩籟(連載第5回)(高橋揆一郎)  
 砂に風(連載第9回)(富岡多恵子)  
 野辺送りの唄(連載第17回)(三田誠広)  
 海嘯(連載第63回)(金石範)  
 <特別対談>『好色一代男』の近代性(吉行淳之介・松田修)  
 古河力作のことなど(水上勉)/『ブリキの太鼓』を観て(飯島耕一)  
 やきものと花々と(大原富枝)/黒田清輝のモデル、マリア(平川祐弘)  
 カフカの秘密--「カフカ」と私の三十年(中野孝次)  
 自責の文学--中野重治論(完)(桶谷秀昭)  
 <書評>黒井千次『春の道標』メッセージのある小説とは(入江隆則)  
     後藤明生『吉野太夫』吉野太夫へのためらい(別役実)  
     重兼芳子『ジュラルミン色の空』戦争・都市・女の力(大橋健三郎)  
     野口富士男『風のない日々』渋味ある辛口(松本徹)  
 <対談時評>モチーフの確かさ\*木崎さと子『火炎木』  
     \*上田三四二『夏行』(藤枝静男・中野孝次)  
 同人雑誌評(久保田正文)  
 もうひとつの夜<扉の詩>(清水昶)  
 コントロールタワー  
 文学界新人賞応募規定  
 文学界新人賞中間発表  
 昭和56(1981)年5月1日発行(文藝春秋)

### 3522) 「文学界」4月号1981

<文学界新人賞受賞第一作>火炎木(木崎さと子)  
     ライラック(阪田寛夫)/変態(宮原昭夫)/谷間の家(林京子)/水(井上光晴)  
 <新連載>断作戦(古山高麗雄)  
     青い炎(連載第4回)(中里恒子)  
     晩籟(連載第4回)(高橋揆一郎)  
     砂に風(連載第8回)(富岡多恵子)  
     野辺送りの唄(連載第16回)(三田誠広)  
     海嘯(連載第62回)(金石範)  
 <共同討議>ドストエフスキイ  
     特集・ドストエフスキイ没後百年(江川卓・日野啓三・桶谷秀昭)  
     新しい翻訳 新しい評価(川端香男里)  
     高見順賞への要望(清岡卓行)/リトル・イタリーで(常磐新平)  
     遊牧民の少女(井上洋治)/わが心慰めかねつ更科や(紅野敏郎)  
     言葉への飢渴(大庭みな子)  
     正宗白鳥の作について(3)(小林秀雄)  
     戦後空間の内と外--歴史的な概念としての「無条件降伏」(磯田光一)  
     『暗夜行路』の神話--志賀直哉を読む(完)(高橋英夫)  
     『かへる霊』と拒まれた霊--落葉の掃き寄せ(5)(江藤淳)  
 <対談時評>超感覚派と伝記文学\*尾辻克彦『お湯の音』『国旗が垂れる』  
     \*結城信一『柘榴抄--小説秋草道人断章』(佐伯彰一・河野多恵子)  
 <書評>永井龍男『秋その他』心境と構成のあや(岡松和夫)  
     大岡昇平『成城だより』はつらつと、素顔の魅力(秋山駿)  
     中村真一郎『秋』ひとは虚実の入れもの(斎藤昌三)  
     東峰夫『大きな鳩の影』夢中をあるく文体(荒川洋治)  
 同人雑誌評(久保田正文)  
 私的な equivalent<扉の詩>(谷川俊太郎)  
 コントロールタワー  
 文学界新人賞応募規定  
 昭和56(1981)年4月1日発行(文藝春秋)

3523) 「文學界」 3月号 1981

- ＜芥川賞受賞第一作＞お湯の音(尾辻克彦)  
蜃気楼(島村利正)/独り言(三浦朱門)/天沼三丁目の月(三枝和子)  
迂回(稲垣瑞雄)/図形(井上光晴)  
正宗白鳥の作について(小林秀雄)  
『静かなる空』と戦後の空間--落葉の掃き寄せ(4)(江藤淳)  
青い炎(連載第3回)(中里恒子)  
晩籟(連載第3回)(高橋揆一郎)  
砂に風(連載第7回)(富岡多恵子)  
野辺送りの唄(連載第15回)(三田誠広)  
海嘯(連載第61回)(金石範)  
＜九州芸術祭文学賞発表＞秋蟬の村(西谷洋) ＜選評＞(秋山駿)  
老境(中村光夫)/筒粥神事(川村二郎)/思いこみ(重兼芳子)  
福原麟太郎博士のこと(寿岳文章)  
『甲乙丙丁』について--中野重治論(7)(桶谷秀昭)  
＜対談時評＞女流新人の現在＊松浦理英子『セバスチャン』  
＊増田みず子『自殺志願』  
＊吉行理恵『小さな貴婦人』(佐伯彰一・河野多恵子)  
＜書評＞大庭みな子『霧の旅』 公正と呼ぶべき視線(三木卓)  
岡松和夫『人間の火』 結晶化した想像力(桂芳久)  
坂上弘『初めの愛』 内面の時間の支配(松本道介)  
阿部昭『言葉ありき』 日本語への愛情(近藤信行)  
＜同人雑誌推薦作＞ケンケン(石淵健吉)  
同人雑誌評(小松伸六)  
聖＜扉の詩＞(吉増剛造)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和56(1981)年3月1日発行(文藝春秋)

3524) 「文學界」 2月号 1981 新春特別号

- セバスチャン(229枚)(松浦理英子)  
父の晩年(山口瞳)/秋の街(吉村昭)/カラチ(丸山健二)  
市隠(上田三四二)/オンリーのいた町(井上光晴)  
青い炎(連載第2回)(中里恒子)  
晩籟(連載第2回)(高橋揆一郎)  
砂に風(連載第6回)(富岡多恵子)  
野辺送りの唄(連載第14回)(三田誠広)  
海嘯(連載第60回)(金石範)  
＜新春対談＞シェイクスピア閑談(大岡昇平・小田島雄志)  
船酔いの記(黒井千次)/教師廃業の弁(中野孝次)  
見えない時間の前後(工藤幸雄)/挨拶(林富士馬)  
想像力の両義性--志賀直哉を読む(9)(高橋英夫)  
散文と想像力--石川淳『狂風記』を読む(続)(栗津則雄)  
＜対談時評＞短篇のかたち＊佐藤愛子『マドリッドの春の雨』  
＊宇野千代『何故それはいつでも』  
＊古井由吉『家のおい』(佐伯彰一・河野多恵子)  
＜書評＞倉橋由美子『城の中の城』 闘志と重なる閑雅の夢(平岡篤頼)  
森内俊雄『微笑の町』 変容と成熟(勝又浩)  
丹羽文雄『彼岸前』 リアルな老人達の生態(松本鶴雄)  
三枝和子『思いがけず風の蝶』 小説空間の新しい試み(高野斗志美)  
＜同人雑誌推薦作＞猫を放つ(一ノ瀬綾)/ 同人雑誌評(小松伸六)  
秘密＜扉の詩＞(吉原幸子)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和56(1981)年2月1日発行(文藝春秋)

3525) 「文學界」 1 月号 1981 新年特別号

〈特集・正宗白鳥 生誕百年によせて〉

正宗白鳥の作について(小林秀雄)

朽ち惜しさということ(安岡章太郎)

白鳥の宇宙モデル(大江健三郎)

昔の仲間(庄野潤三)/夏どろ(阿川弘之)/眼鏡(水上勉)/紅皿(芝木好子)

死者が立ってくる(富士正晴)/家のにおい(古井由吉)/自転車(三木卓)

白い闇(日野啓三)/事件の記憶(岡松和夫)/鳴る耳(小沼燦)

郵便請負人(井上光晴)

砂に風(連載第 5 回)(富岡多恵子)

野辺送りの唄(連載第 13 回)(三田誠広)

海嘯(連載第 59 回)(金石範)

〈新連載〉青い炎(中里恒子)

晩籟(高橋揆一郎)

『田畑修一郎全集』の刊行(尾崎一雄)/立原正秋と「四人組」(駒田信二)

徑に由って行く(長田弘)/艶なる宴(中村真一郎)/背広をなくした話(柴田翔)

〈対談〉閉ざされた日本文学--異国体験をふまえて(開高健・江藤淳)

『むらぎも』の虚と実--中野重治論(6)(桶谷秀昭)

散文と想像力--石川淳『狂風記』を読む(栗津則雄)

「近代」のリアリズムを問う(饗庭孝男)

〈書評〉三浦哲郎『冬の雁』やんわり言葉を握る(佐江衆一)

文=吉行淳之介・写真=篠山紀信『ヴェニス 光と影』

淡彩のスケッチ(福田宏年)

高井有一『真実の学校』ひたむきな教師の群像(三好京三)

村上龍『コインロッカー・ベイビーズ』戦争の現前と失墜(絳秀実)

〈対談時評〉昭和 55 年をふりかえって(秋山駿・森敦)

〈同人雑誌推薦作〉スクラップブック(青鹿文枝)

同人雑誌評(小松伸六)

不思議な木〈扉の詩〉(中桐雅夫)

コントロールタワー/文學界新人賞応募規定

昭和 56(1981)年 1 月 1 日発行(文藝春秋)

3526) 「文學界」 12 月号 1980

〈第 51 回文學界新人賞決定発表〉

〈受賞作〉裸足(木崎さと子)

〈佳作〉ゆらり、と(峰原緑子)

〈選評〉(柴田翔・清岡卓行・古井由吉・阿部昭・田久保英夫)

遠い朝(丸本淑生)/廻転椅子(北澤三保)/その細き道(高樹のぶ子)

父が消えた(尾辻克彦)/終りの火(井上光晴)

異色の戦場吟(伊藤桂一)

シカゴを去ったオルグレン(宮本陽吉)

啓蒙主義的恫喝の輸出(内村剛介)

〈特集・三島由紀夫〉

無答責と無限責任の間(野口武彦)/十年の推移の後に(磯田光一)

砂に風(連載第 4 回)(富岡多恵子)

野辺送りの唄(連載第 12 回)(三田誠広)

分裂の現在--成城だより(大岡昇平)

友情と遠近法--志賀直哉を読む(8)(高橋英夫)

〈書評〉野呂邦暢『丘の火』無名の兵士との一体化(長部日出雄)

中里恒子『南への道』光と闇の旅(古屋健三)

古井由吉『椋鳥』心は晴れて、気も振れて(神山圭介)

三木卓『胡桃』生命の様相を辿る(鈴木志郎康)

富岡多恵子『芻狗[すうく]』男の全体を要求する(伊藤比呂美)  
大岡昇平『ハムレット日記』狂気なきハムレット(野島秀勝)  
〈対談時評〉\*津本陽『わが勲の無きがごと』  
\*嶋岡晨『裏返しの夜空』(中野孝次・森敦)  
同人雑誌評(駒田信二)  
落日(サンシャイン シティ)〈扉の詩〉(林富士馬)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 55(1980)年 12 月 1 日発行(文藝春秋)

3527) 「文學界」11 月号 1980

わが勲の無きがごと(256 枚)(津本陽)  
家禽(高城修三)/通り過ぎた春(郷静子)/くじ(井上光晴)  
闇に咲く美青年(深沢七郎)  
あの時の上林曉(山本健吉)/パンダのように(桂芳久)  
ゾルゲをめぐる謎(木村浩)/もう一つの秋(阿部昭)  
日暮里の夜 チゴイネルワイゼンを聴く(福島泰樹)  
〈対談〉彷徨と文学  
--パリ、ニューヨーク、ヘンリー・ミラー(池田満寿夫・青野聰)  
〈追悼・河上徹太郎〉  
同期の縁(永井龍男)/河上徹太郎さん逝く(中里恒子)  
柿生の河上さん(庄野潤三)/『自然と純粹』と『思想の秋』(丸谷才一)  
逆説のなかの師(高橋英夫)/思い出すことのひとつ(遠山一行)  
「赤羽橋の次は芝園橋」(江藤淳)  
砂に風(連載第 3 回)(富岡多恵子)  
野辺送りの唄(連載第 11 回)(三田誠広)  
海嘯(連載第 58 回)(金石範)  
辞退の秋<成城だより>--谷崎賞のこと、河上氏逝去のこと(大岡昇平)  
戦後と『五勺の酒』--中野重治論(桶谷秀昭)  
〈書評〉野口富士男『なぎの葉考』つむぎ出された思い出(大河内昭爾)  
日野啓三『蛇のいた場所』言葉の力と自然な変容(川西政明)  
中野孝次『苦い夏』或る青年像の定着(松本徹)  
北澤三保『遙かな森 舐める谷』自然という鏡に(吉行理恵)  
〈対談時評〉\*小檜山博『地吹雪』  
\*運上旦子『他人の領分』(川端香男里・森敦)  
同人雑誌評(駒田信二)  
癌細胞<扉の詩〉(小長谷清実)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定/文學界新人賞中間発表  
昭和 55(1980)年 11 月 1 日発行(文藝春秋)

3528) 「文學界」10 月号 1980

水鏡(205 枚)(中里恒子)/タンタロスの日(宮原昭夫)/夫婦(森内俊雄)  
帰郷(吉村昭)/兄(古川良)/陸橋(井上光晴)  
〈同人雑誌推薦作〉籠の中(伊藤光子)  
〈追悼・立原正秋〉春から夏へ(岡松和夫)  
立原正秋哀悼(久保田正文)/「犀」前後のこと(後藤明生)  
砂に風(連載第 2 回)(富岡多恵子)  
野辺送りの唄(連載第 10 回)(三田誠広)  
フーシェ革命暦(連載第 34 回)(辻邦生)  
海嘯(連載第 57 回)(金石範)  
傷つけられた母--志賀直哉を読む(7)(高橋英夫)  
事故の夏<成城だより 10 >--谷崎賞のこと、河上氏逝去のこと(大岡昇平)  
田久保英夫の感覚--『髪の環』『触媒』『雨飾り』(飯島耕一)  
生き残った私たち(林京子)/お達者文芸の選者となる弁(暉峻康隆)

ワイマルにて(近藤信行)/ニュージャーナリズムのこと(川本三郎)  
 三十五年目の夏(岩橋邦枝)  
 知られざる一角獣--シルクロード文物展で(清岡卓行)  
 <対談時評>\*青野聰『試みのユダヤ・コムプレックス』(菅野昭正・森敦)  
 <書評>松浦理英子『葬儀の日』独異な精神の回路(三枝和子)  
 森禮子『天の獵犬・他人の血』歩行から飛翔へ(庄司薫)  
 同人雑誌評(駒田信二)  
 呼吸の差<扉の詩>(鈴木志郎康)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和 55(1980)年 10 月 1 日発行(文藝春秋)

3529) 「文學界」 9 月号 1980

街と、その不確かな壁(163 枚)(村上春樹)/ひとり(高橋揆一郎)/母(阪田寛夫)  
 <同人雑誌推薦作>絵本の周辺(北山和希)  
 <短期集中連載・最終回>試みのユダヤ・コムプレックス(青野聰)  
 二時のワイドショー(井上光晴)  
 <新連載>砂に風(富岡多恵子)  
 風のない日々(最終回)(野口富士男)  
 野辺送りの唄(連載第 9 回)(三田誠広)  
 フーシェ革命暦(連載第 33 回)(辻邦生)  
 海嘯(連載第 56 回)(金石範)  
 『斎藤茂吉ノオト』の周辺--中野重治論 4(桶谷秀昭)  
 幽霊の話(小沼丹)/魔神(大庭みな子)/美術大学の教師をして(奥野健男)  
 ゴルフ禁止の看板(佐佐木幸綱)/多田裕計を悼む(八木義徳)  
 梅雨早く明けろ<成城だより 9 >(大岡昇平)  
 <書評>大江健三郎『現代伝奇集』「帰属」探索の寓話(磯田光一)  
 加賀乙彦『イリエの園にて』大小説家たちの亡霊と.....(菅野昭正)  
 清岡卓行『邯鄲の庭』感傷と詠嘆、往還のスタイル(栗坪良樹)  
 <対談時評>\*立松和平『大洗』\*日野啓三『地下都市』(森敦・佐伯彰一)  
 同人雑誌評(林富士馬)  
 B 型の男のからだつき<扉の詩>(伊藤比呂美)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和 55(1980)年 9 月 1 日発行(文藝春秋)

3530) 「文學界」 8 月号 1980

<特集・われらにとっての戦後文学>  
 試みる作家 武田泰淳(高城修三)/時代という病--梅崎春生の苦闘(立松和平)  
 埴谷雄高との出逢い(三田誠広)/安部公房と逃亡の磁場(青野聰)  
 『金閣寺』を読んだ頃(菊田均)/結城信一の細筆(荒川洋治)  
 霧の母(畑山博)/みのむし(津村節子)/大洗(立松和平)/風的作用(小久保均)  
 試みのユダヤ・コムプレックス(短期集中連載 5)(青野聰)  
 鯛と寝る男(井上光晴)  
 かんちがい(富士正晴)/大正十二年のミュンヘン(小松伸六)  
 内田百閒と「アラベスク」(紅野敏郎)  
 <自作案内>『侍』について(遠藤周作・加賀乙彦)  
 風のない日々(連載第 8 回)(野口富士男)  
 野辺送りの唄(連載第 8 回)(三田誠広)  
 フーシェ革命暦(連載第 32 回)(辻邦生)  
 海嘯(連載第 55 回)(金石範)  
 友達に寂しく帰って行った<成城だより 8 >(大岡昇平)  
 邪悪な女神(志賀直哉を読む 6)(高橋英夫)  
 <新書解体>河野多恵子『一年の牧歌』支配する性(森川達也)  
 <対談時評>\*星野光徳『もう一人の父』\*岩橋邦枝『伴侶』(高橋たか子・森敦)



同人雑誌評(林富士馬)  
そこに百済[くだら]という廃駅が<扉の詩>(長谷川龍生)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 55(1980)年 8 月 1 日発行(文藝春秋)

3531) 「文學界」 7 月号 1980

侵蝕(220 枚)(重兼芳子)/『吉野太夫』注(後藤明生)/風景(八木義徳)  
<同人雑誌推薦作>麦畑のむこうで(簗島真澄)  
試みのユダヤ・コムプレックス(短期集中連載 4)(青野聰)  
赤い水(井上光晴)  
風のない日々(連載第 7 回)(野口富士男)  
野辺送りの唄(連載第 7 回)(三田誠広)  
フーシェ革命暦(連載第 31 回)(辻邦生)  
海嘯(連載第 54 回)(金石範)  
<追悼・野呂邦暢>野呂さんと"龍"と"菊"(古山高麗雄)  
十日前の会話(小林信彦)/野呂邦暢の訃(宮原昭夫)  
先輩(高井有一)/山上の街(高城修三)  
『むさし野十方抄』(大河内昭爾)/若狭を歩く(大原富枝)  
曇りのち晴れ<成城だより 7>(大岡昇平)  
『歌のわかれ』--中野重治論 3(桶谷秀昭)  
<新書解体>岡松和夫『魂ふる日』自己凝視の純潔さ(宮内豊)  
<対談時評>\*村上節『狸』\*長谷川卓『昼と夜』(上田三四二・森敦)  
同人雑誌評(林富士馬)  
ある詩<扉の詩>(大岡信)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 55(1980)年 7 月 1 日発行(文藝春秋)

3532) 「文學界」 6 月号 1980

<第 50 回文學界新人賞決定発表>  
<受賞作>狸(村上節)  
<選評>(柴田翔・清岡卓行・古井由吉・阿部昭・田久保英夫)  
肥満体恐怖症(松浦理英子)/道(森内俊雄)/砂丘の記憶(石原悟)  
羽ばたき(丸本淑生)/勝てば官軍(井上光晴)  
試みのユダヤ・コムプレックス(短期集中連載 4)(青野聰)  
風のない日々(連載第 6 回)(野口富士男)  
野辺送りの唄(連載第 6 回)(三田誠広)  
フーシェ革命暦(連載第 30 回)(辻邦生)  
海嘯(連載第 53 回)(金石範)  
<特集・「文學界新人賞」 50 回>  
<受賞前後>ホイルスピンの頃(丸山健二)/二十三年前の電報(菊村到)  
空きびんを割る音(深田祐介)/執着の始まり(岡松和夫)  
野垂れ生き(宮原昭夫)  
<選考委員のころ>文學界新人賞記(野間宏)  
「才能」と「運」と(吉行淳之介)  
しんどい楽しみ(佐伯彰一)  
『オキナワの少年』と『子育てごっこ』(丸谷才一)  
非受賞作の眠り(黒井千次)  
「小説の時代」であるのに(石原慎太郎)  
<対談時評>\*中野孝次『季節の終り』  
\*尾辻克彦『牡蠣の季節』(日野啓三・森敦)  
花便り<成城だより 6>(大岡昇平)  
歴史的な自然--志賀直哉を読む(5)(高橋英夫)  
同人雑誌評(林富士馬)

わが一族<扉の詩>(入沢康夫)  
文學界新人賞「決定発表」一覧  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 55(1980)年 6 月 1 日発行(文藝春秋)

3533) 「文學界」 5 月号 1980

<新鋭作家特集>

牡蠣の季節(尾辻克彦)/狩人たちの祝宴(北澤三保)/潮路(岳真也)

<同人雑誌推薦作>闇の中の語部(秋元藍)

<短期集中連載・2>試みのユダヤ・コムプレックス(青野聰)

コイン・ランドリー(井上光晴)

風のない日々(連載第 5 回)(野口富士男)

野辺送りの唄(連載第 5 回)(三田誠広)

フーシェ革命暦(連載第 29 回)(辻邦生)

海嘯(連載第 52 回)(金石範)

石田志津さん(吉行理恵)/作家と健康管理(中島誠)

望月伝授(安永露子)/グレーの秋(芳賀徹)

71 年目の春<成城だより>(大岡昇平)

わが草木とならん日に<中野重治論 2>(桶谷秀昭)

ふたたびの夏--ロマネスク教会紀行(饗庭孝男)

<新書解体>庄野潤三『屋上』生の流れ(阪田寛夫)

中上健次『鳳仙花』死と再生の秘儀(高橋昌男)

立原正秋『帰路』帰路を見定める(岡松和夫)

<対談時評>\*森禮子『天の獵犬』\*夫馬基彦『夢現』(栗坪良樹・森敦)

同人雑誌評(久保田正文)

言葉のたまり場<扉の詩>(大野新)

コントロールタワー/文學界新人賞応募規定/文學界新人賞中間発表

昭和 55(1980)年 5 月 1 日発行(文藝春秋)

3534) 「文學界」 4 月号 1980

<短期集中連載・第 1 回>試みのユダヤ・コムプレックス(255 枚)(青野聰)

流水の前(畑山博)/イリエの園にて(加賀乙彦)/行き過ぎ(井上光晴)

回生(172 枚)(郷静子)

丘の火(最終回)(野呂邦暢)

風のない日々(連載第 4 回)(野口富士男)

野辺送りの唄(連載第 4 回)(三田誠広)

フーシェ革命暦(連載第 28 回)(辻邦生)

海嘯(連載第 51 回)(金石範)

リズムの変化<成城だより>(大岡昇平)

完璧な自然--志賀直哉を読む(4)(高橋英夫)

四階の窓(永井龍男)/光の感覚(日野啓三)/「芸談」について(富岡多恵子)

精神分裂病と私(寺久保友哉)/秋艸[そう]道人題簽[せん]など(稲垣達郎)

<対談時評>\*重兼芳子『繁殖』\*高橋たか子『怪しみ』(三木卓・森敦)

同人雑誌評(久保田正文)

下になったひかり<扉の詩>(荒川洋治)

コントロールタワー/文學界新人賞応募規定

昭和 55(1980)年 4 月 1 日発行(文藝春秋)

3535) 「文學界」 3 月号 1980

<芥川賞受賞第一作>がらんどろ(森禮子)

山(米村晃多郎)/鯊[はぜ]釣り(吉村昭)/棕櫚(井上光晴)

繁殖(192 枚)(重兼芳子)

<新連載>ある反噬[はんぜい]--中野重治論(桶谷秀昭)

風のない日々(連載第3回)(野口富士男)  
 野辺送りの唄(連載第3回)(三田誠広)  
 丘の火(連載第25回)(野呂邦暢)  
 フーシェ革命暦(連載第27回)(辻邦生)  
 海嘯(連載第50回)(金石範)  
 <九州芸術祭文学賞発表>一郎にすまぬ(小山田正) <選評>(秋山駿)  
 苦しみ(小川国夫)/無意識を掘る(高橋たか子)  
 葎[よし]の髓から天井をのぞく(宮内豊)  
 女が私小説を書くとき(三枝和子)/牝鶏晨をつくる(駒田信二)  
 冬眠日記<成城だより>(大岡昇平)  
 <対談時評>\*高橋揆一郎『鶯の寺』  
                   \*杉本研士『幻の鳥』(川村二郎・森敦)  
 <同人雑誌推薦作>硬い羽音(佐藤睦子)  
 同人雑誌評(小松伸六)  
 病床の友へ<扉の詩>(鮎川信夫)  
 コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
 昭和55(1980)年3月1日発行(文藝春秋)

3536) 「文学界」 2月号 1980

鶯の寺(243枚)(高橋揆一郎)  
 パン(三浦朱門)/幸福(瀬戸内晴美)  
 花咲輪業展(井上光晴)/世界一周(阪田寛夫)  
 風のない日々(連載第2回)(野口富士男)  
 野辺送りの唄(連載第2回)(三田誠広)  
 丘の火(連載第24回)(野呂邦暢)  
 フーシェ革命暦(連載第26回)(辻邦生)  
 海嘯(連載第49回)(金石範)  
 <共同討議>「私小説」(佐伯彰一・上田三四二・磯田光一・饗庭孝男<司会>)  
 帰り新参の記(篠田一士)/我孫子まで(坂上弘)/横浜の変りよう(岡松和夫)  
 わがアルス・アマトリア(池内紀)/京都のみなもと(保田與重郎)  
 リアリティの神話--志賀直哉を読む(3)(高橋英夫)  
 年末断想<成城だより2>(大岡昇平)  
 <対談時評>\*三枝和子『野守の鏡』  
                   \*北澤三保『夜の団欒』(八木義徳・森敦)  
 <自作案内>『同時代ゲーム』について(大江健三郎・清水徹)  
 <同人雑誌推薦作>揺れる髪(高樹のぶ子)  
 同人雑誌評(小松伸六)  
 ミミズクぐらし<扉の詩>(北村太郎)  
 コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
 昭和55(1980)年2月1日発行(文藝春秋)

3537) 「文学界」 1月号 1980 新年特別号

残りの雪(201枚)(中里恒子)  
 頭のいい「雨の木[レイン・ツリー]」(大江健三郎)  
 柴野方彦誅[るい](富士正晴)/風の木(田久保英夫)/あなたのし(古井由吉)  
 夜の団欒(北澤三保)/水墨山水(森内俊雄)/名なしの森(中井英夫)  
 T駅の出来事(井上光晴)  
 丘の火(連載第23回)(野呂邦暢)  
 フーシェ革命暦(連載第25回)(辻邦生)  
 海嘯(連載第48回)(金石範)  
 <新連載>風のない日々(野口富士男)  
           野辺送りの唄(三田誠広)  
 音楽会(遠藤周作)/罪の軽重(河野多恵子)/お金と近代化(秋山駿)

会話(森瑤子)/「朝倉」を読んで(後藤明生)  
〈新連載〉十一月の新年〈成城だより〉(大岡昇平)  
〈自作案内〉「放屁抄」について(安岡章太郎/ 聞く人・鳥居邦朗)  
非短篇世代(中野孝次)  
小説の生理にそって--対談時評を終えて(黒井千次)  
空間の文学へ(4)(前田愛)  
〈同人雑誌推薦作〉島よ、眠れ(川辺為三)  
同人雑誌評(小松伸六)  
ある愛の巢〈扉の詩〉(清岡卓行)  
コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
昭和 55(1980)年 1 月 1 日発行(文藝春秋)

3538) 「文学界」12 月号 1979

〈第 49 回文学界新人賞決定発表〉  
〈候補作〉夏のさなかに(峰原緑子)  
〈選評〉(柴田翔・清岡卓行・古井由吉・阿部昭・田久保英夫)  
私でない私(寺久保友哉)/今からが出発(吉川良)  
慰霊祭まで(増田みず子)/雉鳩日記(佐江衆一)  
魂ふる日(最終回)(岡松和夫)  
丘の火(連載第 22 回)(野呂邦暢)  
フーシェ革命暦(連載第 24 回)(辻邦生)  
海嘯(連載第 47 回)(金石範)  
〈座談会〉同人雑誌評と新人発掘  
(久保田正文・小松伸六・駒田信二・林富士馬・司会 大河内昭爾)  
「悲惨な末路」という伝説(杉森久英)/五体ために裂く(宮本研)  
失われたシチリア(佐藤信夫)/チェーホフ世界の読み(池田健太郎)  
伊那路(島村利正)  
闇の文学史覚書--柳浪、乱歩、風太郎をめぐって(岡庭昇)  
肉体のなかの近代--志賀直哉を読む(2)(高橋英夫)  
〈新書解体〉青野聰『愚者の夜』『母と子の契約』喪われた母の文学(菊田均)  
小林信彦『夢の街 その他の街』下町学のアリストテレス(長部日出雄)  
〈対談時評〉\* 中野孝次『失踪』\* 高城修三『紵[きゅう]の森』  
作品化の方法(野坂昭如・黒井千次)  
同人雑誌評(駒田信二)  
たくあんとコーヒー〈扉の詩〉(川崎洋)  
文学界新人賞応募規定  
昭和 54(1979)年 12 月 1 日発行(文藝春秋)

3539) 「文学界」11 月号 1979 創刊 500 号記念特大号

〈特別対談〉歴史について(小林秀雄・河上徹太郎)  
〈創作大特集〉ゴー・オン・ボーイ(井上靖)/ウロのある樹(尾崎一雄)  
笕[かけい]の水(宇野千代)/片袖(中里恒子)/ある健脚家の回想(庄野潤三)  
水郷へ(島尾敏雄)/帰郷(井上光晴)/眼の裏の光(柴田翔)/海(丸山健二)  
魑魅(宮原昭夫)/紵の森(高城修三)/不良馬場(宮本輝)  
フーシェ革命暦(連載第 23 回)(辻邦生)  
海嘯(連載第 46 回)(金石範)  
丘の火(連載第 21 回)(野呂邦暢)  
魂ふる日(連載第 11 回)(岡松和夫)  
「蒲団」発掘(中村光夫)/朝倉(丸谷才一)  
ペシミズムの問題(大江健三郎)/生者と死者(江藤淳)  
丘の火(連載第 22 回)(野呂邦暢)  
フーシェ革命暦(連載第 24 回)(辻邦生)  
海嘯(連載第 47 回)(金石範)

〈特集〉文學界と私

古い馴染(大岡昇平)/祝辞(今日出海)/初めての注文(安岡章太郎)

「一二会」その他(吉行淳之介)/いつまで?(開高健)

蜜月の思い出(佐伯彰一)/ときめきの表紙(城山三郎)

紅茶と「文學界」(畑山博)/白い封筒(高橋揆一郎)

教科書(三好京三)/「二世の縁 拾遺」など(円地文子)

空間の文学へ3(前田愛)

〈対談時評〉\* 吉川良『その涙ながらの日』\* 野呂邦暢『落城記』

リズムと様式(中野孝次・黒井千次)

〈新書解体〉重兼芳子『やまあいの煙』『透けた耳朶』伏し目の美学(奥野健男)

〈同人雑誌推薦作〉錆びた星(友清恵子)

同人雑誌評(駒田信二)

土方の親分〈扉の詩〉(草野心平)

コントロールタワー/文學界新人賞応募規定/文學界新人賞中間発表

文學界 500 号記念広告企画〈文芸図書目録〉

昭和 54(1979)年 11 月 1 日発行(文藝春秋)

### 3540) 「文學界」 10 月号 1979

落城記(250 枚)(野呂邦暢)/羽田浦地図(小関智弘)

運河(井上光晴)/乾く夏(松浦理英子)

魂ふる日(連載第 10 回)(岡松和夫)

フーシェ革命暦(連載第 22 回)(辻邦生)

海嘯(連載第 45 回)(金石範)

加速された精神--志賀直哉を読む(1)(高橋英夫)

中野重治さんのことども(久保田正文)/後藤宙外の碑(高井有一)

菊池寛の"正直"(内村剛介)/番小屋で私は(佐江衆一)

ごまめの歯ぎしり(中島梓)/〈植民地文学〉のこと(池田浩士)

空間の文学へ(2)--都市と内向の世代(前田愛)

〈対談時評〉\* 梅原稜子『渚には風もなく』\* 小檜山博『生きものたち』

\* 立松和平『村雨』素材の扱いかた(飯島耕一・黒井千次)

〈新書解体〉小市民の仕方のない生--高橋揆一郎『狐沢夢幻』(勝又浩)

〈同人雑誌推薦作〉文鳥(木下順一)

同人雑誌評(駒田信二)

夏の終りに〈扉の詩〉(正津勉)

コントロールタワー/文學界新人賞応募規定

昭和 54(1979)年 10 月 1 日発行(文藝春秋)

### 3541) 「文學界」 9 月号 1979

〈芥川賞受賞第一作〉白いブラウス(重兼芳子)

なぎの葉考(野口富士男)/うるわしきあさも(坂口寛夫)

搔爬(佐藤光子)/北の追憶(櫻田正樹)/午後(井上光晴)

魂ふる日(連載第 9 回)(岡松和夫)

丘の火(連載第 20 回)(野呂邦暢)

フーシェ革命暦(連載第 21 回)(辻邦生)

海嘯(連載第 44 回)(金石範)

空間の文学へ--都市と内向の世代(前田愛)

始祖鳥タキグチ(佐藤朔)/一葉の謎(瀬戸内晴美)

画家・片山健のこと(吉岡実)/アーウィン・ショーの短篇(常盤新平)

井上ひさしさんへの手紙(大野晋)

私小説--ミラー・永遠の序章(池田満寿夫)

〈対談時評〉\* 深沢七郎『秘儀』\* 高橋揆一郎『聖者の毒』

(日野啓三・黒井千次)

〈新書解体〉文化と歴史の宿命--水上勉『金閣寺炎上』(饗庭孝男)

＜同人雑誌推薦作＞塗り残したぬりえ(美原圭一)  
同人雑誌評(林富士馬)  
迷宮刑＜扉の詩＞(木島始)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 54(1979)年 9 月 1 日発行(文藝春秋)

3542) 「文學界」 8 月号 1979

＜特別座談会＞(加賀乙彦・田久保英夫・三木卓)  
秘戯(深沢七郎)/虚鳥が孵る(森万紀子)/夜の樹(松家仁之)  
天満敦子ヴァイオリン・リサイタル(井上光晴)  
魂ふる日(連載第 8 回)(岡松和夫)  
丘の火(連載第 19 回)(野呂邦暢)  
フーシェ革命暦(連載第 20 回)(辻邦生)  
海嘯(連載第 43 回)(金石範)  
川端康成の青春--未発表資料『新晴』併載(川端香男里)  
芸術院恩賜賞のこと(本多秋五)/取材旅行(新田次郎)  
隨身門(川村二郎)/アメリカ作家との対話(宮本陽吉)  
この町のパーティ(山口瞳)  
『仮装人物』の福女主人公--徳田秋声の文学(野口富士男)  
＜新書解体＞叙事と劇のあいだで--李恢成『見果てぬ夢』(篠田一士)  
幻想の消滅と批評の自由--饗庭孝男『批評と表現』(桶谷秀昭)  
＜対談時評＞\*松浦理英子『火のリズム』\*重兼芳子『見えすぎる眼』  
燃焼と持続(森敦・黒井千次)  
私小説＜わが文学遍歴＞--ヘンリー・ミラー 子宮への回帰(池田満寿夫)  
同人雑誌評(林富士馬)  
黒い墓＜扉の詩＞(藤富保男)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 54(1979)年 8 月 1 日発行(文藝春秋)

3543) 「文學界」 7 月号 1979

＜女流作家創作特集＞根曳き(中里恒子)/エリアの泉(大原富枝)  
火のリズム(松浦理英子)/見えすぎる眼(200 枚)(重兼芳子)  
兎の耳(津村節子)/それは木枯しか(宇野千代)  
お急ぎですか(井上光晴)  
魂ふる日(連載第 7 回)(岡松和夫)  
丘の火(連載第 18 回)(野呂邦暢)  
フーシェ革命暦(連載第 19 回)(辻邦生)  
海嘯(連載第 42 回)(金石範)  
文反古と分別ざかり＜落葉の掃き寄せ 2＞(江藤淳)  
李朝のやきもの(芝木好子)/風俗の内側(富岡多恵子)  
近況報告(吉田知子)/路地雑感(林京子)/小田任二郎の訃(瀬戸内晴美)  
『仮装人物』の副女主人公--徳田秋声の文学(野口富士男)  
＜対談時評＞\*青野聰『愚者の夜』\*鈴木志郎康『夜のしるべ』  
彷徨と定住(大庭みな子・黒井千次)  
再説『武田泰淳の虚像』(加地伸行)  
同人雑誌評(林富士馬)  
こころも.....＜扉の詩＞(吉原幸子)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 54(1979)年 7 月 1 日発行(文藝春秋)

3544) 「文學界」 6 月号 1979

＜第 48 回文學界新人賞決定発表＞＜受賞作＞年頃(古荘正朗)  
＜選評＞(阿部昭・清岡卓行・古井由吉・柴田翔・田久保英夫)

愚者の夜(青野聰)/市立五中のリュウ・アーチャー(井上光晴)  
 鳥はうたって残る(丸本淑生)  
 天馬漂泊<小説・檀一雄>(真鍋呉夫)  
 魂ふる日(連載第6回)(岡松和夫)  
 丘の火(連載第17回)(野呂邦暢)  
 フーシェ革命暦(連載第18回)(辻邦生)  
 海嘯(連載第41回)(金石範)  
 『仮装人物』の副女主人公--徳田秋声の文学(野口富士男)  
 休刊の理由(古山高麗雄)/源実朝への疑問(永井路子)  
 犬の風景(井出孫六)/求む『昭和事物起源』(磯田光一)  
 <対談時評>\*川西蘭『春一番が吹くまで』\*富岡多恵子『芻狗[すうく]』  
     \*開高健『戦場の博物誌』経験からの問いかけ(立原正秋・黒井千次)  
 作家の真実--『武田泰淳の虚像』について(石上玄一郎)  
 <新書解体>語り思考でとらえた人間と詩  
     --富岡多恵子『さまざまなうた』(長谷川龍生)  
 同人雑誌評(久保田正文)  
 恐竜<扉の詩>(高橋新吉)  
 コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
 昭和54(1979)年6月1日発行(文藝春秋)

3545) 「文学界」5月号1979

天馬漂泊<小説・檀一雄>(真鍋呉夫)  
 淵の灯(高橋昌男)/閉じる家(立松和平)/ゲバラ(井上光晴)  
 戦場の博物誌<短期連載4>(開高健)  
 魂ふる日(連載第5回)(岡松和夫)  
 丘の火(連載第16回)(野呂邦暢)  
 フーシェ革命暦(連載第17回)(辻邦生)  
 海嘯(連載第40回)(金石範)  
 <特別対談>自己検証の文学(大岡昇平・中野孝次)  
 古本市の本(小沼丹)/修辭的と文体的(後藤明生)  
 歌謡曲ファンの感想(福田宏年)/いずれ我が身も(色川武大)  
 グリニューネヴァルト体験(林富士馬)  
 <対談時評>\*中沢けい『余白の部分』\*増田みず子『ふたつの春』  
     \*畑山博『オリンポスの娘』感性と表現(饗庭孝男・黒井千次)  
 私小説<わが文学遍歴>--「荒地」・スタイン・詩人(池田満寿夫)  
 <新書解体>ブリキの箱の逆説--立松和平『火の車』(菊田均)  
 同人雑誌評(久保田正文)  
 鳩を飼ふ少年の歌<扉の詩>(鷺巣繁男)  
 コントロールタワー/文学界新人賞応募規定/文学界新人賞中間発表  
 昭和54(1979)年5月1日発行(文藝春秋)

3546) 「文学界」4月号1979

オリンポスの娘(180枚)(畑山博)/寒暖計(小関智弘)  
 バター(井上光晴)/雪しずり(岳真也)  
 戦場の博物誌<短期連載3>(開高健)  
 魂ふる日(連載第4回)(岡松和夫)  
 丘の火(連載第15回)(野呂邦暢)  
 フーシェ革命暦(連載第16回)(辻邦生)  
 海嘯(連載第39回)(金石範)  
 太宰治論序説--精神分析的作家論(岸田秀)  
 或る英文学者の死(瀬沼茂樹)/スペイン旅行(高橋たか子)  
 同世代の犯罪者(高城修三)/性のなかの自我(岡庭昇)鉄と森(日野啓三)  
 忘れ去られた「戦争」(秋山駿)

3547) 「文學界」 3月号 1979

3548) 「文學界」 2月号 1979 新春特別号

- 24 -



同人雑誌評(小松伸六)  
零<扉の詩>(三木卓)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 54(1979)年 2 月 1 日発行(文藝春秋)

3549) 「文學界」 1 月号 1979 新年特別号

<短篇小説特集>百萬(中里恒子)/ワルシャワの日本人(遠藤周作)  
冬薔薇(芝木好子)/あめあめ降れ降れかあさんが(井上光晴)  
婚約(山口瞳)/山居記(立原正秋)/白い米(吉村昭)/父と明笛(多田裕計)  
秋の舗石(黒井千次)/咳花(古井由吉)  
丘の火(連載第 12 回)(野呂邦暢)  
フーシェ革命暦(連載第 13 回)(辻邦生)  
海嘯(連載第 36 回)(金石範)  
魂ふる日(新連載)(岡松和夫)  
わが家のマンガ事情(大岡昇平)/樹木の影(小野十三郎)  
神話と私小説(佐伯彰一)/宇津ノ谷峠と私(小川国夫)/小さな怪我(中村光夫)  
批評と表現--近代日本文学の「私」(饗庭孝男)  
昭和 53 年度の文学--煉獄の作者たち(川村二郎)  
私小説<わが文学遍歴>--カフカ・わが読書(池田満寿夫)  
『懺』とその周辺(2)--徳田秋声の文学(野口富士男)  
<新書解体>作品とのつながりを求めて--古井由吉『夜の香り』(柘植光彦)  
同人雑誌評(小松伸六)  
調絃<扉の詩>(澁沢孝輔)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 54(1979)年 1 月 1 日発行(文藝春秋)

3550) 「文學界」 12 月号 1978

<第 47 回文學界新人賞決定発表>  
<受賞作>葬儀の日(松浦理英子)  
<佳作>生殖関係(寺沢健一郎)  
<選評>(柴田翔・清岡卓行・古井由吉・阿部昭・田久保英夫)  
フォーク(井上光晴)/赤く照り輝く山(立松和平)  
同居人(重兼芳子)/あぶくま川心中(岳真也)/往還(日野啓三)  
丘の火(連載第 11 回)(野呂邦暢)  
海嘯(連載第 35 回)(金石範)  
フーシェ革命暦(連載第 12 回)(辻邦生)  
『懺』とその周辺--徳田秋声の文学(野口富士男)  
62 番のバス(三田誠広)/ロブ＝グリエ神話(平岡篤頼)  
その一年(金鶴泳)/秋和の里(近藤信行)  
回想の芥川・直木賞--委員を辞任(永井龍男)  
私小説<わが文学遍歴>--「人間の絆」(池田満寿夫)  
<対談時評>\*重兼芳子『地層』\*北澤三保『キャベツのある風景』  
\*青野聰『母と子の契約』新人小説の問題点(後藤明生・川村二郎)  
<新書解体>ある青春への帰還--中野孝次『麦熟るる日に』(神山圭介)  
単独者の愛--高橋たか子『人形愛』(松山俊太郎)  
同人雑誌評(駒田信二)  
海のほとり<扉の詩>(伊藤信吉)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 53(1978)年 12 月 1 日発行(文藝春秋)

3551) 「文學界」 11 月号 1978

<創作特集>水の女(中上健次)/仲たがい(高橋揆一郎)/漫才師(井上光晴)  
白の画布(寺久保友哉)/地層(重兼芳子)/キャベツのある風景(北澤三保)

思い鈍(小檜山博)/逆光(日野啓三)  
 丘の火(連載第 10 回)(野呂邦暢)  
 フーシェ革命暦(連載第 11 回)(辻邦生)  
 海嘯(連載第 34 回)(金石範)  
 不在の部屋(最終回)(曾野綾子)  
 経験と自然--庄野潤三論(饗庭孝男)  
 河童の大麻禍(石上玄一郎)/批評の現状一端(篠田一士)  
 『大義』という本(小久保均)/異本のこと(外山滋比古)  
 回想の芥川・直木賞--舟橋聖一の選評(永井龍男)  
 昭和二十年八月--ぼくらの詩と真実・7(田村隆一)  
 小説家の辞世--<さまざまなうた>高見順(富岡多恵子)  
 <対談時評>\*立松和平『火の車』\*丸本淑生『秋月へ』  
 \*小関智弘『波の顔だち』小説世界の構築(三木卓・川村二郎)  
 <新書解体>原初の血のイメージ--吉行淳之介『夕暮まで』(高橋昌男)  
 愛執の衝撃力--谷沢永一『完本 紙つぶて』(上田康夫)  
 同人雑誌評(駒田信二)  
 大理石をはこぶ人<扉の詩>(岡崎清一郎)  
 コントロールタワー/文学界新人賞応募募規定/文学界新人賞中間発表  
 昭和 53(1978)年 11 月 1 日発行(文藝春秋)

### 3552) 「文学界」 10 月号 1978

<座談会>われらの文学的立場--世代論を超えて  
 (中上健次・三田誠広・津島佑子・高城修三・高橋三千綱)  
 もしかわらしの谷(畑山博)/炎天(吉村昭)/気温 35(井上光晴)  
 井戸(日野啓三)/波の顔だち(小関智弘)  
 丘の火(連載第 9 回)(野呂邦暢)  
 フーシェ革命暦(連載第 10 回)(辻邦生)  
 海嘯(連載第 33 回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第 34 回)(曾野綾子)  
 歴史文学の二元性--<和宮身替り説>に触れて(綱淵謙錠)  
 猿の話(宮本常一)/詩の朗読(伊藤桂一)/キャッチボール(福田善之)  
 サガンの新作(朝吹登水子)  
 回想の芥川・直木賞--大江健三郎の資格問題(永井龍男)  
 詩的生活--<さまざまなうた>尾崎放哉(富岡多恵子)  
 <対談時評>\*高橋三千綱『二月の行方』\*高橋揆一郎『水色の壁』  
 \*宮原昭夫『街底の河』モチーフの深まり(三木卓・川村二郎)  
 <新書解体>『九月の空』と小説の機能--高橋三千綱『九月の空』(中島梓)  
 <同人雑誌推薦作>不毛台地(風見治)  
 同人雑誌評(駒田信二)  
 水無月<扉の詩>(加藤郁乎)  
 コントロールタワー/文学界新人賞応募募規定  
 昭和 53(1978)年 10 月 1 日発行(文藝春秋)

### 3553) 「文学界」 9 月号 1978

<芥川賞受賞第一作>水色の壁(高橋揆一郎)/少年の島(高橋三千綱)  
 街底の河(宮原昭夫)/話し相手(井上光晴)/引き金(光岡明)  
 カモメを撃ちに(北澤三保)/雲の柱(日野啓三)/午後の景色(小久保均)  
 去来する話(佐藤朔)/新聞記者の文章(立原正秋)/四国へんろみち(栗田勇)  
 影の訪問者(中井英夫)/直木賞受賞前の錬さん(遠藤周作)  
 開かれた「私」小説--上林曉論(饗庭孝男)  
 街が死に絶えるとき--わが「パリの憂鬱」(高島正明)  
 丘の火(連載第 8 回)(野呂邦暢)  
 フーシェ革命暦(連載第 9 回)(辻邦生)

海嘯(連載第 32 回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第 33 回)(曾野綾子)  
 回想の芥川・直木賞--今東光の復活(永井龍男)  
 歌よりも声が--<さまざまうた>原民喜(富岡多恵子)  
 昭和十七年十月--ぼくらの詩と真実・6(田村隆一)  
 私小説<わが文学遍歴>--ローマ・野尻湖・京都(池田満寿夫)  
 <対談時評>\*又吉栄喜『窓に黒い虫が』\*増田みず子『桜寮』  
     \*高橋三千綱『葡萄畑』題材・文体・構成(野呂邦暢・川村二郎)  
 <新書解体>郷愁への旅 郷愁からの旅--清岡卓行『藝術的な握手』(辻邦生)  
     青空という主題旋律--田久保英夫『触媒』(桶谷秀昭)  
     新たな「倫理性」の方へ--津島佑子『寵児』(川本三郎)  
 同人雑誌評(林富士馬)  
 逝く夏<扉の詩>(那珂太郎)  
 コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
 昭和 53(1978)年 9 月 1 日発行(文藝春秋)

3554) 「文学界」 8 月号 1978

<文学界新人賞受賞第一作>ひとでなし魚(岩猿孝広)/洪水(石原悟)  
 どうせぼくなんか(三田誠広)/昭和二十年の夏(林京子)  
 窓に黒い虫が(又吉栄喜)/誰が真似屏風(富士正晴)/河口(日野啓三)  
 丘の火(連載第 7 回)(野呂邦暢)  
 フーシェ革命暦(連載第 8 回)(辻邦生)  
 海嘯(連載第 31 回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第 32 回)(曾野綾子)  
 回想の芥川・直木賞--辻亮一と堀田善衛(永井龍男)  
 花火の町(小林信彦)/『飛ぶのが怖い』など(岸田秀)  
 ある道草(夏堀正元)/轡と櫻(駒田信二)  
 詩人の誕生--<さまざまうた>左川ちか(富岡多恵子)  
 昭和十六年九月--ぼくらの詩と真実・5(田村隆一)  
 <対談時評>\*岳真也『かまいたち』\*杉本研士『言霊[ことだま]』  
     \*中村昌義『淵の声』想像力と表現(野坂昭如・川村二郎)  
 <新書解体>鎮めきれない<過去>--林京子『ギヤマン ビードロ』(佐佐木幸綱)  
 同人雑誌評(林富士馬)  
 肉牛を見ながら<扉の詩>(大野新)  
 コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
 昭和 53(1978)年 8 月 1 日発行(文藝春秋)

3555) 「文学界」 7 月号 1978

未練と実存の相剋--平野謙論(70 枚)(川嶋至)  
 鉄の時代(日野啓三)/怪談(瀬戸内晴美)/かまいたち(岳真也)  
 除夜(庄野潤三)/町恋い(高橋昌男)  
 かたみの日(中里恒子)/ファール随想(日高敏隆)  
 話す見る聴く(山本道子)/未完の調査(神山圭介)  
 暗鬱なる夢想者--葛西善蔵論(饗庭孝男)  
 丘の火(連載第 6 回)(野呂邦暢)  
 フーシェ革命暦(連載第 7 回)(辻邦生)  
 海嘯(連載第 30 回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第 31 回)(曾野綾子)  
 回想の芥川・直木賞--清水基吉の「雁立」(永井龍男)  
 詩と歌詞の谷--<さまざまうた>佐藤惣之助(富岡多恵子)  
 <新書解体>欠食と飽食の間--開高健『ロマネ・コンティ・1935 年』(野口武彦)  
     快樂の形而上学--中村真一郎『夏』(菅野昭正)  
 「空間」と「時間」--ぼくらの詩と真実・4(田村隆一)

私小説<わが文学遍歴>--森川町時代(池田満寿夫)  
<対談時評>\*光岡明『草と草との距離』\*岡田陸『死神』  
\*金鶴泳『鑿[のみ]』表現とモチーフ(宮原昭夫・川村二郎)  
同人雑誌評(林富士馬)  
唄 一つ<扉の詩>(辻征夫)  
コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
昭和 53(1978)年 7 月 1 日発行(文藝春秋)

3556) 「文学界」 6 月号 1978

<第 46 回文学界新人賞決定発表>  
<受賞作>流れない川(石原悟)  
<受賞作>信号機の向こうへ(岩猿孝広)  
<選評>(柴田翔・清岡卓行・古井由吉・阿部昭・田久保英夫)  
遠い過去(宇野千代)/似た女(井上光晴)/北の青年(小林信彦)  
丘の火(連載第 5 回)(野呂邦暢)  
フーシェ革命暦(連載第 6 回)(辻邦生)  
海嘯(連載第 29 回)(金石範)  
不在の部屋(連載第 30 回)(曾野綾子)  
<追悼・平野謙>平野さんの時評(安岡章太郎)/黒い雨傘(瀬戸内晴美)  
男の顔(開高健)/平野さんとの距離(立原正秋)  
活字と肉声(松本清張)  
<対談時評>\*中里恒子『誰袖草』\*丸山健二『祭り』  
\*黒井千次『冬の手紙』小説の現在(小川国夫・川村二郎)  
回想の芥川・直木賞--岩下俊作と久生十蘭(永井龍男)  
勘と感覚--<さまざまうた>草野心平(富岡多恵子)  
ト書と会話(黒井千次)/素朴な疑問(塩野七生)  
母なん藤原うじ(秦恒平)/マラーと小説(加賀乙彦)  
私小説<わが文学遍歴>--<私>小説の試み(池田満寿夫)  
逆ユートピアⅡ--ぼくらの詩と真実・3(田村隆一)  
<新書解体>小説家の夢--三木卓『かれらが走りぬけた日』(加藤典洋)  
同人雑誌評(久保田正文)  
冬日行<扉の詩>(吉増剛造)  
コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
昭和 53(1978)年 6 月 1 日発行(文藝春秋)

3557) 「文学界」 5 月号 1978

誰袖草(170 枚)(中里恒子)/東部への旅(庄野潤三)  
屋上(郷静子)/燔祭(長谷川敬)/断層(日野啓三)  
小走り文士(阿川弘之)/同郷の先輩(井出孫六)/戦時体験と私(大橋健三郎)  
『鼻』と『外套』(後藤明生)/物書きの端くれ(山口瞳)  
回想の芥川・直木賞--高木卓の受賞辞退(永井龍男)  
「言葉」と歴史--島崎藤村『夜明け前』(饗庭孝男)  
丘の火(連載第 4 回)(野呂邦暢)  
フーシェ革命暦(連載第 5 回)(辻邦生)  
海嘯(連載第 28 回)(金石範)  
不在の部屋(連載第 29 回)(曾野綾子)  
私小説<わが文学遍歴>--性教育(池田満寿夫)  
逆ユートピア--ぼくらの詩と真実・2(田村隆一)  
詩人のめし--<さまざまうた>山之口貌(富岡多恵子)  
<対談時評>\*宮本輝『道頓堀川 夜桜』\*高城修三『ブラック・ホール』  
\*寺久保友哉『翳の女』表現と発想(中上健次・川村二郎)  
<新書解体>いたわりとしての青春--阿部昭『過ぎし楽しき年』(上田三四二)  
同人雑誌評(久保田正文)

宇宙的な愛<扉の詩>(吉野弘)

コントロールタワー/文學界新人賞応募規定/文學界新人賞中間発表

昭和 53(1978)年 5 月 1 日発行(文藝春秋)

3558) 「文學界」 4 月号 1978

<芥川賞受賞第一作>夜桜(宮本輝)/ブラック・ホール(高城修三)

あづまの鑑(阪田寛夫)/父たちの死(小久保均)

馬を叩く日(小檜山博)/暗い穴(日野啓三)

<新連載>ぼくらの詩と真実(田村隆一)

丘の火(連載第 3 回)(野呂邦暢)

フーシェ革命暦(連載第 4 回)(辻邦生)

海嘯(連載第 27 回)(金石範)

不在の部屋(連載第 28 回)(曾野綾子)

回想の芥川・直木賞--橘外男のこと(永井龍男)

詠むことと書くこと--<さまざまうた>會津八一(富岡多恵子)

わたしを支えてくれる人たち(大庭みな子)/カール・マイのこと(小松伸六)

その日の作家たち(中村明)/獵の要諦(三好京三)

蕃瓜弄で--私の中国紀行・追記(清岡卓行)

私小説<わが文学遍歴>--二つの異邦人(池田満寿夫)

さみしい靈魂--島尾敏雄試論(田中美代子)

<対談時評>\*中野孝次『雪ふる年よ』\*田中小実昌『北川はぼくに』

\*高橋揆一郎『木偶おがみ』事実の表現について(田久保英夫・川村二郎)

<新書解体>静寂の中の緊張--丸山健二『水に映す』(松本道介)

<同人雑誌推薦作>水位(重兼芳子)

同人雑誌評(久保田正文)

すず<扉の詩>(川崎洋)

コントロールタワー/文學界新人賞応募規定

昭和 53(1978)年 4 月 1 日発行(文藝春秋)

3559) 「文學界」 3 月号 1978

<対談>小説の面白さ--作品における体験と虚構(田辺聖子・宮本輝)

廃屋(庄野潤三)/どうすりゃいいの(三田誠広)/台地(日野啓三)/鈴(松原一枝)

<第 8 回九州芸術祭文学賞決定発表>ジョージが射殺した猪(又吉栄喜)

<選評>(秋山駿)

丘の火(連載第 2 回)(野呂邦暢)

フーシェ革命暦(連載第 3 回)(辻邦生)

海嘯(連載第 26 回)(金石範)

不在の部屋(連載第 27 回)(曾野綾子)

触媒(最終回)(田久保英夫)

自然と人為--井伏鱒二論(饗庭孝男)

雑録(宮原昭夫)/ぼんやりと思うこと(林京子)/言葉殺人事件(長田弘)

俳諧と同人冊子(林富士馬)/懲りる(吉村昭)

私小説<わが文学遍歴>--同人雑誌(池田満寿夫)

<連載第 3 回> 回想の芥川・直木賞(永井龍男)

殺された詩--<さまざまうた>中勘助(富岡多恵子)

<対談時評>\*増田みず子『個室の鍵』\*田久保英夫『猫目』

\*森万紀子『死んだ男』内面性の諸問題(高橋たか子・川村二郎)

<新書解体>「月」の変容--安東次男『藤原定家』(野口武彦)

同人雑誌評(小松伸六)

脚<扉の詩>(安藤元雄)

コントロールタワー/文學界新人賞応募規定

昭和 53(1978)年 3 月 1 日発行(文藝春秋)

3560) 「文學界」 2月号 1978 新春特別号

＜新春創作特集＞貝塚をつくる(開高健)/裏階段(日野啓三)/少年の墓(畑山博)  
死んだ男(森万紀子)/牛との生活<遺稿>(加藤富夫)  
晴れたら舟で(太田道子)/肌着(三浦朱門)  
＜新連載＞丘の火(野呂邦暢)  
フーシェ革命暦(連載第2回)(辻邦生)  
海嘯(連載第25回)(金石範)  
不在の部屋(連載第26回)(曾野綾子)  
触媒(連載第46回)(田久保英夫)  
回想の芥川・直木賞<連載第2回>(永井龍男)  
危険ふく絶えさうな話(宇野千代)/氷島からオフテンまで(草野心平)  
志賀さんのこと(杉森久英)/「明治は遠く.....」再説(尾崎一雄)  
海から見た土地--<さまざまうた>小野十三郎(富岡多恵子)  
私小説<わが文学遍歴>--萩原朔太郎(池田満寿夫)  
＜対談時評＞＊高橋三千綱『九月の空』 ＊中里恒子『鞍馬苔』  
＊開高健『飽満の種子』 短篇小説の味覚(加賀乙彦・川村二郎)  
＜新書解体＞軌跡を追う眼--高橋昌男『巷塵』(金子昌夫)  
同人雑誌評(小松伸六)  
夢ちがい<扉の詩>(鮎川信夫)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 53(1978)年 2月 1日発行(文藝春秋)

3561) 「文學界」 1月号 1978 新年特別号

＜新連載＞フーシェ革命暦(辻邦生)  
＜新連載＞回想の芥川・直木賞(永井龍男)  
船長の椅子(庄野潤三)/書獃子[しょたいし](富士正晴)/鞍馬苔(中里恒子)  
友人の責任(古山高麗雄)/吾亦紅[われもこう](立原正秋)  
母の芍薬(多田裕計)/空室(日野啓三)  
海嘯(連載第24回)(金石範)  
不在の部屋(連載第25回)(曾野綾子)  
触媒(連載第45回)(田久保英夫)  
＜対談＞「文章読本」とその周辺(吉行淳之介・丸谷才一)  
世界史のなかの日本史(遠藤周作)/結婚式(杉浦明平)  
一人称のための一ダース(丸山健二)/過去の記憶(河野多恵子)  
昭和 52年度の文学--小説家の毒(古屋健三)  
手帖と暖簾--<さまざまうた>宮沢賢治(富岡多恵子)  
虚構化された「私」--徳田秋声『仮装人物』と『懺』(饗庭孝男)  
私のなかの東京--<文学散策記>神楽坂から早稲田まで(野口富士男)  
＜対談時評＞＊阿部昭『過ぎし楽しき年』 ＊光岡明『湿舌』  
小説における虚構と現実(森敦・川村二郎)  
＜新書解体＞魅力的なヒロイン--岡松和夫『鉢をかづく女』(野呂邦暢)  
＜同人雑誌推薦作＞野づらの果て(米村晃多郎)  
同人雑誌評(小松伸六)  
狐<扉の詩>(吉岡実)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 53(1978)年 1月 1日発行(文藝春秋)

3562) 「文學界」 12月号 1977

＜第45回文學界新人賞決定発表＞  
＜受賞作＞長い午後(井川正史)  
＜受賞作＞ステンドグラスの中の風景(三輪滋)  
＜選評＞(柴田翔・清岡卓行・古井由吉・阿部昭・田久保英夫)  
焚火にしては(丸山健二)/蜻蛉(吉村昭)/日陰の椅子(高橋揆一郎)

湿舌(光岡明)/日の影(寺久保友哉)  
 『文体』余波(岡松和夫)/入浴(杉本秀太郎)  
 世紀末とブロッホ(片岡啓治)/質屋(宮尾登美子)  
 海嘯(連載第23回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第24回)(曾野綾子)  
 触媒(連載第44回)(田久保英夫)  
 <新連載><さまざまうた>詩人のふるさと--室生犀星(富岡多恵子)  
 ありのままの一カ月(井上光晴)  
 詩人の散文について--現代詩髓脳(篠田一士)  
 微笑のひと--私の中国紀行<最終回>(清岡卓行)  
 <対談時評>\*小関智弘『錆色の町』\*野呂邦暢『花火』  
     \*三田誠広『赤ん坊の生まれない日』時間と距離(佐江衆一・古屋健三)  
 <追悼・和田芳恵>編集者時代(川口松太郎)/交友(野口富士男)  
 <新書解体>位置をきめる小説--大岡昇平『事件』(柘植光彦)  
 同人雑誌評(駒田信二)  
 夜の猫<扉の詩>(北村太郎)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和52(1977)年12月1日発行(文藝春秋)

3563) 「文學界」11月号1977

<短篇小説特集>  
 トカゲ色の耳飾り(丸山健二)/空地(黒井千次)/移転計画(庄野潤三)  
 誕生日(津村節子)/対岸(佐江衆一)/花火(野呂邦暢)/雨(後藤明生)  
 錆色の町(小関智弘)  
 海嘯(連載第22回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第23回)(曾野綾子)  
 触媒(連載第43回)(田久保英夫)  
 オホーツクの流氷(八木義徳)/加害者の意識(津島佑子)  
 現代小説と人工語(柳父章)/アイコンクラズム(久保田正文)  
 贖罪意識について--太宰治殺人犯説への疑問(奥野健男)  
 深夜の妄想(吉行淳之介)  
 悲劇の精神--折口信夫『死者の書』(饗庭孝男)  
 私小説<わが文学遍歴>--太宰治(池田満寿夫)  
 私のなかの東京--<文学散策記>芝浦、麻布、渋谷(野口富士男)  
 仏教の痕跡--私の中国紀行(清岡卓行)  
 <追悼・今東光>昭和三十年前後(司馬遼太郎)/母上の羽交い(野坂昭如)  
 <対談時評>\*日野啓三『漂泊』\*北澤三保『歌鶴[つぐみ]』  
     \*宮本輝『螢川』表現と省略(丸山健二・古屋健三)  
 <新書解体>語りの二重奏--中里恒子『時雨の記』(佐伯彰一)  
 同人雑誌評(駒田信二)  
 わが砂上植物群<扉の詩>(小野十三郎)  
 コントロールタワー/文學界新人賞中間発表/文學界新人賞応募規定  
 昭和52(1977)年11月1日発行(文藝春秋)

3564) 「文學界」10月号1977

<特集>同人雑誌と私  
 <座談会>同人雑誌への提言(久保田正文・駒田信二・小松伸六・林富士馬)  
 楽しみな顔合わせ(田辺聖子)/四人の批評家の仕事(柴田翔)  
 明暗二つ(高井有一)/「ゴム」のこと(吉田知子)  
 「くりま」と私(渡辺淳一)/励ましを支えとして(豊田穰)  
 私の同人雑誌体験(畑山博)/十八歳の頃(中上健次)  
 けい子(和田芳恵)/池沼(古井由吉)/旅人と影(波多野文彦)  
 歌鶴[うたつぐみ](北澤三保)/息をひそめて(小林信彦)

トライアルのテーマ(丸山健二)  
 海嘯(連載第 21 回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第 22 回)(曾野綾子)  
 触媒(連載第 42 回)(田久保英夫)  
 <追悼・吉田健一>八月六日のこと(山口瞳)/出陣(丸谷才一)  
 詩人の夢想力について--現代詩髓脳(篠田一士)  
 杭州の読者--私の中国紀行(清岡卓行)  
 まぐれ当り(藤枝静男)/イオランテ(本村敏雄)  
 遠大な計画(福田紀一)/服部長門守の話(長部日出雄)  
 人生の歩み(森敦)  
 <対談時評>\*中野孝次『鳥屋の日々』\*林京子『同期会』  
                   \*橋本勝三郎『春まだ浅く』再燃する過去(岡松和夫・古屋健三)  
 <新書解体>架橋者の緊張--寺久保友哉『こころの匂い』(勝又浩)  
                   生の深奥の輝き--河野多恵子『砂の檻』(梅原稜子)  
                   地中の至福--津島佑子『草の臥所[ふしど]』  
                                           『透明空間が見える時』(川村二郎)  
 同人雑誌評(駒田信二)  
 街ゆけば<扉の詩>(川崎洋)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和 52(1977)年 10 月 1 日発行(文藝春秋)

#### 3565) 「文學界」 9 月号 1977

<新連載>私小説<わが文学遍歴>(池田満寿夫)  
 鶯[うそ]の昼下がりに(丸山健二)/窓の燈(庄野潤三)/猫のいる家(郷静子)  
 春まだ浅く(橋本勝三郎)/同期会(林京子)/かざぐるま(高橋揆一郎)  
 追分の半日(加賀乙彦)/母のイメージさまざま(高橋英夫)  
 特攻花を見にゆく(神山圭介)/劇的空間の重層的時間(奥野健男)  
 <対談>僕の小説作法--原体験としての学園闘争(三田誠広・柄谷行人)  
 海嘯(連載第 20 回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第 21 回)(曾野綾子)  
 触媒(連載第 41 回)(田久保英夫)  
 日記より(遠藤周作)  
 倫理的想像者--嘉村磯多論(饗庭孝男)  
 「草原の女子民兵」--私の中国紀行(清岡卓行)  
 <対談時評>\*高橋たか子『天の湖』\*本田元弥『スペース・セールスマン』  
                   \*畑山博『星砂の島にて』現代の砂漠(三木卓・古屋健三)  
 <新書解体>翳る魂の表情--《近代》と《私》の告発  
                                           阪田寛夫『花陵』(武田友寿)  
 <同人雑誌推薦作>鳥たちの生態(竹内和夫)  
 同人雑誌評(林富士馬)  
 熊<扉の詩>(高橋新吉)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和 52(1977)年 9 月 1 日発行(文藝春秋)

#### 3566) 「文學界」 8 月号 1977

星砂の島にて(185 枚)(畑山博)  
 峠を越えて(丸山健二)/はん子(和田芳恵)/正者の仕事(小久保均)/毬藻(吉村昭)  
 『出雲橋界限』(河上徹太郎)/農場の憂鬱(坂上弘)  
 マフラーはトキ色で(ゆりはじめ)/アメリカ料理(柄谷行人)  
 見たい顔(戸板康二)  
 海嘯(連載第 19 回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第 20 回)(曾野綾子)  
 触媒(連載第 40 回)(田久保英夫)



詩人の運動神経について--現代詩髓脳(篠田一士)  
主題歌<忙閑日記>(井上ひさし)  
楊柳の北京--私の中国紀行(清岡卓行)  
私のなかの東京--<文学散策記>浅草、吉原、玉の井(野口富士男)  
方法論的批評とは何か(谷沢永一)  
<対談時評>\*中村昌義『出立の冬』\*高橋昌男『冬の夢』  
\*後藤明生『行き帰り』主題の選択(宮原昭夫・古屋健三)  
<新書解体>鋭敏な内観の本能--中上健次『枯木灘』(桶谷秀昭)  
<同人雑誌推薦作>蛙の鳴く家(高野義裕)  
同人雑誌評(林富士馬)  
風流考<扉の詩>(会田綱雄)  
コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
昭和 52(1977)年 8 月 1 日発行(文藝春秋)

3567) 「文学界」 7 月号 1977

冬のゆめ(123 枚)(高橋昌男)/ヨークシャーの茶碗(庄野潤三)  
引窓(中里恒子)/れんあいしなん(富士正晴)/朱の壁(光岡明)  
ペンフレンド(丸山健二)  
海嘯(連載第 18 回)(金石範)  
不在の部屋(連載第 19 回)(曾野綾子)  
触媒(連載第 39 回)(田久保英夫)  
小説の場所と<私>--小説論の試み 1<長塚節『土』>(饗庭孝男)  
「事故のてんまつ」さまざま(小松伸六)/音(山本道子)  
故国は遠くにありて(金達寿)/横光と中山義秀(後藤杜三)  
「事故のてんまつ」の功罪(川嶋至)  
楊柳の北京--私の中国紀行(清岡卓行)  
有朋自遠方来<忙閑日記>(江藤淳)  
<対談時評>\*小林信彦『八月の視野』\*高橋三千綱『五月の傾斜』  
\*吉行理恵『赤い紐』関係の欠落(坂上弘・古屋健三)  
<新書解体>幻惑の時にむかって--神山圭介『鵠[とき]色の武勲詩』(高野斗志美)  
<同人雑誌推薦作>蛙の鳴く家(高野義裕)  
同人雑誌評(林富士馬)  
魚の泳ぐ風景<扉の詩>(中村稔)  
コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
昭和 52(1977)年 7 月 1 日発行(文藝春秋)

3568) 「文学界」 6 月号 1977

放屁抄(安岡章太郎)/八月の視野(小林信彦)/水に映す(丸山健二)  
赤い紐(吉行理恵)/研する谷(北澤三保)  
<第 44 回文学界新人賞発表>  
<佳作>子殺し(松代達生)/<佳作>秋の実(草間承権)  
<選評>(坂上弘・森内俊雄・開高健・丸山健二・石原慎太郎)  
海嘯(連載第 17 回)(金石範)  
不在の部屋(連載第 18 回)(曾野綾子)  
触媒(連載第 38 回)(田久保英夫)  
「事故のてんまつ」の顛末--臼井吉見「川端康成論」への疑問(山口瞳)  
楊柳の北京--私の中国紀行(清岡卓行)  
「江藤淳のこと」のこと(磯田光一)/思い違いの系譜(三好京三)  
日本語抄(足立康)/宗悦と魯山人(勝又浩)/酒・煙草・山(田中澄江)  
足搔きと慰め<忙閑日記>(小川国夫)  
<対談時評>\*寺久保友哉『こころの匂い』\*三田誠広『僕って何』  
\*村上龍『海の向こうで戦争が始まる』題材との距離(黒井千次・古屋健三)  
<新書解体>ひろがる時間と空間--野呂邦暢『諫早菖蒲日記』(松本道介)

全体小説への実験-- 黒井千次『五月巡歴』(井出孫六)  
人間を超えた何か-- 大庭みな子『浦島草』(松本鶴雄)  
<話体>の発想-- 富岡多恵子『当世凡人伝』(芹沢俊介)  
空間としての過去-- 小林信彦『家の旗』(饗庭孝男)

同人雑誌評(久保田正文)

森の魂<扉の詩>(宮城賢)

コントロールタワー/文学界新人賞応募規定

昭和 52(1977)年 6 月 1 日発行(文藝春秋)

### 3569) 「文学界」 5 月号 1977

こころの匂い(寺久保友哉)/双身(梅原稜子)/雪の走者(丸山健二)

よみがえる季節(174 枚)(郷静子)

郷里の少年来訪す(小島信夫)/方言について(大橋健三郎)

芥川の文体模写(見坊豪紀)/学問はどこに(柘植光彦)

ふたつの会(島村利正)

海嘯(連載第 16 回)(金石範)

不在の部屋(連載第 17 回)(曾野綾子)

触媒(連載第 37 回)(田久保英夫)

私のなかの東京--<文学散策記>小石川、本郷、上野(野口富士男)

文学と科学の間で...<忙閑日記>(野間宏)

芸術的な握手--私の中国紀行(清岡卓行)

<対談時評>\* 林京子、丸山健二/「短篇連作」の方法

\* 水上勉、高橋三千綱、和田芳恵/「覚悟」ということ

\* 本田元弥『結婚相談所へ』\* 阪田寛夫『花陵』

小説家の覚悟(中上健次・古屋健三)

<新書解体>際涯のない道-- 立原正秋『たびびと』(入江隆則)

<同人雑誌推薦作>つゆ(井口恵之)

同人雑誌評(久保田正文)

死ぬ海<扉の詩>(吉原幸子)

コントロールタワー/文学界新人賞応募規定/文学界新人賞中間発表

昭和 52(1977)年 5 月 1 日発行(文藝春秋)

### 3570) 「文学界」 4 月号 1977

あるスパイの調書--「リンチ事件」と大泉謙蔵(平野謙)

青色の深い帽子(丸山健二)/夢の墓穴(佐伯彰一)/莓(吉村昭)

奥義(光岡明)/吊橋(高橋たか子)/花陵(阪田寛夫)/林の中(庄野潤三)

海嘯(連載第 15 回)(金石範)

不在の部屋(連載第 16 回)(曾野綾子)

触媒(連載第 36 回)(田久保英夫)

切れたバンド--私の中国紀行(清岡卓行)

かぜのあとさき(丸谷才一)

気になる人(河野多恵子)/黒い帽子の女(森内俊雄)/桃と鬼(駒田信二)

<対談時評>\* 後藤みな子『風待ち島』\* 神山圭介『昼のなごり』

\* 来島潤子『ひなた水』戦争体験とジーンズの世界(立原正秋・古屋健三)

<新書解体>無抵抗な青春-- 高橋昌男『蜜の眠り』(高橋三千綱)

<同人雑誌推薦作>雀のくる工場(小関智弘)

同人雑誌評(久保田正文)

日々を送る唄<扉の詩>(渡辺武信)

コントロールタワー/文学界新人賞応募規定

昭和 52(1977)年 4 月 1 日発行(文藝春秋)

### 3571) 「文学界」 3 月号 1977

日本の長篇小説--可能性としてのロマン(加賀乙彦・篠田一士)

故宮の壺(芝木好子)/静岡附近(小川国夫)/幽霊屋敷(山田智彦)  
 昼のなごり(神山圭介)/バス停(丸山健二)/花陵(阪田寛夫)  
 フィンランド土産(庄野潤三)  
 <第7回九州芸術祭文学賞決定発表>水中の声(村田喜代子)<選評>(森敦)  
 海嘯(連載第14回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第15回)(曾野綾子)  
 触媒(連載第35回)(田久保英夫)  
 <新連載>雲のうへの虹--私の中国紀行(清岡卓行)  
 歪んだ空間の散歩(大岡昇平)  
 ある招待状から(城山三郎)/近代主義(岡松和夫)/ひどい時代(森川達也)  
 紅唐紙の襖(荒川洋治)/新春試筆(本多秋五)  
 <対談時評>\*庄野潤三『引潮』\*小沼燦『金魚』  
                   \*津島佑子『草の臥所』対象との距離(後藤明生・古屋健三)  
 <新書解体>閉塞感と自己形成-- 外岡秀俊『北帰行』(波多野文彦)  
 <同人雑誌推薦作>騒動(草間承権)  
 同人雑誌評(小松伸六)  
 チロルにて<扉の詩>(中尾彰)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和52(1977)年3月1日発行(文藝春秋)

3572) 「文學界」 2月号 1977 新春特別号

<対談>短篇小説と方法--実感的創作論として(三浦哲郎・田久保英夫)  
 大学生(三浦朱門)/雪女(和田芳恵)/家(林京子)  
 チャボと湖(丸山健二)/城下少年譜(多田裕計)/花陵(阪田寛夫)  
 海嘯(連載第13回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第14回)(曾野綾子)  
 触媒(連載第34回)(田久保英夫)  
 私のなかの東京--<文学散策記>銀座二十四丁(野口富士男)  
 <新企画>忙閑日記(大江健三郎)  
 拒み通す心(山本健吉)/アパート音づくし(宮原昭夫)/言葉の遊び(河盛好蔵)  
 大井広介の思い出(井上友一郎)/春の便り(立原正秋)  
 <対談時評>\*丸山健二『海の鐘』\*島村利正『秩父愁色』  
                   \*畑山博『生きている日のように』小説の中の"窓"(森敦・古屋健三)  
 <新書解体>芸道小説の一変種-- 芝木好子『黄色い皇帝』(大久保典夫)  
 <同人雑誌推薦作>金魚(小沼燦)  
 同人雑誌評(小松伸六)  
 或る冬眠蛙の独白<扉の詩>(草野心平)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和52(1977)年2月1日発行(文藝春秋)

3573) 「文學界」 1月号 1977 新年特別号

<新年創作特集>  
 シェリー酒と楓の葉(庄野潤三)/十国峠(阿川弘之)/笠卒都婆(立原正秋)  
 川の鯉(中里恒子)/夢のバガテル(清岡卓行)/鉄の魚(河野多恵子)  
 靱炭(水上勉)/分去れ(後藤明生)/生きている日のように(畑山博)  
 赤牛(古井由吉)/海の鐘(丸山健二)  
 海嘯(連載第12回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第13回)(曾野綾子)  
 触媒(連載第33回)(田久保英夫)  
 作家の狼疾--武田泰淳氏を偲んで(開高健・江藤淳)  
 <新連載>忙閑日記(藤枝静男)  
 鋤雲雑筆(中村光夫)/伊佐早氏のゆくへ(野呂邦暢)  
 弱気な山師たち(種村季弘)/文士の墓(桶谷秀昭)/農民文学(林富士馬)

読まれることの拒否--大岡昇平氏における空間と怯え(古屋健三)  
「私」の深みにむかって--昭和 51 年度の文学(饗庭孝男)  
引用論の周辺から--魔術的行為について(高橋英夫)  
〈新書解体〉読みにくさの問題-- 大江健三郎『ピンチランナー調書』(柘植光彦)  
〈同人雑誌推薦作〉父の死(武田金三郎)  
同人雑誌評(小松伸六)  
年始〈扉の詩〉(西脇順三郎)  
コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
昭和 52(1977)年 1 月 1 日発行(文藝春秋)

3574) 「文学界」12 月号 1976

高原はまた黄金色(161 枚)(丸山健二)/陽ざかりの道(150 枚)(寺久保友哉)  
諫早水車日記(141 枚)(野呂邦暢)/兩國橋(153 枚)(小林信彦)  
〈第 43 回文学界新人賞発表〉  
〈候補作〉虚し湖(栗江新)  
〈選評〉(開高健・森内俊雄・坂上弘・丸山健二・石原慎太郎)  
海嘯(連載第 11 回)(金石範)  
不在の部屋(連載第 12 回)(曾野綾子)  
触媒(連載第 32 回)(田久保英夫)  
左岸(最終回)(井上光晴)  
〈追悼・武田泰淳〉不気味な存在(草野心平)/予想もつかぬもの(安岡章太郎)  
「中国文学研究会」で(駒田信二)/師のこと(深沢七郎)  
覚悟はしていたけれど(湯浅芳子)/滅亡を生きた人(立原正秋)  
憂愁幽思(後藤明生)/狼疾者、愁殺す(開高健)/ある夕食会のこと(江藤淳)  
閃爍[せんしゃく]する告発者--含羞の人を悼む(古林尚)  
巨大な場所--『快樂』再読(野間宏)  
〈新書解体〉微妙な計測-- 東峰夫『ちゅらかあぎ』(畑山博)  
〈対談時評〉\* 高橋昌男『港塵』\* 高橋たか子『結晶体』(田久保英夫・饗庭孝男)  
同人雑誌評(駒田信二)  
母音〈扉の詩〉(江森國友)  
コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
昭和 51(1976)年 12 月 1 日発行(文藝春秋)

3575) 「文学界」11 月号 1976

昼の月(立原正秋)/ころもならずも...(富士正晴)/巷塵(高橋昌男)  
雨乞いの村(福沢英敏)/諫早舟唄日記(野呂邦暢)  
海嘯(連載第 10 回)(金石範)  
不在の部屋(連載第 11 回)(曾野綾子)  
触媒(連載第 31 回)(田久保英夫)  
左岸(連載第 37 回)(井上光晴)  
〈発言「私の戦後文学」〉生きている"戦争"(片岡啓治)  
基礎体験の特殊性(本多秋五)  
消えていく...(黒井千次)/こわい電話(天沢退二郎)  
はずれる指環(黒江光彦)/編集者三十歳定年説(山本夏彦)  
〈対談時評〉\* 野呂邦暢『とらわれの冬』\* 坂上弘『祖母の憂鬱』  
\* 加藤富夫『白い鴉』世代と社会性(城山三郎・饗庭孝男)  
〈新書解体〉現世の神秘家-- 河野多恵子『谷崎文学と皇帝の欲望』(川村二郎)  
同人雑誌評(駒田信二)  
ディキンスンのロシア語〈扉の詩〉(長谷川四郎)  
コントロールタワー  
文学界新人賞中間発表/文学界新人賞応募規定  
昭和 51(1976)年 11 月 1 日発行(文藝春秋)

3576) 「文學界」 10 月号 1976

諫早舟唄日記(130 枚)(野呂邦暢)/休止符(杉森久英)/哀原(古井由吉)

白い鴉(加藤富夫)/少年の夏(吉村昭)/仮縫い(寺久保友哉)

海嘯(連載第 9 回)(金石範)

不在の部屋(連載第 10 回)(曾野綾子)

触媒(連載第 30 回)(田久保英夫)

左岸(連載第 36 回)(井上光晴)

〈特集〉現代文学への提言

「昭和」と「戦後」の間--「私の戦後文学」を読んで(中野孝次)

小説のむずかしさ--近頃の小説に思うこと(和田芳恵)

解放とデカダンス--表現の自由について(福田宏年)

ヒマラヤの眺め(芝木好子)/柳北拾遺(前田愛)/法事(森崎和江)

蛮語と蛮文の自由(海棠昌之)/あの夏のはやり言葉(久保田二郎)

私のなかの東京--〈文学散策記〉外濠線にそって(野口富士男)

〈対談時評〉\* 神山圭介『鶉色の武勲詩』\* 黎まやこ『砂丘』

\* 小林信彦『家の旗』作家の年齢と主題(岡松和夫・饗庭孝男)

〈新書解体〉気質と方法-- 田久保英夫『髪の環』(岩橋邦枝)

「優しさ」の周辺-- 坂上弘『優しい人々』(足立康)

〈同人雑誌推薦作〉姉妹(木村閑子)

同人雑誌評(駒田信二)

クタイシのなまの斜面に〈扉の詩〉(荒川洋治)

コントロールタワー/文学界新人賞応募規定

昭和 51(1976)年 10 月 1 日発行(文藝春秋)

3577) 「文學界」 9 月号 1976

鶉色の武勲詩(220 枚)(神山圭介)/チェリーが死んだ(宇野千代)

蟹(吉行理恵)/浮人形(加藤富夫)/砂丘(黎まやこ)

海嘯(連載第 8 回)(金石範)

不在の部屋(連載第 9 回)(曾野綾子)

触媒(連載第 29 回)(田久保英夫)

〈特集〉私の戦後文学

「孤島夢」のころ(庄野潤三)/流行の考え方(古山高麗雄)/薄暗い背景(津島佑子)

遠くなりにはけり(富士正晴)/「近代文学」の人達(立原正秋)

戦後文学って何だ(野坂昭如)/戦後文学観(保田與重郎)

文学史の鎖国と開国--身内の眼・他人の眼(磯田光一)

〈対談〉文学的風土と青春--佐世保・ジャズ・女(井上光晴/村上龍)

〈対談時評〉\* 中村昌義『静かな日』\* 岡松和夫『駈落者』

\* 津村節子『雪の柩』小説の「心」について(岡松和夫・饗庭孝男)

〈新書解体〉ふしぎな肉体を持つ夢-- 清岡卓行『夢を植える』(飯島耕一)

〈同人雑誌推薦作〉ウェイトレス(藤本恵子)

同人雑誌評(林富士馬)

白髪青年〈扉の詩〉(清水昶)

コントロールタワー/文学界新人賞応募規定

昭和 51(1976)年 9 月 1 日発行(文藝春秋)

3578) 「文學界」 8 月号 1976

〈対談〉文士の生態学--職業としての小説家(吉行淳之介・丸谷才一)

骸骨踊り(耕治人)/雪の柩(津村節子)/家路(福沢英敏)

夏の刻印(小久保均)/幼年絵葉書(多田裕計)

海嘯(連載第 7 回)(金石範)

不在の部屋(連載第 8 回)(曾野綾子)

触媒(連載第 28 回)(田久保英夫)

黄色い皇帝(最終回)(芝木好子)

左岸(連載第 35 回)(井上光晴)  
 <特集>批評の文体  
   書物離れ(山本健吉)/言葉のねりもの(川村二郎)  
   「私」ばなれ(佐伯彰一)/模倣と真実(秋山駿)  
   弱点とその化粧(磯田光一)/なれを許さない(奥野健男)/文章(吉田健一)  
 死後四十九年(中野重治)/対談の整理(長部日出雄)  
 演技(富岡多恵子)/鈴木稔学会(足立巻一)  
 <対談時評>\*高橋たか子『人形愛』\*岩橋邦枝『浅い眠り』  
   \*宮本徳蔵『翔ける壺』体験と短篇小説(加賀乙彦・饗庭孝男)  
 エリートの文学を排す--大衆文学の可能性(片岡啓治)  
 <新書解体>異域と日常--古井由吉『聖』(花輪莞爾)  
 <同人雑誌推薦作>純粹病異聞(藤井弥生)  
 同人雑誌評(林富士馬)  
 めぐる季節<扉の詩>(諏訪優)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和 51(1976)年 8 月 1 日発行(文藝春秋)

### 3579) 「文學界」 7 月号 1976

<特集>私の文章作法  
   生きた文章(永井龍男)/感じたままに書く(安岡章太郎)  
   水のような(吉行淳之介)/志賀直哉の油絵によせて(藤枝静男)  
   明晰さについて(辻邦生)/待つ・聞く・書く(阿部昭)/文明の条件(丸谷才一)  
 紫野大徳寺(立原正秋)/浅い眠り(岩橋邦枝)  
 夏の胞衣(畑山博)/親知らず(木田紀雄)  
 海嘯(連載第 6 回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第 7 回)(曾野綾子)  
 水中庭園(最終回)(山田智彦)  
 触媒(連載第 27 回)(田久保英夫)  
 黄色い皇帝(連載第 15 回)(芝木好子)  
 左岸(連載第 34 回)(井上光晴)  
 <対談>作家の経済学--創造のための情報(開高健・江藤淳)  
   嫌悪羞恥の念(三浦朱門)/夢の力(中上健次)/記憶の冥さ(高橋たか子)  
   『死霊』と真善美社(中野孝次)/展覧会のサイン帳(柝折久美子)  
 <対談時評>\*野津決『鉛の華』\*村上龍『限りなく透明に近いブルー』  
   感覚と風俗を超える(坂上弘・饗庭孝男)  
   『死霊』と戦後文学(白川正芳)  
 <同人雑誌推薦作>犬の生活(小谷章)  
 同人雑誌評(林富士馬)  
 夕暮の前に<扉の詩>(黒田喜夫)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和 51(1976)年 7 月 1 日発行(文藝春秋)

### 3580) 「文學界」 6 月号 1976

<第 42 回文學界新人賞決定発表>  
   <佳作>鉛の華(野津決)  
   <佳作>遺体(黒田宏治郎)  
   <選評>坂上弘・森内俊雄・開高健・丸山健二・石原慎太郎  
   ふるさとは要らない(中里恒子)/花柳芳兵衛・母恋(富士正晴)  
 津軽の雪(八木義徳)/道(林京子)  
 海嘯(連載第 5 回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第 6 回)(曾野綾子)  
 水中庭園(連載第 11 回)(山田智彦)  
 触媒(連載第 26 回)(田久保英夫)

黄色い皇帝(連載第 14 回)(芝木好子)  
 左岸(連載第 33 回)(井上光晴)  
 ある個人的回想(続)--文学作品に反映したスパイ・リンチ事件(平野謙)  
 牧野信一文学碑(河上徹太郎)/「添田」と「お雪」(秦恒平)  
 ロマンにも市民権を(小松伸六)/「白樺」終焉(紅野敏郎)  
 <対談時評>\*梅原稜子『獺[かわうそ]』\*山本道子『公園幻想』  
     \*高橋三千綱『親父の年頃』関係追求の視点(河野多恵子・饗庭孝男)  
 <新書解体>時間と死-- 阪田寛夫『背教』(古屋健三)  
     幻想の内と外-- 丸山健二『火山の歌』(立仙順朗)  
 同人雑誌評(久保田正文)  
 一枚のガラス<扉の詩>(多田智満子)  
 コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
 昭和 51(1976)年 6 月 1 日発行(文藝春秋)

3581) 「文学界」 5 月号 1976

<新鋭創作特集>申し子(三好京三)/パントマイム(北澤三保)  
     遠い野の声(中川裕朗)/獺[かわうそ](梅原稜子)/棄小舟(寺久保友哉)  
 海嘯(連載第 4 回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第 5 回)(曾野綾子)  
 水中庭園(連載第 10 回)(山田智彦)  
 触媒(連載第 25 回)(田久保英夫)  
 黄色い皇帝(連載第 13 回)(芝木好子)  
 左岸(連載第 32 回)(井上光晴)  
 <対談>「厄介」な世代--昭和一ケタ作家の問題点(岡松和夫・後藤明生)  
     『王様の背中』(庄野潤三)/グロテスク(野呂邦暢)  
     私は社長です(つかこうへい)/無縁仏と小説(三枝和子)  
     ある区切り(野口富士男)  
 <対談時評>\*森泰三『結婚』\*太田道子『花酔い』  
     \*森内俊雄『羊水花』小説の構成と方法(小川国夫・饗庭孝男)  
     誰も知らなかったこと--川端康成氏の冤罪を濯ぐ(武田勝彦)  
 同人雑誌評(久保田正文)  
 声(こえおんな)女<扉の詩>(藤井貞和)  
 コントロールタワー/文学界新人賞応募規定/文学界新人賞中間発表  
 昭和 51(1976)年 5 月 1 日発行(文藝春秋)

3582) 「文学界」 4 月号 1976

<対談>破滅と抑制--作家にとっての環境(丸山健二・中上健次)  
     聖母讃歌(遠藤周作)/裏街の夏(高橋昌男)/千把の柴(黎まやこ)  
     螢(森内俊雄)/花酔い(太田道子)  
 海嘯(連載第 3 回)(金石範)  
 不在の部屋(連載第 4 回)(曾野綾子)  
 水中庭園(連載第 9 回)(山田智彦)  
 触媒(連載第 24 回)(田久保英夫)  
 黄色い皇帝(連載第 12 回)(芝木好子)  
 左岸(連載第 31 回)(井上光晴)  
     ある個人的回想--文学作品に反映したスパイ・リンチ事件(平野謙)  
     月の十日ごろ(山口瞳)/吃音講演(金鶴泳)/市民文芸の話(吉田知子)  
     血ぬられた朝(古屋健三)/絵島の遺品(島村利正)  
 <対談時評>\*岡松和夫『人間の火』\*中上健次『雲山』  
     \*古井由吉『夜の香り』開かれる小説空間(日野啓三・饗庭孝男)  
 <新書解体>壮烈な実験小説-- 石原慎太郎『光より速きわれら』(磯田光一)  
 <同人雑誌推薦作>表彰(石川洋)  
 同人雑誌評(久保田正文)

道標<扉の詩>(天沢退二郎)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 51(1976)年 4 月 1 日発行(文藝春秋)

3583) 「文學界」 3 月号 1976

<芥川賞受賞第一作>人間の火(岡松和夫)/雲山(中上健次)  
冬の旅(阪田寛夫)/ゼブラ・ゾーン(北澤三保)/いづくの蟹(光岡明)  
<第 6 回九州沖縄文学賞決定発表>  
頭蓋に立つ旗(帚木蓬生)<選後評>(秋山駿)  
海嘯(連載第 2 回)(金石範)  
不在の部屋(連載第 3 回)(曾野綾子)  
水中庭園(連載第 8 回)(山田智彦)  
触媒(連載第 23 回)(田久保英夫)  
黄色い皇帝(連載第 11 回)(芝木好子)  
左岸(連載第 30 回)(井上光晴)  
<追悼・舟橋聖一>弔辞拾遺(丹羽文雄)/興味深い人(河盛好蔵)  
舟橋さんと「風景」(八木義徳)/豪華メニュー(瀬戸内晴美)  
物語と「私」の間(佐伯彰一)/四十年前(杉森久英)  
死者への手紙(立原正秋)/舟橋聖一の立派さ(土方定一)  
面白い人(江藤淳)  
Y 君の訪問(小島信夫)/父の死(津村節子)/雪まつり(吉増剛造)  
誰でも知っていること(川嶋至)/檀一雄追悼(林富士馬)  
<対談時評>\*丸山健二『シェパードの九月』\*岡田陸『路傍』  
\*林京子『なんじゃもんじゃの面』"自己のありか"の追求(阿部昭・饗庭孝男)  
同人雑誌評(小松伸六)  
海の探偵<扉の詩>(郷原弘)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 51(1976)年 3 月 1 日発行(文藝春秋)

3584) 「文學界」 2 月号 1976 新春特別号

シェパードの九月(200 枚)(丸山健二)  
ボス(三浦朱門)/木菟(みみずく)(加藤富夫)/邯鄲(高橋揆一郎)  
<新連載>海嘯(金石範)  
不在の部屋(連載第 2 回)(曾野綾子)/水中庭園(連載第 7 回)(山田智彦)  
触媒(連載第 22 回)(田久保英夫)/黄色い皇帝(連載第 10 回)(芝木好子)  
左岸(連載第 29 回)(井上光晴)  
<対談>ちかごろの文学--実作者と文芸時評(藤枝静男・富士正晴)  
志賀直哉の夢(小川国夫)/傷と自慢(山本太郎)/人形町界限(小林信彦)  
体操(吉行理恵)/秋雨の日(小林勇)  
<対談時評>\*水上勉『みかん水と棒剣』\*岡田陸『白鯰[はや]』  
\*永井龍男『粗朶の海』\*中里恒子『朧草紙』  
私小説の再認識(和田芳恵・饗庭孝男)  
悪魔と墓--谷崎文学と肯定の欲望(最終回)(河野多恵子)  
旅人宿の日毎夜毎--文藝的な自伝的な・14(舟橋聖一)  
<同人雑誌推薦作>二人三脚(大江耀子)  
同人雑誌評(小松伸六)  
嘯[うそぶ]<扉の詩>(牧羊子)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 51(1976)年 2 月 1 日発行(文藝春秋)

3585) 「文學界」 1 月号 1976 新年特別号

<新年創作特集>桃の雨(阿川弘之)/虚鈴(瀬戸内晴美)/関寺(立原正秋)  
光る樹(坂上弘)/凧(吉村昭)/朧草紙(中里恒子)



花田の京都は霧の中(富士正晴)/四角い女(畑山博)/板谷峠(島村利正)  
 <新連載>不在の部屋(曾野綾子)  
 黄色い皇帝(連載第9回)(芝木好子)  
 触媒(連載第21回)(田久保英夫)  
 水中庭園(連載第6回)(山田智彦)  
 左岸(連載第28回)(井上光晴)  
 <対談>明治の小説・現代の小説--「政治小説」を軸に(木村毅・松本清張)  
 道楽ということ(内藤濯)/時間(後藤明生)/身体的位置(上田三四二)  
 取材と創作の間(森万紀子)/長生きすれば...(河盛好蔵)  
 願望と実現--川村二郎『懐古のトポス』に沿って(森敦)  
 悪魔と墓--谷崎文学と肯定の欲望(13)(河野多恵子)  
 梅七分咲き--文藝的な自伝的な・13(舟橋聖一)  
 <新書解体>詩と「私」--清岡卓行『詩禮傳家』(高橋英夫)  
 <同人雑誌推薦作>山の声(星野貞治)  
 同人雑誌評(小松伸六)  
 ひとみしり<扉の詩>(清岡卓行)  
 コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
 昭和51(1976)年1月1日発行(文藝春秋)

3586) 「文学界」12月号1975

<第41回文学界新人賞決定発表>  
 <受賞作>子育てごっこ(三好京三)  
 <佳作>遙かな森(北澤三保)  
 <選評>(開高健・森内俊雄・坂上弘・丸山健二・石原慎太郎)  
 吹き降り(山本道子)/一滴の夏(野呂邦暢)/真夜中の出発(庄野潤三)  
 黄色い皇帝(連載第8回)(芝木好子)  
 触媒(連載第20回)(田久保英夫)  
 水中庭園(連載第5回)(山田智彦)  
 左岸(連載第27回)(井上光晴)  
 泥棒の悪魔(加賀乙彦)/頭のなかの地図(津島佑子)  
 通俗状況論のなかで(大城立裕)/<に>と<を>と(久保田正文)  
 富士と死装束と(綱淵謙錠)  
 往復書簡・最終回(9月23日~10月20日)(宇野千代・中里恒子)  
 榛名湖の午後--文藝的な自伝的な・12(舟橋聖一)  
 悪魔と墓--谷崎文学と肯定の欲望(12)(河野多恵子)  
 拒まれた夢の淋しさ--昭和50年の創作集をめぐって(古屋健三)  
 <対談時評>\*坂上弘『優しい人々』\*岡松和夫『志賀島』(畑山博・野呂邦暢)  
 同人雑誌評(駒田信二)  
 市井巷説<扉の詩>(林富士馬)  
 コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
 昭和50(1975)年12月1日発行(文藝春秋)

3587) 「文学界」11月号1975

背教(300枚)(阪田寛夫)/なごやかな週末(岩橋邦枝)  
 志賀島(岡松和夫)/納豆御飯(庄野潤三)  
 黄色い皇帝(連載第7回)(芝木好子)  
 触媒(連載第19回)(田久保英夫)  
 水中庭園(連載第4回)(山田智彦)  
 左岸(連載第26回)(井上光晴)  
 往復書簡・その9(8月26日~9月16日)(宇野千代・中里恒子)  
 夜の潮騒--文藝的な自伝的な・11(舟橋聖一)  
 片面だけの反俗--谷崎文学と肯定の欲望(11)(河野多恵子)  
 アール・ヌーヴォーと現代(生島遼一)/自覚ということ(西尾幹二)

「花実の森」補遺(保高みさ子)/広間と密室(宮原昭夫)  
 <対談時評>\*中上健次『岬』\*小松紀夫『酸漿』  
                   \*立松和平『光匂い満ちてよ』(川村二郎・畑山博)  
 <同人雑誌推薦作>腕ずもう(寺久保友哉)  
 同人雑誌評(駒田信二)  
 三峽の駅をすぎ<扉の詩>(山田かん)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定/文學界新人賞中間発表  
 昭和 50(1975)年 11 月 1 日発行(文藝春秋)

### 3588) 「文學界」 10 月号 1975

<対談>政治と文学--ロマンティシズムの亡霊(開高健・江藤淳)  
 絹子と和彦(三木卓)/職探し(三浦朱門)/昨日の少女(富岡多恵子)  
 岬(中上健次)/シャボン玉吹き(庄野潤三)  
 黄色い皇帝(連載第 6 回)(芝木好子)  
 触媒(連載第 18 回)(田久保英夫)  
 水中庭園(連載第 3 回)(山田智彦)  
 左岸(連載第 25 回)(井上光晴)  
 往復書簡・その 8(7 月 22 日~8 月 19 日)(宇野千代・中里恒子)  
 一粒の青き麥--文藝的な自伝的な・10(舟橋聖一)  
 片面だけの反俗--谷崎文学と肯定の欲望(10)(河野多恵子)  
 死について(瀬戸内晴美)/高見さんの『日記』(武田文章)  
 荷風とその父(大久保喬樹)/思いがけない発見者(清岡卓行)  
 <対談時評>\*小沢冬雄『黒い風を見た...』\*田村孟『いま桃源に』  
                   \*広川禎孝『プラネタリウム』(森敦・川村二郎)  
 <新書解体>人間肯定、ないし讃歌--辻邦生『真晝の海への旅』(高橋英夫)  
 <同人雑誌推薦作>遁走(宇尾房子)  
 同人雑誌評(駒田信二)  
 テレサ<扉の詩>(谷川俊太郎)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和 50(1975)年 10 月 1 日発行(文藝春秋)

### 3589) 「文學界」 9 月号 1975

<対談>芥川賞受賞作『祭りの場』をめぐって  
                   昭和 20 年 8 月 9 日--原爆体験と文学(林京子・野呂邦暢)  
 いま桃源に(170 枚)(田村孟)/運河の秋(120 枚)(勝木康介)  
 狸になった少年(100 枚)(素九鬼子)/雲の切れ目(庄野潤三)  
 水中庭園(連載第 2 回)(山田智彦)/黄色い皇帝(連載第 5 回)(芝木好子)  
 触媒(連載第 17 回)(田久保英夫)/左岸(連載第 24 回)(井上光晴)  
 往復書簡・その 7(6 月 23 日~7 月 18 日)(宇野千代・中里恒子)  
 茄子紺の路--文藝的な自伝的な・9(舟橋聖一)  
 恋愛欠落の文学--谷崎文学と肯定の欲望(9)(河野多恵子)  
 造型と生命と(山本健吉)/右のポケットが.....(開高健)  
 一冊の本から(八木義徳)/二足の草鞋履き納め(高井有一)  
 <対談時評>\*宮本徳蔵『浮游』\*加藤富夫『さらば、海軍』  
                   \*岩橋邦枝『日だまり』(日野啓三・森敦)  
 <新書解体>現代像としての"町"--黒井千次『眼の中の町』(金子昌夫)  
 <同人雑誌推薦作>その日(大館欽一)  
 同人雑誌評(林富士馬)  
 パリの Rigue<扉の詩>(中桐雅夫)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和 50(1975)年 9 月 1 日発行(文藝春秋)

3590) 「文學界」 8月号 1975

<創作特集>高く跳べ、バック(野呂邦暢)/さらば、海軍(加藤富夫)  
榊原敬吉郎のこと(富士正晴)/もうひとつの旅(山田稔)/梅の実(庄野潤三)  
<同人雑誌推薦作>女たち(野口存彌)  
<新連載>水中庭園(山田智彦)/黄色い皇帝(連載第4回)(芝木好子)  
触媒(連載第16回)(田久保英夫)/左岸(連載第23回)(井上光晴)  
「東京裁判」論--木下順二『審判』を中心に(磯田光一)  
志賀直哉論--その「自然」と「夢」(饗庭孝男)  
往復書簡・その6(5月20日~6月18日)(宇野千代・中里恒子)  
女難から恋ざめ--文藝的な自伝的な・8(舟橋聖一)  
恋愛欠落の文学--谷崎文学と肯定の欲望(8)(河野多恵子)  
即日帰郷(中村真一郎)/サローヤンと庄野さん(阪田寛夫)  
有つて生れた性格の相違(柄谷行人)/不刊叢書(稲垣達郎)  
<対談時評>\*不二今日子『花捨て』\*阪井洋一『汽笛』  
\*高橋揆一郎『氷かんざし』(黒井千次・日野啓三)  
同人雑誌評(林富士馬)  
ものがたり<扉の詩>(長田弘)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和50(1975)年8月1日発行(文藝春秋)

3591) 「文學界」 7月号 1975

八重山の雪(91枚)(宇野千代)/氷かんざし(高橋揆一郎)  
雨づつみ(海棠昌之)/廻廊(津島佑子)/ココアと筍(庄野潤三)  
黄色い皇帝(連載第3回)(芝木好子)  
触媒(連載第15回)(田久保英夫)  
左岸(連載第22回)(井上光晴)  
<対談>文学の起源--世代と体験をめぐって(阿部昭・入江隆則)  
ひとつの伝聞証拠(平野謙)/人のふり(三浦朱門)/先生の胡桃の木(辻邦生)  
音のユートピア(高橋たか子)/アナキストのこと(小松伸六)  
田螺の思うことなど--田螺のつぶやき・最終回(臼井吉見)  
往復書簡・その5(4月3日~5月10日)(宇野千代・中里恒子)  
恋愛欠落の文学--谷崎文学と肯定の欲望(7)(河野多恵子)  
ひげ黒の踏切番--文藝的な自伝的な・7(舟橋聖一)  
<新書解体>死滅の日は祝すべき哉--山本健吉『正宗白鳥』(松本鶴雄)  
回生の秘儀--宇野千代『薄墨の櫻』(上田三四二)  
<対談時評>\*矢島輝夫『もうひとつの生活』\*福沢英敏『哀しい男』  
\*林京子『祭りの場』(宮原昭夫・黒井千次)  
同人雑誌評(林富士馬)  
禍橋<扉の詩>(芝山幹郎)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和50(1975)年7月1日発行(文藝春秋)

3592) 「文學界」 6月号 1975

<創作特集>老木の花(和田芳恵)/動物園裏(山本道子)  
金雀花の蔭に(清岡卓行)/哀しい男(福沢英敏)  
雲の中の光(三枝和子)/草餅(庄野潤三)  
<第40回文學界新人賞決定発表>  
<候補作>異国(背羽邦彦)  
<選評>(黒井千次・丸谷才一・開高健・阿部昭)  
黄色い皇帝(連載第2回)(芝木好子)  
触媒(連載第14回)(田久保英夫)  
左岸(連載第21回)(井上光晴)  
往復書簡・その4(3月11日~4月2日)(宇野千代・中里恒子)

「夜明け前」の資料調べ--田螺のつぶやき・11(臼井吉見)  
不忍池畔夜景--文藝的な自伝的な・6(舟橋聖一)  
心理的マゾヒズムと関西--谷崎文学と肯定の欲望(6)(河野多恵子)  
村上一郎の悲劇(磯田光一)/故郷に行かざるの記(日野啓三)  
ダキニ天の里(川村二郎)/潤一郎その側面(大久保典夫)/足と煙草(吉村昭)  
〈新書解体〉「無垢」の強さ--『北原武夫文学全集・評論篇』(饗庭孝男)  
〈対談時評〉\*富岡多恵子『動物の葬禮』\*小沢冬雄『栄巢記』  
\*高橋三千綱『おれたち』(丸山健二・宮原昭夫)  
同人雑誌評(久保田正文)  
ヒマラヤの水<扉の詩>(田村隆一)  
コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
昭和 50(1975)年 6 月 1 日発行(文藝春秋)

3593) 「文学界」 5 月号 1975

〈対談〉文学と自然喪失--作家の内面を蝕むもの(江藤淳・開高健)  
晴間(高橋たか子)/乱世画人譚(富士正晴)/動物の葬禮(富岡多恵子)  
甘い実(高橋昌男)/花瓶(庄野潤三)  
〈同人雑誌推薦作〉卵(光岡明)  
〈新連載〉黄色い皇帝(芝木好子)  
触媒(連載第 13 回)(田久保英夫)  
左岸(連載第 20 回)(井上光晴)  
上林曉論--私小説と感情の領域(高橋英夫)  
春の結婚(黒井千次)/走りつづけて(郷静子)  
行方不明(宮内豊)/声明について(酒井誠一郎)  
往復書簡・その 3(2 月 5 日~3 月 4 日)(宇野千代・中里恒子)  
服部之総の青山半蔵論--田螺のつぶやき・10(臼井吉見)  
雪の木びき町--文藝的な自伝的な・5(舟橋聖一)  
心理的マゾヒズムと関西--谷崎文学と肯定の欲望(5)(河野多恵子)  
〈新書解体〉深層意識の寓話--中村真一郎『四季』(白川正芳)  
〈対談時評〉\*森内俊雄『使者』\*波多野文彦『真夜中のパズル』  
\*森本等『季節風』(李恢成・丸山健二)  
同人雑誌評(久保田正文)  
乳酪のある私<扉の詩>(高橋睦郎)  
コントロールタワー/文学界新人賞中間発表/文学界新人賞応募規定  
昭和 50(1975)年 5 月 1 日発行(文藝春秋)

3594) 「文学界」 4 月号 1975

〈対談〉異邦人感覚と文学--体験をどう書くか(五木寛之・日野啓三)  
冬の皇帝(野呂邦暢)/掌の光景(梅原稜子)/碧空(岡松和夫)  
ユッカ蘭の猫(庄野潤三)/使者(200 枚)(森内俊雄)  
触媒(連載第 12 回)(田久保英夫)  
左岸(連載第 19 回)(井上光晴)  
往復書簡・その 2(1 月 13 日~27 日)(宇野千代・中里恒子)  
「新生」の褒貶--田螺のつぶやき・9(臼井吉見)  
谷崎文学と肯定の欲望(4)--心理的マゾヒズムと関西(河野多恵子)  
水際の夕景色--文藝的な自伝的な・4(舟橋聖一)  
恋愛七年周期説(福田宏年)/祖父の血(大庭みな子)  
シュシュ シュシュ(井上ひさし)/フォークソングと花袋(松本鶴雄)  
〈新書解体〉西洋蠟燭の追奏曲--中里恒子『わが庵』『土筆野』(奥野健男)  
〈対談時評〉\*阪田寛夫『足踏みオルガン』\*阪井洋一『立春』  
\*日野啓三『風の地平』(駒田信二・李恢成)  
同人雑誌評(久保田正文)  
犬<扉の詩>(財部鳥子)

コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 50(1975)年 4 月 1 日発行(文藝春秋)

3595) 「文學界」 3 月号 1975

〈芥川賞受賞第一作〉石の年(日野啓三)  
足踏みオルガン(阪田寛夫)  
冬のひろしま(畑山博)/清吉の暦(高橋揆一郎)/七草過ぎ(庄野潤三)  
〈第 5 回九州沖縄文学賞決定発表〉黎明の河口(きだたかし)  
戦争と少年〈選評〉(秋山駿)  
触媒(連載第 11 回)(田久保英夫)  
左岸(連載第 18 回)(井上光晴)  
〈新連載〉往復書簡(宇野千代・中里恒子)  
ナポレオン法典について(大岡昇平)/直し上手(吉田知子)  
習志野(後藤明生)/外国人と日本語(杉森久英)/鏡花と白鳥(後藤亮)  
湘南の春から夏--文藝的な自伝的な・3(舟橋聖一)  
谷崎文学と肯定の欲望(3)--心理的マゾヒズムと関西(河野多恵子)  
「夜明け前」の褒貶--田螺のつぶやき・8(臼井吉見)  
〈新書解体〉禁忌と穢れ--古井由吉『櫛の火』(饗庭孝男)  
永遠なる同時代--平野謙『さまざまな青春』(篠田一士)  
〈対談時評〉\*小川国夫『旅役者』\*和田芳恵『囃し詞』  
\*勝木康介『棘』(長部日出雄・駒田信二)  
同人雑誌評(小松伸六)  
夜の声<扉の詩>(会田千衣子)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 50(1975)年 3 月 1 日発行(文藝春秋)

3596) 「文學界」 2 月号 1975 新春特別号

〈対談〉文章の荒廃について--国語教育・文士気質・新憲法(江藤淳・開高健)  
冬の初め(三浦朱門)/青い絵(吉村昭)/窓(瀬戸内晴美)  
律義者勝重(富士正晴)/彼の立場(福沢英敏)/草を茹る男(山本道子)  
棘(勝木康介)/かまいたち(庄野潤三)  
触媒(連載第 10 回)(田久保英夫)  
左岸(連載第 17 回)(井上光晴)  
文学史と文壇史--松本清張『文豪』をめぐって(平野謙)  
漫画界の混乱(飯沢匡)/小さな手段(荒正人)/俺とお前の仲(秦恒平)  
伝記と作品の乖離(篠田一士)/ブラジル返り(醍醐麻沙夫)  
隅田の白魚--文藝的な自伝的な・2(舟橋聖一)  
谷崎文学と肯定の欲望--「卍」について(2)(河野多恵子)  
澁川驕の藤村論--田螺のつぶやき・7(臼井吉見)  
〈新書解体〉多彩な平明さ--三浦哲郎『野』(秋山駿)  
〈対談時評〉\*古井由吉『駆ける女』\*田久保英夫『月かげ』  
\*山本孝夫『求人広告』(安岡章太郎・長部日出雄)  
同人雑誌評(小松伸六)  
灯火点在<扉の詩>(鈴木志郎康)  
コントロールタワー  
昭和 50(1975)年 2 月 1 日発行(文藝春秋)

3597) 「文學界」 1 月号 1975 新年特別号

〈新連載〉文藝的な自伝的な(第 1 回・最初の芝居見物)(舟橋聖一)  
谷崎文学と肯定の欲望(第 1 回・「卍」について)(河野多恵子)  
〈新年創作特集〉  
風超峠にて(辻邦生)/刺青の秋(丸山健二)/蜻蛉の日(三木卓)  
山姫(中里恒子)/求人広告(山本孝夫)/ひまやきりしたん(素九鬼子)

鍛冶屋の馬(庄野潤三)  
 触媒(連載第9回)(田久保英夫)  
 左岸(連載第16回)(井上光晴)  
 草の中の南瓜--見た、この世の地獄を(深沢七郎)  
 宇野浩二の三日月信仰--田螺のつぶやき・6(臼井吉見)  
 ペン・クラブのことなど(尾崎一雄)/鷗外の「棕鳥通信」(河盛好蔵)  
 創造者の怖れ(佐伯彰一)/批評家(林富士馬)/ソフィア夫人の墓(木村浩)  
 <同人雑誌推薦作>工場(福元早夫)  
                     低いままの天井(小檜山博)  
 同人雑誌評(小松伸六)  
 <新書解体>荒涼の愛欲世界--瀬戸内晴美『抱擁』(三枝和子)  
 <対談時評>\*清岡卓行『ある濁音』\*山本道子『蛾』  
                     \*春山希義『雪のない冬』(安岡章太郎・阿部昭)  
 越冬賦<扉の詩>(澁沢孝輔)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和50(1975)年1月1日発行(文藝春秋)

3598) 「文學界」12月号1974

<第39回文學界新人賞決定発表>  
   <受賞作>雪のない冬(春山希義)  
   <佳作>町へ(倉沢英彬)  
   <選評>(黒井千次・丸谷才一・開高健・辻邦生・阿部昭)  
 蛾(山本道子)/ロミオの父(阪田寛夫)/地底湖行き(太田道子)  
 春の祭典(高橋昌男)/頭の中の川(耕治人)  
 触媒(連載第8回)(田久保英夫)  
 左岸(連載第15回)(井上光晴)  
 新潟・佐渡・新発田(巖谷大四)/主従関係(津島佑子)  
 空想の罪(なだいなだ)/写生文のこと(松原新一)  
 青木智夫と翻訳批評--田螺のつぶやき・5(臼井吉見)  
 <新書解体>私的なものの変容  
                     --清岡卓行<萩原朔太郎『猫町』私論>(栗津則雄)  
                     禁忌の聖域--小川国夫<青銅時代>(古屋健三)  
 <対談時評>\*三木卓『震える舌』\*大谷藤子『鎮魂』  
                     \*金鶴泳『あぶら蟬』(阿部昭・坂上弘)  
 同人雑誌評(小松伸六)  
 冬の蚊<扉の詩>(嶋岡晨)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和49(1974)年12月1日発行(文藝春秋)

3599) 「文學界」11月号1974

囲いの外へ(250枚)(郷静子)/アマのイワト考(加藤富夫)  
 好みの弁当(和田芳恵)/父の海(高橋光子)  
 触媒(連載第7回)(田久保英夫)  
 左岸(連載第14回)(井上光晴)  
 現代文学と内向性--「内向の世代」という虚像(福田宏年)  
 正直正太夫の魅力--田螺のつぶやき・4(臼井吉見)  
 端女・踊り子・聖職者(久保田正文)/稲垣足穂と戦後文学(白川正芳)  
 職人(津村節子)/「時流」について(磯田光一)  
 <新書解体>緊急にして重要なる--丸谷才一『日本語のために』(山口瞳)  
 <対談時評>\*大庭みな子『すぐりの島』\*阪田寛夫『土の器』  
                     \*畑山博『風の通り道』(坂上弘・饗庭孝男)  
 同人雑誌評(小松伸六)  
 雪花菜<扉の詩>(緒方昇)

コントロールタワー/文學界新人賞中間発表/文學界新人賞応募規定  
昭和 49(1974)年 11 月 1 日発行(文藝春秋)

3600) 「文學界」 10 月号 1974

<創作特集>すぐりの島(大庭みな子)/釈王寺(後藤明生)  
土の器(阪田寛夫)/乳首山の見える場所(島村利正)  
<同人雑誌推薦作>夏の事件(鬼島礼)  
触媒(連載第 6 回)(田久保英夫)  
左岸(連載第 13 回)(井上光晴)  
<対談>神とユーモア--近代日本文学が見失ったもの(遠藤周作・井上ひさし)  
ハーンのこと(木下順二)/不幸の感覚(山田稔)  
文学とは無縁の話(曾野綾子)/詩集について(長田弘)  
匿名批評の功罪--田螺のつぶやき・3(臼井吉見)  
<新書解体>歴史的関心の追求--大岡昇平『歴史小説の問題』(宮内豊)  
劣等者からの復讐--畑山博『神さまの親類』(野島勝彦)  
予見された死--森内俊雄『マラナ・タ終篇』(上総英郎)  
<対談時評>\*富岡多恵子『壺中庵異聞』\*日野啓三『あの夕陽』  
\*梅原稜子『夏の家』(饗庭孝男・高橋たか子)  
同人雑誌評(駒田信二)  
柱<扉の詩>(吉原幸子)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 49(1974)年 10 月 1 日発行(文藝春秋)

3601) 「文學界」 9 月号 1974

壺中庵異聞(280 枚)(富岡多恵子)  
あひるのドナサン(富士正晴)/夏草の匂い(高橋昌男)  
<同人雑誌推薦作>星の街(井上寿彦)  
触媒(連載第 5 回)(田久保英夫)  
左岸(連載第 12 回)(井上光晴)  
大島のもののふども--世良参謀と鉄然和尚(河上徹太郎)  
三島由紀夫とドン・キホーテ--磯田光一氏に答える(加賀乙彦)  
丹羽文雄のことども--田螺のつぶやき・2(臼井吉見)  
細部の眩暈(清岡卓行)/モデル考(宮原昭夫)  
はるかなる沖の島(素九鬼子)/親子の縁(芝木好子)  
<新書解体>脱出と帰還あるいは--丸山健二『赤い眼』(野呂邦暢)  
世界文学展望<アフリカ>(土屋哲)  
<対談時評>\*李恢成『追放と自由』\*後藤明生『思い川』  
(井上光晴・高橋たか子)  
同人雑誌評(林富士馬)  
リトル・キング<扉の詩>(清水哲男)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 49(1974)年 9 月 1 日発行(文藝春秋)

3602) 「文學界」 8 月号 1974

<対談>小説と原体験--伝記的研究をめぐって(大岡昇平・平野謙)  
饗応(梅原稜子)/黄金比の朝(中上健次)/熊野(岡松和夫)  
闇に咬まれる(海棠昌之)  
触媒(連載第 4 回)(田久保英夫)  
左岸(連載第 11 回)(井上光晴)  
体験・持続・散文精神--再説「帰らざる夏」(磯田光一)  
<新連載>田螺のつぶやき--運勢の強い男のあいさつ(臼井吉見)  
犬の遠吠え(金石範)/学者づら(駒田信二)/論争不成立ということ(森川達也)  
コペンハーゲンのモダン・バレエ(丸山健二)

<対談時評>\*丸谷才一『横しぐれ』\*山田智彦『特別休暇』  
           \*福沢英敏『まじめな森』(井上光晴・畑山博)  
 <新書解体>厳しい内面的追及--金石範『1945年夏』(松原新一)  
           自己限定の成果--江藤淳『海舟余波』(西尾幹二)  
 <同人雑誌推薦作>依頼免職(林田二郎)  
   同人雑誌評(林富士馬)  
   世界文学展望<イタリア編>(千種堅)  
   まだ出て来ない一人の兵士<扉の詩>(犬塚堯)  
   コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
   昭和49(1974)年8月1日発行(文藝春秋)

3603) 「文学界」 7月号 1974

<創作特集>鍵のかかる部屋(三浦朱門)/まじめな森(福沢英敏)  
           カゲの砦(加藤富夫)/献身(戸田房子)/貌(畑山博)  
   触媒(連載第3回)(田久保英夫)  
   左岸(連載第10回)(井上光晴)  
 <対談>小説の"回復"を求めて  
           --論争の季節の背景にあるもの(小島信夫・佐伯彰一)  
   アニミスト?(山本健吉)/小説家と競馬の予想屋(古山高麗雄)  
   方言(高井有一)/林芙美子の出生地(和田芳恵)  
   ほんもの主義考--江藤淳氏への反論(平岡篤頼)  
 <新書解体>「悪事」の園--高橋たか子『没落風景』(菅野昭正)  
   同人雑誌評(林富士馬)  
 <対談時評>\*日野啓三『浮ぶ部屋』\*金鶴泳『夏の亀裂』  
           \*高橋三千綱『退屈しのぎ』(宮原昭夫・畑山博)  
   イギリス大使館の庭のさくら<扉の詩>(小野十三郎)  
   コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
   昭和49(1974)年7月1日発行(文藝春秋)

3604) 「文学界」 6月号 1974

  わが庵(中里恒子)/クリスタルグラス(広松彰)/夏の亀裂(170枚)(金鶴泳)  
 <同人雑誌推薦作>雀(小沼燦)  
 <第38回文学界新人賞決定発表>  
   <候補作>僕の出発(北島伸介)  
   <選評>(阿部昭・開高健・丸谷才一・黒井千次・辻邦生)  
   触媒(連載第2回)(田久保英夫)  
   左岸(連載第9回)(井上光晴)  
   同窓鼎談(富士正晴)/思い込み(佐江衆一)/祖父の遺産(大庭みな子)  
   歯形(野呂邦暢)/老年芸術は変るか?(小松伸六)  
   "フォニイ"考(江藤淳)  
   歴史小説の問題(大岡昇平)  
 <新書解体>戦いの青春への挽歌--阿川弘之『暗い波濤』(ゆりはじめ)  
 <対談時評>\*坂上弘『白い道』\*三浦哲郎『沈丁花』『罰』  
           \*黒井千次『花鋏を持つ子供』(後藤明生・宮原昭夫)  
   同人雑誌評(久保田正文)  
   鶴石<扉の詩>(高橋新吉)  
   コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
   昭和49(1974)年6月1日発行(文藝春秋)

3605) 「文学界」 5月号 1974

<短篇小説特集>沈丁花(三浦哲郎)/老人と柵(吉村昭)/小人の口上(佐江衆一)  
           発情期(津島佑子)/紙碑(野島勝彦)/いれずみ(高橋昌男)  
 <新連載>触媒(田久保英夫)





海と砂糖黍(山本道子)/下士官(三浦朱門)/海辺の家(吉田知子)  
 シグナル(畑山博)/ときには風が止み...(三枝和子)/耳底記(富士正晴)  
 左岸(連載第5回)(井上光晴)  
 赤い眼(連載第10回)(丸山健二)  
 遙かなる島国-英国(近代史幻想16)(河上徹太郎)  
 青猫と黒猫(「猫町」私論7)(清岡卓行)  
 <新書解体>固有な主題の深化--畑山博『あしみの土』(白川正芳)  
 <座談会>なぜ「イエス」を書くか(遠藤周作・小川国夫・堀田雄康・高堂要)  
 二つの戦争体験(黒井千次)/寒山拾得考(柄谷行人)/もう一人のぼく(森敦)  
 谷崎潤一郎論拾遺(野口武彦)/黄色いマーガレット(吉行理恵)  
 <対談時評>\*大庭みな子『よろず修繕屋の妻』\*丸山健二『ましろの肖像』  
 \*吉田健至『壁の中からの詩』\*高橋英夫『引用と再現』(大岡信・丸谷才一)  
 同人雑誌評(小松伸六)  
 郷を想う<扉の詩>(江森國友)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和49(1974)年2月1日発行(文藝春秋)

3609) 「文學界」 2月号 1973 新春特別号

切り花(三浦朱門)/筏(大城立裕)/錆びた自転車(三浦哲郎)  
 はりがみ(宮原昭夫)/車輪の鳴る海(梅原稜子)/満月(前田隆之介)/  
 夏の伝説(青木哲夫)/抱擁(瀬戸内晴美)/蟲たちの棲家(高井有一)  
 世界文学展望<西ドイツ>両極化する政治意識(高辻知義)  
 小説の意味(栗津則雄)  
 ブーランジェ將軍の凋落(近代史幻想7)(河上徹太郎)  
 死は何処にいるのだ?(私の文学散歩14)(山本健吉)  
 <対談>歴史と現代文学--なぜ歴史小説を書くか(遠藤周作・辻邦生)  
 明治は遠く.....(尾崎一雄)/ある歌舞伎役者の話(小堀杏奴)  
 『ユリアヌス』の余白に(篠田一士)/「かのように」と文学(倉橋由美子)  
 クリーニング文学と私(D・ラガナ)/「藝文」という雑誌(井上光晴)  
 <対談時評>\*三木卓『炎に追われて』\*河野多恵子『うたがい』  
 \*小島信夫『一寸先は闇』(黒井千次・田久保英夫)  
 同人雑誌評(小松伸六)  
 深い眠り<扉の詩>(鈴木志郎康)  
 コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
 昭和48(1973)年2月1日発行(文藝春秋)

3610) 「文學界」 6月号 1973

<第36回文學界新人賞決定発表>  
 <受賞作>蛇いちごの周囲(青木八束)  
 <選評>(丸谷才一・辻邦生・開高健・阿部昭・黒井千次)  
 生きている限り(耕治人)/軍雞(三浦哲郎)  
 われらアジアの子(三木卓)/李訓長(金石範)  
 赤い眼(連載第2回)(丸山健二)  
 抱擁(連載第6回)(瀬戸内晴美)  
 世界文学展望<イギリス>「近代小説」の終焉(土屋哲)  
 西欧派とスラヴ派(近代史幻想10)(河上徹太郎)  
 死の恐怖<続>--私の文学散歩・16(山本健吉)  
 <新書解体>出発のない旅--津島佑子『生き物の集まる家』(篠田一士)  
 <対談時評>\*加藤富夫『口髭と虱』\*古井由吉『畑の声』  
 \*田久保英夫『浮標』(坂上弘・宮原昭夫)  
 エッセイの場合(河野多恵子)/『桜島』の特攻隊員(加賀乙彦)  
 「世間」と「文壇」(田辺聖子)/亡命者の手紙(李恢成)  
 ひとつの諧謔の予感(古井由吉)

同人雑誌評(久保田正文)  
白の宴<扉の詩>(渡辺武信)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 48(1973)年 6 月 1 日発行(文藝春秋)

3611) 「文學界」 12 月号 1972

れくいえむ(280 枚)(郷静子)/恋人たち(富岡多恵子)/少年たちの夜(三木卓)  
<第 35 回文學界新人賞決定発表>  
<受賞作>塗りこめられた時間(広松彰)/五月に.....(黎まやこ)  
<佳作>夏の伝説(青木哲夫)/日本人(野章雨)  
<選評>(野間宏・中村真一郎・佐伯彰一・井上光晴・丸谷才一)  
きぬた(最終回)(立原正秋)  
蟲たちの棲家(連載第 12 回)(高井有一)  
跛行の文学<小島信夫論>(饗庭孝男)  
わが勇ましのブーランジェ(近代史幻想 5)(河上徹太郎)  
「棄てる」ということ--私の文学散歩・12(山本健吉)  
硬骨の人(平野謙)/医者作家(なだいなだ)  
露字新聞ヴォーリヤ(野呂邦暢)/見出しの暴力(宮原昭夫)  
<対談時評>\*黒井千次『夢のいた場所』\*野呂邦暢『海辺の広い庭』  
\*勝木康介『遠い塔』(小川国夫・柴田翔)  
同人雑誌評(駒田信二)  
王子<扉の詩>(吉増剛造)  
コントロールタワー/文學界新人賞応募規定  
昭和 47(1972)年 12 月 1 日発行(文藝春秋)

3612) 「文學界」 10 月号 1972

三角の山(200 枚)(丸山健二)/いま見るとき(宇野千代)/部分たち(小林章)  
鼠どもへの訴状(最終回)(佐江衆一)  
作家の関心(井上靖)/サーカス(川嶋至)/眼の変幻(高橋たか子)  
お山参り(川村二郎)/透谷と朗読(吉増剛造)  
きぬた(連載第 10 回)(立原正秋)  
蟲たちの棲家(連載第 10 回)(高井有一)  
<対談>文学・実生活・死<私小説の評価をめぐって>(平野謙・丸谷才一)  
さらばコミュニケーション(近代史幻想 4)(河上徹太郎)  
海舟余波(わが読史余波・20)(江藤淳)  
<新書解体>父の不在--山田智彦『家を出る』(西尾幹二)  
<対談時評>\*水上勉『兵卒の髪[かみがしら]』\*古井由吉『狐』  
\*富岡多恵子『窓の向こうに動物が走る』(佐伯彰一・井上光晴)  
同人雑誌評(駒田信二)  
揖斐川[いびがわ]<扉の詩>(長谷川敬)  
コントロールタワー/第 36 回文學界新人賞応募規定  
昭和 47(1972)年 10 月 1 日発行(文藝春秋)

3613) 「文學界」 9 月号 1972

<芥川賞受賞第一作>花(畑山博)/カッサンドラの地獄(宮原昭夫)  
狐(古井由吉)/沃野(山田智彦)/日が沈むのを(野呂邦暢)  
鼠どもへの訴状(第 2 部)(佐江衆一)  
きぬた(連載第 9 回)(立原正秋)  
蟲たちの棲家(連載第 9 回)(高井有一)  
<対談>われらの文学的立場<創作基盤をどこにおくか>(李恢成・宮原昭夫)  
詩集『無償の時代』(大江健三郎)/批評家の入口(秋山駿)  
不適格者の弁(吉田知子)/本の中のこどもたち(三木卓)  
田中角栄による文学論(丸谷才一)

<対談時評>\*大庭みな子『胡弓を弾く鳥』\*吉田知子『引揚者収容所』  
           \*梅原稜子『山景を睦む』(井上光晴・平岡篤頼)  
 奸雄ティエール(近代史幻想3)(河上徹太郎)  
 東夷伝の世界(古代への探求・19)(松本清張)  
 <新書解体>省略のメタフィジック--小川国夫『試みの岸』(柄谷行人)  
 同人雑誌評(林富士馬)  
 不肖<扉の詩>(芝山幹郎)  
 コントロールタワー  
 処女作:永井荷風『地獄の花』/武田泰淳『司馬遷』  
 昭和47(1972)年9月1日発行(文藝春秋)

3614) 「文學界」12月号1971

<第33回文學界新人賞決定発表>  
   <受賞作>オキナワの少年(東峰夫)/昨夜は鮮か(大久保操)  
   <佳作>円い旗の河床(梅原稜子)  
   <選後評>(野間宏・武田泰淳・中村真一郎・井上光晴・丸谷才一)  
 人殺し(最終回)(山口瞳)  
 或る一人の女の話(最終回)(宇野千代)  
 ベルリン漂泊(短期連載第5回)(柏原兵三)  
 中年の彷徨(有馬頼義)  
 宇野浩二伝拾遺の一つ二つ(水上勉)/維新の敗戦文学(大久保典夫)  
 お前には読めない(亀井秀雄)/小説の題材としての家(高橋たか子)  
 <志賀直哉・人と作品>没後の一会(山本健吉)  
   文学史の中の志賀直哉(小田切秀雄)/「志賀直哉論」を読む(三好行雄)  
 志賀さんと短篇小説(平林たい子)/思い出すままに(小川国夫)  
 梅のつき出し(江藤淳)/小説家の死(阿部昭)/志賀直哉のこと(吉田健一)  
 魂[みたま]の儀式(古代への探求・12)(松本清張)  
 出版者ランデュエル(新編・フランス文壇史24)(河盛好蔵)  
 イデーの原点<大庭みな子論>(三浦朱門)  
 同人雑誌評(駒田信二)  
 天ぷら<扉の詩>(関根弘)  
 コントロールタワー  
 処女作:田山花袋『重右衛門の最後』  
 文學界新人賞応募規定  
 昭和46(1971)年12月1日発行(文藝春秋)

3615) 「文學界」2月号1970

<新鋭創作特集>歩く男(120枚)(佐江衆一)/誰?(60枚)(後藤明生)  
           朝の光は.....(70枚)(野呂邦暢)/火星(70枚)(加藤富夫)  
 年ごろ(30枚)(庄野潤三)/毛布譚(70枚)(柏原兵三)  
 象を撃つ(短期連載・第6回)(井上光晴)  
 終らぬ夏(連載第14回)(有吉佐和子)  
 公開日誌<2>--新劇界肅正のために(福田恆存)  
 スタンダールの誕生(新編・フランス文壇史)(河盛好蔵)  
 経験的小説論<4>(石川達三)/紙の中の戦争(開高健)  
 正宗白鳥の信仰と文学(山本健吉)  
   『源氏物語』のある種の問題(高橋義孝)  
 世界文学展望<アメリカ>ローエルとギンズパーク(金関寿夫)  
 戦争中の徴員・平野直美(井伏鱒二)/小説への埋没に対する疑問(なだいなだ)  
 後鳥羽院の一首(丸谷才一)/リビバル時代(萩原葉子)  
 文芸首都のこと(田畑麦彦)  
 <新書解体>ユダヤ作家の虚実  
           --バーナード・マラムード著『修理屋』について(磯田光一)

切断された土着への回路  
--秋本松代著『かさぶた式部考・常陸坊海尊』について(宮本研)  
〈同人雑誌推薦作〉赤い髪の男(持田美根子)  
同人雑誌評(小松伸六)  
あきビンの唄から〈扉の詩〉(金子光晴)  
コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
処女作:三好達治『乳母車』/川端康成『H 中尉に』  
小林秀雄『一つの脳髄』  
昭和 45(1970)年 2 月 1 日発行(文藝春秋)

3616) 「文学界」 11 月号 1969

クッレット(240 枚)(なだ いなだ)/死の純粹(60 枚)(中村真一郎)  
子供のために(40 枚)(阿部昭)/まがいの恋(110 枚)(立川洋三)  
象を撃つ(短期連載・第 3 回)(井上光晴)  
終らぬ夏(連載第 11 回)(有吉佐和子)  
文学と病気(平井啓之)/コキユの弁(金子光晴)/無駄話(篠田一士)  
三枚半なり、三枚半(富士正晴)/平野謙氏へ(木村久邇典)  
〈新連載評論〉経験的小説論(石川達三)  
世界文学展望〈アメリカ〉S・ソントグの創作と批評(邦高忠二)  
アルカディアの兇器--三島由紀夫の豪華な「肉体」(野島秀勝)  
正宗白鳥の信仰と文学--明治百年・その文学 21(山本健吉)  
〈新書解体〉受容的態度への告発  
--椎名麟三著『懲役人の告発』について(饗庭孝男)  
同人雑誌評(駒田信二)  
豚とソクラテス〈新鋭方言〉(李恢成)  
細胞〈扉の詩〉(江森國友)  
第 29 回文学界新人賞中間発表  
コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
昭和 44(1969)年 11 月 1 日発行(文藝春秋)

3617) 「文学界」 10 月号 1969

〈戯曲〉薔薇の館(遠藤周作)  
二つの家(100 枚)(三浦朱門)/ある酒詩人の死(70 枚)(八木義徳)  
象を撃つ(短期連載・第 2 回)(井上光晴)  
死人に口なし(平野謙)/夏日読詩(川村二郎)/小説への関心(飯島光一)  
山川方夫の青春と文学(田久保英夫)/クズネツォフの翻訳者の弁(草鹿外吉)  
〈新鋭競作〉星のない部屋(80 枚)(黒井千次)  
禿げの子供たち(80 枚)(佐江衆一)  
海の道(最終回)(三浦哲郎)  
終らぬ夏(連載第 10 回)(有吉佐和子)  
世界文学展望〈ポーランド〉非リアリズムの礎石(工藤幸雄)  
かたち・文化・死(中村雄二郎)  
正宗白鳥の信仰と文学--明治百年・その文学 20(山本健吉)  
〈新書解体〉現代芸術の冒険--大岡信著『肉眼の思想』について(田中美代子)  
同人雑誌評(駒田信二)  
喩と狂気〈新鋭方言〉(奥野忠昭)  
入会〈扉の詩〉(山田美津子)  
コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
昭和 44(1969)年 10 月 1 日発行(文藝春秋)

3618) 「文学界」 9 月号 1969

〈芥川賞受賞第一作〉遠く熱い時間(70 枚)(田久保英夫)  
恐竜をつかまえた(90 枚)(庄司薫)

一条の光(150枚)(曾野綾子)/浮きつつ遠く(90枚)(野口富士男)  
 象を撃つ(短期連載・第1回)(井上光晴)  
 奈落に踊る(最終回)(瀬戸内晴美)  
 海の道(連載第33回)(三浦哲郎)  
 終らぬ夏(連載第9回)(有吉佐和子)  
 文章と朗読(河上徹太郎)/昔のある「造反作家」の話(渡辺一夫)  
 日本語と脚韻(高階秀爾)/「文学者」との十五年間(吉村昭)  
 辞書とことばの世界(見坊豪紀)  
 <対談>ロシア文学と翻訳--新訳は必要か?(中村融・原卓也)  
 世界文学展望<アフリカ>ネグリチュード運動とその周辺(土屋哲)  
 終末論の文学--歴史から存在への転換(饗庭孝男)  
 正宗白鳥の信仰と文学--明治百年・その文学19(山本健吉)  
 <新書解体>二元的批評の基準  
     --佐伯彰一著『内と外からの日本文学』について(武田勝彦)  
 同人雑誌評(林富士馬)  
 鋼鉄の肌<新鋭方言>(吉良任市)  
 敵の国で<扉の詩>(入沢康夫)  
 コントロールタワー/文学界新人賞応募規定  
 昭和44(1969)年9月1日発行(文藝春秋)

3619) 「文学界」 5月号 1969

<短期連載・第1回>奈落に踊る(80枚)(瀬戸内晴美)  
 転職(50枚)(三浦朱門)/豪奢な貧困(130枚)(竹内和夫)  
 風化した十字架(110枚)(宮原昭夫)  
 青年よ大志をいだこう(120枚)(佐江衆一)  
 終らぬ夏(連載第5回)(有吉佐和子)/海の道(連載第29回)(三浦哲郎)  
 自己と自然(連載第5回)--「蒲団」の虚実(中村光夫)  
 露伴の「史伝」--明治百年・その文学16(山本健吉)  
 江戸後期の知識人--頼山陽を中心として6(中村真一郎)  
 <評論特集>新人の諸問題  
     短篇は過去のジャンルか(佐伯彰一)  
     恐るべき文学受難期(小松伸六)/ザッハリッヒな報告(篠田一士)  
 世界文学展望<イギリス>ジョージ・オーウェル『評論・書簡集』(工藤昭雄)  
 五月の風(丹羽文雄)/現代文学の問題点(佐藤朔)  
 記録の保存(柏原兵三)/殺される我ら(上田三四二)  
 <新書解体>個我の多角的遍歴  
     --武田泰淳著『美しきもの見し人は』について(寺田透)  
 同人雑誌評(久保田正文)  
 "現代脱出"に抗して<新鋭方言>(黒井千次)  
 鳥と赤い実の歌<扉の詩>(福井久子)  
 コントロールタワー/文学界新人賞中間発表  
 昭和44(1969)年5月1日発行(文藝春秋)

3070) 「文学界」 4月号 1988

昭和63(1988)年4月1日発行(文藝春秋)

3071) 「文学界」 3月号 1988

昭和63(1988)年3月1日発行(文藝春秋)

3072) 「文学界」 新年特別号 1988

昭和63(1988)年1月1日発行(文藝春秋)

3073) 「文学界」 6月号 1987

昭和62(1987)年6月1日発行(文藝春秋)

3074) 「文学界」 4月号 1987

昭和62(1987)年4月1日発行(文藝春秋)

- 3075) 「**文學界**」 6月号  
昭和 61(1986)年 6月 1日発行(文藝春秋)
- 3076) 「**文學界**」 3月号  
昭和 61(1986)年 3月 1日発行(文藝春秋)
- 3077) 「**文學界**」 9月号  
昭和 60(1985)年 9月 1日発行(文藝春秋) 3620) 「**地方記者**」(三原浩良著)  
Ⅰ 地方記者<駆け出し・サツ回り・政争県/熊本・水俣病事件との出会い・  
地方政治のウラ・7/23長崎大水害・土地に惚れる>  
Ⅱ 赤いトマトの旅  
昭和 63(1988)年 11月 15日初版発行(葦書房)
- 3621) 「**撮影監督ってなんだ?**」(高間賢治著)  
Ⅰ 「撮影監督、やってみませんか?」  
Ⅱ 映画はアメリカだ! 1981年留学日記  
Ⅲ キャメラマンの世界  
平成 4(1992)年 4月 10日初版  
平成 5(1993)年 6月 10日 4冊(晶文社)
- 3622) 「**福岡県内 方言集**」(久留米郷土研究会)  
「福岡県内方言集」復刻にあたって  
昭和 48(1973)年 12月 1日発行
- 3623) 「**福岡県ことば風土記**」(岡野信子著)  
1) あいさつ言葉 2) 敬語表現 3) 自然を言うことば  
4) 歳月・歳時を言うことば 5) 社会生活を言うことば  
6) 家族・家庭を言うことば 7) 子供のことば/子供とことば  
8) 心持ちを言うことば 9) 仕事のことば 10) 衣食住のことば  
11) 表現法<その 1> 12) 表現法<その 2> 13) 表現法<その 3>  
14) 文末のことば 15) 発音のこと 16) 方言人のユーモア  
昭和 63(1988)年 2月 8日初版発行(葦書房)
- 3624) 「**九州の古戦場を歩く**」(吉永正春著)  
1) 有智山城 2) 勝野合戦 3) 榊牟礼合戦 4) 田手畷の戦い  
5) 堤城と手城岳合戦 6) 勢場ヶ原の戦い 7) 川上、祇園原の惨劇  
8) 山田館の襲撃 9) 大友二階崩れ 10) 岩剣合戦 11) 秋月炎上  
12) 門司城合戦 13) 宝満の快男子 14) 龍造寺慶闇と今山合戦  
15) 木崎原合戦 16) 立花城の鬼道雪 17) 耳川の戦い 18) 盟友相討つ響原  
19) 蒲池謀殺 20) 犬鳴川の夕映え 21) 彦山焼き討ち 22) 沖田畷の霧  
23) 黒木合戦 24) 戦国の一騎打 25) 壮烈岩屋城 26) 秀の前流転  
27) 星の兄弟の最期 28) 秋月降伏 29) 愁風香春岳 30) 肥後南嶺岳  
31) 赤星哀歌  
昭和 61(1986)年 7月 10日初版第 1刷発行  
平成 1(1989)年 5月 30日初版第 2刷発行(葦書房)
- 3625) 「**香具師[てきや]はつらいよ**」ある露天商人の独白(北園忠治著)  
第 1章 渡世人と稼業人 第 2章 テキヤ「営業」編  
第 3章 テキヤ社会のケジメ 第 4章 寅さんが行く  
第 5章 警察に物申す  
平成 2(1990)年 1月 15日初版第 1刷発行  
平成 2(1990)年 8月 1日初版第 2刷発行(葦書房)
- 3626) 「**薬物乱用の本**」ある覚せい剤からシンナー・大麻まで(中原雄二著)  
1) こころを乱す薬物 2) 薬物乱用と薬物依存 3) 覚せい剤 4) 麻薬

5) マリファナ(大麻) 6) シンナー 7) 幻覚剤 8) 睡眠薬(習慣性医薬品)  
9) カート 10) 薬物の密造 11) 薬物の現場検査 12) 乱用薬物の分析  
13) 薬物代謝 14) 薬物中毒による精神異常と治療  
昭和 58(1983) 年 11 月 15 日第 1 刷発行  
平成 4(1992) 年 1 月 31 日第 7 刷発行(研成社)

3627) 「警察署員のヤミ仕事」(幕田敏夫著)  
第 1 部 警察署員のヤミ仕事・その 1・その 2・その 3  
平成 1(1989) 年 8 月 15 日初版発行(第三書館)

3628) 「農家の主より消費者へ」(山下惣一著)  
第 1 章 『消費者ニーズ』って、いったい何なの？  
第 2 章 農家の主の独断的タイプ別消費者考  
第 3 章 効あり罪あり、有機農業の虚実  
第 4 章 それでも、あなたは輸入食品がお好き！？  
第 5 章 "いのち"を考え、行きついたのは"農"  
第 6 章 "医は食に、食は農に学べ"が基本  
第 7 章 いま、ゴルフ場建設を白紙撤回させる意味  
第 8 章 食料輸出大国の"貧しき農民の犠牲"  
第 9 章 健康食ご飯をいまこそ国際食に  
第 10 章 消費者に贈る 10 の本音メッセージ  
平成 2(1990) 年 8 月 1 日第 1 版発行(家の光協会)

3629) 「ルポルタージュ ゴミ」地球は大企業文明の墓場か(青木慧著)  
1) 大企業文明と『ゴミの原料』 2) ゴミの製造責任をめぐる攻防  
3) 自然の哲理に背く大企業文明 4) 不法投棄という企業犯罪  
5) 地球は大企業文明の墓場か  
平成 4(1992) 年 5 月 10 日初版(新日本出版社)

3630) 「ごみ教養学なんでも Q&A」(石川禎昭著)  
Ⅰ ごみのはなし Ⅱ ごみの収集から最終処分まで  
Ⅲ ごみと暮らし Ⅳ ごみは宝もの  
平成 1(1989) 年 7 月 5 日初版発行  
平成 5(1993) 年 7 月 5 日初版第 7 刷発行(中央法規出版)

3631) 「福岡県文化百選・建物編」平成 3(1991) 年 4 月 10 日発行(西日本新聞社)

3632) 「福岡県文化百選・道編」平成 4(1992) 年 4 月 23 日発行(西日本新聞社)

3633) 「福岡市・北九州市はいま」  
第 1 章 「九州の時代」をリードする福北経済圏  
第 2 章 アジアの交流拠点都市・福岡市の挑戦  
第 3 章 「未来元年・北九州」の胎動  
第 4 章 東アジアの時代をひらく  
平成 5(1993) 年 5 月 25 日第 1 刷発行(オーエス出版)

3634) 「古代中国人が解いた邪馬台国」  
--ヤマト王朝の祖は吉野ヶ里だった(木原武雄著)  
平成 3(1991) 年 10 月 16 日初版発行(佐賀新聞社)

3635) 「葬儀屋さん」(八尋一郎著)  
平成 4(1992) 年 5 月 11 日第 1 刷発行  
平成 4(1992) 年 6 月 30 日第 2 刷発行(葦書房)



- 3636) 「柳川堀割から水を考える」  
--水循環の回復と活性化(広松伝編)  
平成2(1990)年8月25日初版第1刷発行(藤原書店)
- 3637) 「ミミズと河童のよみがえり」  
--柳川堀割から水を考える(広松伝著)  
昭和62(1987)年12月1日第1刷発行  
平成1(1989)年4月5日第4刷発行(河合文化教育研究所)
- 3638) 「現代農業11月増刊号」  
--医食同源の最新科学<食べものがからだを守る>  
平成5(1993)年11月5日発行(農山漁村文化協会)
- 3639) 「現代農業7月増刊号」  
--ポスト「地球サミット」の環境読本  
    <そんなことじゃ「地球」のためにならない>  
平成4(1992)年7月6日発行(農山漁村文化協会)
- 3640) 「現代農業5月増刊号」 --いま、水がおもしろい  
平成4(1992)年5月6日発行(農山漁村文化協会)
- 3641) 「現代農業9月増刊号」 --ニッポン型環境保全の源流  
平成3(1991)年9月5日発行(農山漁村文化協会)
- 3642) 「下水道革命」 --河川荒廃からの脱出(石井勲・山田國廣著)  
平成1(1989)年1月15日初版第1刷発行  
平成1(1989)年2月10日初版第2刷発行(新評論)
- 3643) 「巨人機ものがたり」<別冊航空情報>  
平成5(1993)年10月2日第1刷発行(酣燈社)
- 3644) 「新版 南京大虐殺」(藤原彰著)  
    <岩波ブックレット シリーズ昭和史 No.5>  
昭和63(1988)年10月20日第1刷発行  
昭和63(1988)年12月16日第2刷発行(岩波書店)
- 3645) 「筑後河北誌」(柳勇著)  
昭和54(1979)年10月30日発行(鳥飼出版者)
- 3646) 「盗聴のすべてⅡ」(柳勇著)ラジオライフ別冊  
昭和63(1988)年10月15日発行(三オブックス)
- 3647) 「九州の精神的風土」(高松光彦著)  
第1部 九州学へむけて/第2部 九州の風土と歴史  
第3部 九州の精神的風土  
平成4(1992)年8月20日改訂版発行(葦書房)
- 3648) 「寄生獣1」(岩明均著)  
第1話 侵入 第2話 野獣 第3話 接触 第4話 殺気  
第5話 勉強好き 第6話 田宮良子 第7話 襲撃  
平成2(1990)年7月23日第1刷発行  
平成3(1991)年9月20日第7刷発行(講談社)

- 3649) 「寄生獣 2」(岩明均著)  
第 8 話 種[しゅ] 第 9 話 母親 第 10 話 こだわり 第 11 話 別れ  
第 12 話 胸の穴 第 13 話 出ない涙 第 14 話 仲間  
平成 3(1991)年 1 月 23 日第 1 刷発行  
平成 6(1994)年 4 月 20 日第 19 刷発行(講談社)
- 3650) 「寄生獣 3」(岩明均著)  
第 15 話 消えた 30% 第 16 話 旅の終わり 第 17 話 変貌  
第 18 話 人間 第 19 話 島田秀雄 第 20 話 兆し  
平成 3(1991)年 7 月 23 日第 1 刷発行  
平成 8(1996)年 8 月 20 日第 22 刷発行(講談社)
- 3651) 「寄生獣 4」(岩明均著)  
第 21 話 観察 第 22 話 亀裂 第 23 話 混乱と殺戮  
第 24 話 一撃 第 25 話 波紋 第 26 話 少女の夢  
平成 4(1992)年 1 月 23 日第 1 刷発行  
平成 5(1993)年 7 月 25 日第 10 刷発行(講談社)
- 3652) 「寄生獣 5」(岩明均著)  
第 27 話 演習 第 28 話 平和な日 第 29 話 加奈  
第 30 話 超能力 第 31 話 赤い涙 第 32 話 田村玲子  
ゲストコミック 寄生 OL(須賀原洋行)  
平成 4(1992)年 8 月 22 日第 1 刷発行(講談社)
- 3653) 「寄生獣 6」(岩明均著)  
第 33 話 目撃者 第 34 話 鉄とガラス 第 35 話 名前に無頓着  
第 36 話 悪魔の面影 第 37 話 食堂 第 38 話 敵対  
平成 5(1993)年 1 月 23 日第 1 刷発行  
平成 6(1994)年 11 月 20 日第 11 刷発行(講談社)
- 3654) 「寄生獣 7」(岩明均著)  
第 39 話 刺客 第 40 話 司令塔 第 41 話 完全体  
第 42 話 小さな家族① 第 43 話 小さな家族②  
第 44 話 性急に 第 45 話 冷血の戦い  
平成 5(1993)年 7 月 23 日第 1 刷発行(講談社)
- 3655) 「寄生獣 8」(岩明均著)  
第 46 話 となり町の公園 第 47 話 人の子の親 第 48 話 ただいま  
第 49 話 お見合い実験 第 50 話 凶器 第 51 話 針路  
平成 6(1994)年 2 月 23 日第 1 刷発行(講談社)
- 3656) 「寄生獣 9」(岩明均著)  
第 52 話 包囲 第 53 話 口火 第 54 話 制圧  
第 55 話 寄生獣 第 56 話 首 第 57 話 ヒーロー 第 58 話 ミギー  
平成 6(1994)年 11 月 22 日第 1 刷発行(講談社)
- 3657) 「寄生獣 10」(岩明均著)  
第 59 話 老婆 第 60 話 覚悟 第 61 話 異形  
第 62 話 朝 第 63 話 日常の中へ 最終話 きみ  
付記  
平成 7(1995)年 3 月 23 日第 1 刷発行(講談社)

- 3658) 「家栽の人1」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(ポトス) CASE2(カラジューム) CASE3(ポインセチア)  
CASE4(ユズ) CASE5(コブシ) CASE6(タンポポ) CASE7(桜桃)  
CASE8(マルハチ) CASE9(サボテン) CASE10(ザクロ)  
昭和 63(1988)年 12 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 3(1991)年 6 月 5 日初版第 9 刷発行(小学館)
- 3659) 「家栽の人2」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(ブナ) CASE2(サネカズラ) CASE3(ツバキ) CASE4(冬芽)  
CASE5(シクラメン) CASE6(ヒトリシズカ) CASE7(アザミ)  
CASE8(カリン) CASE9(スミレ)  
平成 1(1989)年 11 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 3(1991)年 6 月 5 日初版第 8 刷発行(小学館)
- 3660) 「家栽の人3」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(カタクリ) CASE2(ワサビ) CASE3(ユリ) CASE4(リンドウ)  
CASE5(イチジク) CASE6(イチヨウ) CASE7(福寿草)  
CASE8(ヒメリンゴ) CASE9(ケヤキ) CASE10(ハマボウフウ)  
平成 2(1990)年 8 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 3(1991)年 3 月 5 日初版第 4 刷発行(小学館)
- 3661) 「家栽の人4」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(クリスマスローズ) CASE2(コスモス) CASE3(アジサイ)  
CASE4(ハエジゴク) CASE5(ガジュマル) CASE6(冬虫夏草)  
CASE7(ホウセンカ) CASE8(ホオノキ) CASE9(スイセン)  
平成 3(1991)年 4 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 3(1991)年 6 月 5 日初版第 2 刷発行(小学館)
- 3662) 「家栽の人5」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(ピラカンサ) CASE2(クロマツ) CASE3(スノードロップ)  
CASE4(ヒイラギ) CASE5(シュンラン) CASE6(ウメ)  
CASE7(ナノハナ) CASE8(アネモネ) CASE9(チューリップ)  
平成 3(1991)年 6 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 3(1991)年 7 月 5 日初版第 2 刷発行(小学館)
- 3663) 「家栽の人6」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(ローズマリー) CASE2(ネコヤナギ) CASE3(トリカブト)  
CASE4(クチナシ) CASE5(ビワ) CASE6(ヒマワリ)  
CASE7(モミジ) CASE8(ハス) CASE9(イネ)  
平成 3(1991)年 12 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3664) 「家栽の人7」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(キク) CASE2(アケビ・前編) CASE3(アケビ・後編)  
CASE4(ヒメムカシヨモギ) CASE5(マユミ) CASE6(サザンカ)  
CASE7(ティランジア) CASE8(シャラ) CASE9(ナンテン)  
平成 4(1992)年 5 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3665) 「家栽の人8」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(チゴユリ) CASE2(ベゴニア) CASE3(モモ)  
CASE4(タラノキ) CASE5(バラ・前編) CASE6(バラ・後編)  
CASE7(ハルノノゲシ) CASE8(オジギソウ) CASE9(ヨキワハゼ)  
平成 4(1992)年 10 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)

- 3666) 「家裁の人 9」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(モウソウチク) CASE2(ヤマモモ) CASE3(ゴヨウマツ)  
CASE4(ナンテンハギ) CASE5(サルスベリ) CASE6(アシ)  
CASE7(アカマツ) CASE8(カワラナデシコ) CASE9(オナモミ)  
平成 5(1993)年 2 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3667) 「家裁の人 10」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(ゴデチア) CASE2(カキ・前編) CASE3(カキ・後編)  
CASE4(アザレア) CASE5(ユキボタン) CASE6(ヒヤシンス)  
CASE7(クスノキ) CASE8(ボケ) CASE9(ギンリョウソウ)  
平成 5(1993)年 6 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3668) 「家裁の人 11」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(ウラジロ) CASE2(ヤマブキ) CASE3(パンジー)  
CASE4(モクレン) CASE5(モクレンⅡ) CASE6(モクレンⅢ)  
CASE7(モクレンⅣ) CASE8(モクレンⅤ) CASE9(ホオズキ)  
平成 5(1993)年 10 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3669) 「家裁の人 12」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(エノコログサ) CASE2(カサブランカ) CASE3(カサブランカⅡ)  
CASE4(カサブランカⅢ) CASE5(カサブランカⅣ) CASE6(カサブランカⅤ)  
CASE7(サルビア) CASE8(ツワブキ) CASE9(山川草木)  
平成 6(1994)年 3 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 8(1996)年 8 月 5 日第 7 刷発行(小学館)
- 3670) 「家裁の人 13」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(ヒシ) CASE2(クロモ) CASE3(ユーステノブテロン)  
CASE4(コウホネ) CASE5(ソバ) CASE6(ウツギ)  
CASE7(リュウゼツラン) CASE8(シイ)  
平成 7(1995)年 6 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3671) 「家裁の人 14」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(ドクニンジン) CASE2(ヤマザクラ) CASE3(フジ)  
CASE4(ヒツジグサ) CASE5(ムギ) CASE6(ヒゲマワリ)  
CASE7(グミ) CASE8(タデ) CASE9(ネムノキ)  
平成 8(1996)年 1 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3672) 「家裁の人 15」(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
CASE1(カタバミ) CASE2(マンジュシャゲ) CASE3(ジュズダマ)  
CASE4(ハシバミ) CASE5(クロッカス) CASE6(アシビ)  
CASE7(リンゴ) CASE8(沼) CASE9(オランダナデシコ)  
平成 8(1996)年 4 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3673) 「MASTER キートン 1」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<迷宮の男> CHAPTER2<天使のような悪魔>  
CHAPTER3<小さなブルーレディー> CHAPTER4<ダビデの小石>  
CHAPTER5<黒と白の熱砂> CHAPTER6<砂漠のカーリマン>  
CHAPTER7<背中の裏町> CHAPTER8<遙かなるサマーブディング>  
昭和 64(1989)年 1 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 1(1989)年 6 月 5 日初版第 4 刷発行(小学館)
- 3674) 「MASTER キートン 2」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<貴婦人との旅> CHAPTER2<狩人の季節>

CHAPTER3<獲物の季節> CHAPTER4<収穫の季節>  
CHAPTER5<FIRE & ICE> CHAPTER6<薔薇色の人生>  
CHAPTER7<RED MOON> CHAPTER8<SILVER MOON>  
平成1(1989)年6月1日初版第1刷発行  
平成3(1991)年9月5日初版第14刷発行(小学館)

3675) 「**MASTER キートン3**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<屋根の下の巴里> CHAPTER2<小さな巨人>  
CHAPTER3<ラザーニェ奇譚> CHAPTER4<アレクセイエフからの伝言>  
CHAPTER5<すべての人に花束を> CHAPTER6<黒い森>  
CHAPTER7<昼下がりの大冒険> CHAPTER8<赤の女>  
平成1(1989)年9月1日初版第1刷発行  
平成3(1991)年8月5日初版第11刷発行(小学館)

3676) 「**MASTER キートン4**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<喜びの壁> CHAPTER2<交渉人のルール>  
CHAPTER3<身代金のルール> CHAPTER4<空飛ぶヒーロー>  
CHAPTER5<14 階段> CHAPTER6<穏やかな死>  
CHAPTER7<長く暑い日> CHAPTER8<家族の瞬間>  
平成2(1990)年1月1日初版第1刷発行  
平成3(1991)年7月5日初版第7刷発行(小学館)

3677) 「**MASTER キートン5**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<白い女神> CHAPTER2<チャーリー>  
CHAPTER3<無関心な死体> CHAPTER4<ノエルの休戦>  
CHAPTER5<ハーメルンから来た男> CHAPTER6<ハノーファーにきた男>  
CHAPTER7<オルミュッツから来た男> CHAPTER8<キートン先生の事情>  
平成2(1990)年6月1日初版第1刷発行  
平成3(1991)年6月5日初版第4刷発行(小学館)

3678) 「**MASTER キートン6**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<秘めたる宝> CHAPTER2<青い鳥消えた>  
CHAPTER3<白い雪とノアの箱舟> CHAPTER4<偽りの三色旗>  
CHAPTER5<偽りのユニオンジャック> CHAPTER6<セーフハウス>  
CHAPTER7<化け猫荘の人々> CHAPTER8<アザミの紋章>  
平成2(1990)年9月1日初版第1刷発行  
平成3(1991)年9月5日初版第4刷発行(小学館)

3679) 「**MASTER キートン7**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<エルザ・ランチェスターの思い出>  
CHAPTER2<エルザ・ランチェスターの復活> CHAPTER3<瑠璃色の時間>  
CHAPTER4<匂いの鍵> CHAPTER5<デビッド・ボビッドの森>  
CHAPTER6<デビッド・ボビッドの帰還> CHAPTER7<黄金の鐘の夢>  
CHAPTER8<出口なし>  
平成3(1991)年1月1日初版第1刷発行(小学館)

3680) 「**MASTER キートン8**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<豹の檻> CHAPTER2<カルーンの鷲>  
CHAPTER3<アナトリアの蟻> CHAPTER4<死の都市の蠍>  
CHAPTER5<井戸の中の鼠> CHAPTER6<賭けの王道>  
CHAPTER7<禁断の実> CHAPTER8<西から来たサンタ>  
平成3(1991)年6月1日初版第1刷発行  
平成3(1991)年8月5日初版第2刷発行(小学館)

- 3681) 「**MASTER キートン 9**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<血と名誉の掟> CHAPTER2<愛と悲しみの掟>  
CHAPTER3<コーンウォールの風> CHAPTER4<王の涙>  
CHAPTER5<放課後探偵団の冒険> CHAPTER6<瞳の中のハイランド>  
CHAPTER7<五月の恋> CHAPTER8<シャトー・ラジョンシュ 1944>  
平成 3(1991)年 9 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3682) 「**MASTER キートン 10**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<仮面の奥> CHAPTER2<緑のフーガ>  
CHAPTER3<イシスの呪い> CHAPTER4<ブルーフライデー>  
CHAPTER5<勝利の陰に> CHAPTER6<ウイスキーキャットの村>  
CHAPTER7<祈りのタペストリー> CHAPTER8<幸運は雨と共に>  
平成 4(1992)年 3 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3683) 「**MASTER キートン 11**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<帰郷> CHAPTER2<天使の両翼>  
CHAPTER3<フェイカーの誤算> CHAPTER4<鉄の砦>  
CHAPTER5<特別なメニュー> CHAPTER6<聖夜の邂逅>  
CHAPTER7<雪山の審判> CHAPTER8<家族>  
平成 4(1992)年 8 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3684) 「**MASTER キートン 12**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<カタルーニヤに乾杯> CHAPTER2<狂った太陽>  
CHAPTER3<オプの生まれた日> CHAPTER4<永遠の榆の木>  
CHAPTER5<赤い風> CHAPTER6<赤き哀しみ>  
CHAPTER7<空へ.....> CHAPTER8<靴とバイオリン>  
平成 5(1993)年 1 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3685) 「**MASTER キートン 13**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<渡り鳥の黄昏> CHAPTER2<死者からの贈り物>  
CHAPTER3<神の棲む森> CHAPTER4<伝説の微笑>  
CHAPTER5<臆病者の島> CHAPTER6<トム・バウワーと少年>  
CHAPTER7<ライオンの騎士> CHAPTER8<銀月の騎士>  
平成 5(1993)年 7 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3686) 「**MASTER キートン 14**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<バラの館> CHAPTER2<心の壁>  
CHAPTER3<面接の日> CHAPTER4<塔の男>  
CHAPTER5<いいパブの条件> CHAPTER6<ハッピーニューイヤー>  
CHAPTER7<光なき世界の住人> CHAPTER8<光をくれた女>  
平成 5(1993)年 10 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3687) 「**MASTER キートン 15**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<不死身の男> CHAPTER2<家庭教師キートン>  
CHAPTER3<御婦人たちの事件> CHAPTER4<真実の町>  
CHAPTER5<寄り道> CHAPTER6<探偵志願>  
CHAPTER7<神の愛でし村> CHAPTER8<聖者のいる村>  
平成 6(1994)年 3 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3688) 「**MASTER キートン 16**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<ハナデールの夕日> CHAPTER2<二人の父親>  
CHAPTER3<名探偵再登場!> CHAPTER4<メイド・イン・ジャパン I>

CHAPTER5<メイド・イン・ジャパンⅡ>  
CHAPTER6<メイド・イン・ジャパンⅢ>  
CHAPTER7<冥府からの愛> CHAPTER8<失われた天才監督>  
平成6(1994)年6月1日初版第1刷発行(小学館)

- 3689) 「**MASTER キートン 17**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<壁の忘れ物> CHAPTER2<最後の挑戦>  
CHAPTER3<ベンタヌ山の誓い> CHAPTER4<山の裁き>  
CHAPTER5<学者になる日> CHAPTER6<夢を継ぐ者>  
CHAPTER7<本日多忙なり> CHAPTER8<合格祈願>  
平成6(1994)年8月1日初版第1刷発行(小学館)
- 3690) 「**MASTER キートン 18**」(勝鹿北星作・浦沢直樹画)  
CHAPTER1<ルーマニアへ!!> CHAPTER2<チャウシェスクの子供達>  
CHAPTER3<ブカレスト脱出!!> CHAPTER4<TA89>  
CHAPTER5<チャウシェスクの隠し資産> CHAPTER6<虐殺の村>  
CHAPTER7<絶体絶命> CHAPTER8<夢を掘る人>  
平成6(1994)年10月1日初版第1刷発行(小学館)
- 3691) 「**MASTER キートン Re マスター**」(浦沢直樹・長崎尚志ストーリー)  
QUEST1<眠り男> QUEST2<親愛なるアントニヤへ>  
QUEST3<マリオンの壁> QUEST4<ハバククの聖夜>  
QUEST5<女神とサンダル> QUEST6<オオカミ少年>  
QUEST7<マルタ島の女神> QUEST8<栄光の八人>  
平成26(2014)年12月3日初版第1刷発行  
平成26(2014)年12月24日第2刷発行(小学館)
- 3692) 「**ブラックジャックによろしく(1)**」(佐藤秀峰著)  
第1話 研修医の夜 第2話 ウナギとゴッドハンド  
第3話 75歳の値段 第4話 夏雲 第5話 外科と内科と医局と斉藤  
第6話 最初のウソ 第7話 "一流"のワナ  
平成14(2002)年6月21日第1刷発行  
平成14(2002)年10月3日第5刷発行(講談社)
- 3693) 「**ブラックジャックによろしく(2)**」(佐藤秀峰著)  
第8話 告白 第9話 北三郎 第10話 最後の一滴  
第11話 無法の塔 第12話 弁明 第13話 執刀医  
第14話 信頼 第15話 身勝手 第16話 笑顔  
平成14(2002)年6月21日第1刷発行  
平成14(2002)年12月18日第7刷発行(講談社)
- 3694) 「**ブラックジャックによろしく(3)**」(佐藤秀峰著)  
第17話 代償 第18話 馬鹿と貧乏人 第19話 徳ちゃんと先生  
第20話 町の医者、という仕事 第21話 新しい研修先  
第22話 戦場の生 第23話 父親と母親 第24話 不妊治療  
第25話 医師・高砂 第26話 予想と結果  
平成14(2002)年10月23日第1刷発行  
平成14(2002)年12月18日第3刷発行(講談社)
- 3695) 「**ブラックジャックによろしく(4)**」(佐藤秀峰著)  
第27話 告知 第28話 共犯者たち 第29話 力なき者たち  
第30話 正義を手にして 第31話 見守る者 第32話 矛盾の積み木  
第33話 すべてに背いて 第34話 迷子の大人たち

第 35 話 反逆はいつも一人 第 36 話 クソッタレ 第 37 話 夕日  
平成 15(2003)年 1 月 23 日第 1 刷発行(講談社)

3696) 「ブラックジャックによろしく(5)」(佐藤秀峰著)  
第 38 話 貴重な休日の使い方 第 39 話 小児科の算数  
第 40 話 大人になるには 第 41 話 普通の医者 第 42 話 しがみつきたい  
第 43 話 嫌われ者、人気者 第 44 話 ありふれた病気、がん  
第 45 話 告知のセオリー 第 46 話 笑顔の裏側  
第 47 話 手術は、成功です 第 48 話 どこにでもある風景  
平成 15(2003)年 4 月 22 日第 1 刷発行(講談社)

3697) 「ブラックジャックによろしく(6)」(佐藤秀峰著)  
第 49 話 正常な反応 第 50 話 日本で一番の薬  
第 51 話 当然の成り行き 第 52 話 薄れていく感覚  
第 53 話 医者のお仕事 第 54 話 もう一人の斉藤 第 55 話 最初の患者  
第 56 話 本当の望みは何だ? 第 57 話 見落とされるもの  
第 58 話 二人称、三人称  
平成 15(2003)年 7 月 23 日第 1 刷発行(講談社)

3698) 「ブラックジャックによろしく(7)」(佐藤秀峰著)  
第 59 話 プロポーズ 第 60 話 分かれ道  
第 61 話 御家族の方は、こちらへ 第 62 話 青年は荒野に行く  
第 63 話 だましちゃいけない! 第 64 話 交渉 ネゴシエーション  
第 65 話 真実の告知 第 66 話 正直さの代償  
第 67 話 この輝ける世界 第 68 話 いい加減にして  
平成 15(2003)年 11 月 20 日第 1 刷発行(講談社)

3699) 「ブラックジャックによろしく(8)」(佐藤秀峰著)  
第 69 話 答えを下さい 第 70 話 死神に生を説く  
第 71 話 進み出した時間 第 72 話 誰もしない「仕事」  
第 73 話 あなたが教えてくれた事 第 74 話 普通の最期  
第 75 話 命果てる日まで 第 76 話 大きな樹の下で  
第 77 話 約束 第 78 話 心のすべて 第 79 話 若者たち  
平成 16(2004)年 2 月 23 日第 1 刷発行(講談社)

3700) 「ブラックジャックによろしく(9)」(佐藤秀峰著)  
第 80 話 密約の始まり 第 81 話 宣戦布告 第 82 話 脱出!  
第 83 話 待った女、待つ男 第 84 話 罪状「無意識」  
第 85 話 無駄だよ、耳をふさいでも 第 86 話 スイッチオン  
第 87 話 汚名 第 88 話 ごくありがちな主張  
第 89 話 新聞の作法 第 90 話 商売と理想  
平成 16(2004)年 7 月 23 日第 1 刷発行(講談社)

3701) 「ブラックジャックによろしく(10)」(佐藤秀峰著)  
第 91 話 ネバーランドじゃない 第 92 話 となりのヒーロー  
第 93 話 粘土製の希望 第 94 話 恋にすべてを 第 95 話 雪の日の出来事  
第 96 話 知られざること、見たくないもの 第 97 話 新聞の作り方  
第 98 話 止まらない、止められない 第 99 話 差別の生まれるところ  
第 100 話 1 億 2 千万分の 1 の反論  
平成 16(2004)年 10 月 22 日第 1 刷発行(講談社)

3702) 「ブラックジャックによろしく(11)」(佐藤秀峰著)  
第 101 話 飲むか飲まざるか 第 102 話 そして患者は作られる



第 103 話 新聞の需要と供給 第 104 話 怖いけど、怖くない  
第 105 話 ピーターパンを待ちながら 第 106 話 今ここにいる理由  
第 107 話 未来は、檻の中に 第 108 話 無抵抗という抵抗  
第 109 話 僕と彼女の居場所  
平成 17(2005)年 4 月 22 日第 1 刷発行(講談社)

3703) 「ブラックジャックによろしく(12)」(佐藤秀峰著)  
第 110 話 もう、妖精は来ない 第 111 話 約束の場所  
第 112 話 退院の日 第 113 話 拒絶する世界 第 114 話 月夜  
第 115 話 自殺者の本音 第 116 話 報道のデクレッシェンド  
第 117 話 暴挙だとしても 第 118 話 母と恋人  
平成 17(2005)年 9 月 21 日第 1 刷発行(講談社)

3704) 「ブラックジャックによろしく(13)」(佐藤秀峰著)  
第 119 話 疲れた大人 第 120 話 プレゼンテーション  
第 121 話 点火 第 122 話 ただ我を知る 第 123 話 受容の時  
第 124 話 屋上の戦士 第 125 話 ピーターの帰還  
第 126 話 生きていたい 第 127 話 坂道を登る  
平成 18(2006)年 1 月 23 日第 1 刷発行(講談社)

3705) 「新・ブラックジャックによろしく(1)」(佐藤秀峰著)  
第 1 話 最後の研修先 第 2 話 追想 第 3 話 ルールとシステム  
第 4 話 絶望の中で 第 5 話 すれ違い 第 6 話 それぞれの闘い  
平成 19(2007)年 4 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)

3706) 「新・ブラックジャックによろしく(2)」(佐藤秀峰著)  
第 7 話 北の街 第 8 話 ある朝の出来事 第 9 話 傷痕  
第 10 話 臓器を提供するということ 第 11 話 彼女と生命と  
第 12 話 説得 第 13 話 雪景色 第 14 話 医者的自我  
平成 19(2007)年 8 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)

3707) 「新・ブラックジャックによろしく(3)」(佐藤秀峰著)  
第 15 話 僕のために 第 16 話 心象風景 第 17 話 仕事の相手  
第 18 話 邂逅 第 19 話 対面 第 20 話 道行き  
第 21 話 吹雪く夜 第 22 話 ホームにて  
平成 19(2007)年 12 月 31 日初版第 1 刷発行(小学館)

3708) 「新・ブラックジャックによろしく(4)」(佐藤秀峰著)  
第 23 話 技術と幸せ 第 24 話 検査入院 第 25 話 紛糾 第 26 話 線路脇  
第 27 話 前夜 第 28 話 陽の当たる場所へ 第 29 話 矜持 第 30 話 脳死  
平成 20(2008)年 6 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)

3709) 「新・ブラックジャックによろしく(5)」(佐藤秀峰著)  
第 31 話 二つの移植 第 32 話 始動 第 33 話 脳死判定  
第 34 話 倫理というルール 第 35 話 無償の善意  
第 36 話 理解し合えない 第 37 話 由紀子 第 38 話 本心  
平成 20(2008)年 11 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)

3710) 「新・ブラックジャックによろしく(6)」(佐藤秀峰著)  
第 39 話 執着 第 40 話 小さな 17 歳 第 41 話 プロポーズ  
第 42 話 動き出した時間 第 43 話 拒絶 第 44 話 友達  
第 45 話 告白 第 46 話 ふぞろいの遺物  
平成 20(2008)年 11 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)

- 3711) 「新・ブラックジャックによろしく(7)」(佐藤秀峰著)  
 第47話 訪問者 第48話 家族 第49話 母と娘  
 第50話 最後の晩餐 第51話 三戒 第52話 1対100  
 第53話 奪うもの、奪われるもの 第54話 20年  
 平成21(2009)年11月4日初版第1刷発行(小学館)
- 3712) 「新・ブラックジャックによろしく(8)」(佐藤秀峰著)  
 第55話 敗者 第56話 死に顔 第57話 医者原罪  
 第58話 カオリと美和 第59話 結論 第60話 手術  
 第61話 摘出 第62話 縫合  
 平成22(2010)年5月3日初版第1刷発行(小学館)
- 3713) 「新・ブラックジャックによろしく(9)」(佐藤秀峰著)  
 第63話 覚醒 第64話 教授 第65話 唯一の望み  
 第66話 勤務 第67話 エリートコース 第68話 動物実験  
 第69話 最後の指示 最終話 斉藤の答え  
 平成22(2010)年10月5日初版第1刷発行(小学館)
- 3714) 「陽だまりの樹1」(手塚治虫著)  
 ◇三百坂 ◇おせき殿 ◇鬼鉄 ◇曾根崎新地 ◇腑分け  
 ◇適塾の人々 ◇星鶴、豆鶴 ◇夜の客人 ◇嵐の前 ◇天地鳴動  
 ○解説 副田義也/ 昭和63(1988)年7月1日初版第1刷発行(小学館)
- 3715) 「陽だまりの樹2」(手塚治虫著)  
 ◇老中・阿部 ◇拔擢 ◇除痘館 ◇男子の本懐  
 ◇下田の夏 ◇薄芒野の決闘 ◇唐人お吉 ◇葦山紀行  
 昭和63(1988)年8月10日初版第1刷発行(小学館)
- 3716) 「陽だまりの樹3」(手塚治虫著)  
 ◇千鳥ヶ淵の対決 ◇万二郎よろめく ◇想われる者 ◇七化けお紺  
 ◇縁組 ◇難題 ◇使節江戸へ ◇本陣待ち伏せ  
 ◇将軍のいちばん長い日 ◇裏切り者  
 昭和63(1988)年9月10日初版第1刷発行(小学館)
- 3717) 「陽だまりの樹4」(手塚治虫著)  
 ◇西郷登場 ◇巻き添え ◇やけ酒万二郎 ◇東京大学事始め  
 ◇コロリ参上 ◇その前夜 ◇投獄 ◇死出の旅路  
 昭和63(1988)年10月10日初版第1刷発行(小学館)
- 3718) 「陽だまりの樹5」(手塚治虫著)  
 ◇水戸路を行く ◇炎上 ◇吹きすさぶ嵐 ◇咸臨丸出発  
 ◇万延元年三月 ◇丑三つの決闘 ◇ヒュースケン帰る  
 昭和63(1988)年11月10日初版第1刷発行(小学館)
- 3719) 「陽だまりの樹6」(手塚治虫著)  
 ◇ヒュースケン暗殺 ◇良仙逝く ◇テロリストの夜  
 ◇水沢村異聞 ◇農兵節 ◇浪士組結成 ◇恩師江戸入り  
 ◇宝珠を切る ◇天網恢恢  
 昭和63(1988)年12月10日初版第1刷発行(小学館)
- 3720) 「陽だまりの樹・維新の章」(手塚治虫著)  
 第1話 天網恢恢 第2話 真忠組 第3話 暁の急襲

第4話 愛憎の館 第5話 長州行 第6話 鬼  
第7話 ええじゃないか 第8話 大政奉還 第9話 官軍江戸入り  
第10話 万二郎婚礼 第11話 上野輪王寺 第12話 終章  
平成12(2000)年3月1日初版第1刷発行(小学館)

- 3721) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚1」(山本おさむ著)  
第1話 手打ちのからくり 第2話 目で食べるそば 第3話 そばの食べ方  
第4話 薬味の役目 第5話 そば屋の天ぷら(前編)  
第6話 そば屋の天ぷら(後編) 第7話 "もり"と"ざる"  
平成21(2009)年6月3日初版第1刷発行(小学館)

- 3722) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚2」(山本おさむ著)  
第8話 "ずる玉"と"切らず玉"(前編) 第9話 "ずる玉"と"切らず玉"(後編)  
第10話 そば湯の嗜み 第11話 変わりそば(前編)  
第12話 変わりそば(後編) 第13話 "白いそば"と"黒いそば"(前編)  
第14話 "白いそば"と"黒いそば"(中編)  
第15話 "白いそば"と"黒いそば"(後編) 第16話 乾麺の茹で方  
平成21(2009)年10月5日初版第1刷発行(小学館)

- 3723) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚3」(山本おさむ著)  
第17話 そばの三たて(前編) 第18話 そばの三たて(後編)  
第19話 そば屋の玉子焼き 第20話 そば汁の"かえし"(前編)  
第21話 そば汁の"かえし"(後編) 第22話 夏の終わりのそば  
第23話 新そばの季節(前編) 第24話 新そばの季節(後編)  
第25話 踊るカレー南蛮  
平成22(2010)年3月4日初版第1刷発行(小学館)

- 3724) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚4」(山本おさむ著)  
第26話 先代のレシピ(前編) 第27話 先代のレシピ(中編)  
第28話 先代のレシピ(後編) 第29話 花冷え時のそば  
第30話 こんにゃく色のそば(前編) 第31話 こんにゃく色のそば(中編)  
第32話 こんにゃく色のそば(後編) 第33話 おかめの心(前編)  
第34話 おかめの心(後編)  
平成22(2010)年7月5日初版第1刷発行(小学館)

- 3725) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚5」(山本おさむ著)  
第35話 出前の心意気(前編) 第36話 出前の心意気(中編)  
第37話 出前の心意気(後編) 第38話 立ち食いそばの心  
第39話 What's 天もり?(前編) 第40話 What's 天もり?(中編)  
第41話 What's 天もり?(後編) 第42話 カツ井伝説(前編)  
第43話 カツ井伝説(後編)  
平成22(2010)年12月5日初版第1刷発行(小学館)

- 3726) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚6」(山本おさむ著)  
第44話 越前おろしそば(前編) 第45話 越前おろしそば(中編①)  
第46話 越前おろしそば(中編②) 第47話 越前おろしそば(後編)  
第48話 スピリチュアル猫様 第49話 蒲焼きと揚げ出し  
第50話 固いそばの"なぜ"(前編) 第51話 固いそばの"なぜ"(後編)  
第52話 聖夜に鴨拔きを  
平成23(2011)年5月3日初版第1刷発行(小学館)

- 3727) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚7」(山本おさむ著)  
第53話 さらしなそば(前編) 第54話 さらしなそば(中編)

第 55 話 さらしなそば(後編) 第 56 話 玉子とじそば(前編)  
第 57 話 玉子とじそば(後編) 第 58 話 きつね女とたぬき男(前編)  
第 59 話 きつね女とたぬき男(後編) 第 60 話 そば屋の海苔(前編)  
第 61 話 そば屋の海苔(後編)

平成 23(2011)年 11 月 2 日初版第 1 刷発行(小学館)

3728) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚 8」(山本おさむ著)

第 62 話 いちばん長い日(前編) 第 63 話 いちばん長い日(中編)  
第 64 話 出汁のあれこれ(前編) 第 65 話 出汁のあれこれ(中編①)  
第 66 話 出汁のあれこれ(中編②) 第 67 話 出汁のあれこれ(中編③)  
第 68 話 出汁のあれこれ(後編) 第 69 話 年越しそば(前編)  
第 70 話 年越しそば(後編)

平成 24(2012)年 3 月 5 日初版第 1 刷発行(小学館)

3729) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚 9」(山本おさむ著)

第 71 話 山形・天保そば(前編) 第 72 話 山形・天保そば(中編①)  
第 73 話 山形・天保そば(中編②) 第 74 話 山形・天保そば(後編)  
第 75 話 鴨づくし(前編) 第 76 話 鴨づくし(中編①)  
第 77 話 鴨づくし(中編②) 第 78 話 鴨づくし(後編) 第 79 話 通し言葉

平成 24(2012)年 7 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)

3730) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚 10」(山本おさむ著)

第 80 話 赤茄子切り(前編) 第 81 話 赤茄子切り(中編)  
第 82 話 赤茄子切り(後編) 第 83 話 機械仕掛けの手打ちそば(前編)  
第 84 話 機械仕掛けの手打ちそば(中編①)  
第 85 話 機械仕掛けの手打ちそば(中編②)  
第 86 話 機械仕掛けの手打ちそば(後編)  
第 87 話 市販の汁[つゆ](前編) 第 88 話 市販の汁[つゆ](後編)

平成 24(2012)年 11 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)

3731) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚 11」(山本おさむ著)

第 89 話 夏色のそば(前編) 第 90 話 夏色のそば(中編)  
第 91 話 夏色のそば(後編) 第 92 話 三色のそば  
第 93 話 大阪のそば文化(前編) 第 94 話 大阪のそば文化(中編①)  
第 95 話 大阪のそば文化(中編②) 第 96 話 大阪のそば文化(後編)  
第 97 話 松茸そば

平成 25(2013)年 3 月 5 日初版第 1 刷発行(小学館)

3732) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚 12」(山本おさむ著)

第 98 話 冬のふたり(巣ごもりそば編) 第 99 話 冬のふたり(あられそば編)  
第 100 話 討ち入りそば(前編) 第 101 話 討ち入りそば(中編①)  
第 102 話 討ち入りそば(中編②) 第 103 話 討ち入りそば(後編)  
第 104 話 そば焼酎の追憶(前編) 第 105 話 そば焼酎の追憶(後編)  
第 106 話 のびる.....?

平成 25(2013)年 7 月 3 日初版第 1 刷発行(小学館)

3733) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚 13」(山本おさむ著)

第 107 話 明治アラベスク(にしんそば 前編)  
第 108 話 明治アラベスク(にしんそば 中編①)  
第 109 話 明治アラベスク(にしんそば 中編②)  
第 110 話 明治アラベスク(にしんそば 後編)  
第 111 話 トライアウト(前編) 第 112 話 トライアウト(後編)  
第 113 話 板わさの味(前編) 第 114 話 板わさの味(中編)

第 115 話 板わさの味(後編)

平成 25(2013)年 11 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)

3734) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚 14」(山本おさむ著)

第 116 話 ふたつの(あるいはみっつの)コロッケそば(前編)

第 117 話 ふたつの(あるいはみっつの)コロッケそば(後編)

第 118 話 ネギに誘われて(前編) 第 119 話 ネギに誘われて(後編)

第 120 話 ファイティングそば(前編①)

第 121 話 ファイティングそば(前編②)

第 122 話 ファイティングそば(中編①)

第 123 話 ファイティングそば(中編②)

第 124 話 ファイティングそば(後編)

平成 26(2014)年 3 月 5 日初版第 1 刷発行(小学館)

3735) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚 15」(山本おさむ著)

第 125 話 そば LIVE IN 東京(前編) 第 126 話 そば LIVE IN 東京(後編)

第 127 話 汁の鑑定(前編) 第 128 話 汁の鑑定(後編)

第 129 話 「会津そば--桐屋編」(そば屋の 3・11)(前編)

第 130 話 「会津そば--桐屋編」(そば屋の 3・11)(中編①)

第 131 話 「会津そば--桐屋編」(そば屋の 3・11)(中編②)

第 132 話 「会津そば--桐屋編」(そば屋の 3・11)(後編)

第 133 話 「会津そば--山都編」(前編)

平成 26(2014)年 7 月 5 日初版第 1 刷発行(小学館)

3736) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚 16」(山本おさむ著)

第 134 話 「会津そば--山都編」(中編①)

第 135 話 「会津そば--山都編」(中編②)

第 136 話 「会津そば--山都編」(後編)

第 137 話 そばの花言葉(前編) 第 138 話 そばの花言葉(中編)

第 139 話 そばの花言葉(後編) 第 140 話 明後日の汁(前編)

第 141 話 明後日の汁(中編①) 第 142 話 明後日の汁(中編②)

第 143 話 明後日の汁(後編)

平成 26(2014)年 11 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)

3737) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚 17」(山本おさむ著)

第 144 話 出雲そばルネサンス(前編①)

第 145 話 出雲そばルネサンス(前編②)

第 146 話 出雲そばルネサンス(中編①)

第 147 話 出雲そばルネサンス(中編②)

第 148 話 出雲そばルネサンス(後編)

第 149 話 冬将軍のそば

第 150 話 神田藪そば年代記(前編①)

第 151 話 神田藪そば年代記(前編②)

第 152 話 神田藪そば年代記(前編③)

平成 27(2015)年 4 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)

3738) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚 18」(山本おさむ著)

第 153 話 神田藪そば年代記(後編①)

第 154 話 神田藪そば年代記(後編②)

第 155 話 種をまく人(前編) 第 156 話 種をまく人(後編)

第 157 話 カップそばってどうよ?(前編①)

第 158 話 カップそばってどうよ?(前編②)

第 159 話 カップそばってどうよ?(中編①)

- 第 160 話 カップそばってどうよ?(中編②)  
第 161 話 カップそばってどうよ?(後編①)  
第 162 話 カップそばってどうよ?(後編②)  
平成 27(2015)年 9 月 2 日初版第 1 刷発行(小学館)

3739) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚 19」(山本おさむ著)

- 第 163 話 そばクルーズ北海道(前編①)  
第 164 話 そばクルーズ北海道(前編②)  
第 165 話 そばクルーズ北海道(中編①)  
第 166 話 そばクルーズ北海道(中編②)  
第 167 話 そばクルーズ北海道(後編①)  
第 168 話 そばクルーズ北海道(後編②)  
第 169 話 マイ・そば・レディー  
第 170 話 そば切り発祥伝説(博多編①)  
第 171 話 そば切り発祥伝説(博多編②)  
第 172 話 そば切り発祥伝説(博多編③)  
平成 28(2016)年 3 月 5 日初版第 1 刷発行(小学館)

3740) 「そばもん・ニッポン蕎麦行脚 20」(山本おさむ著)

- 第 173 話 そば切り発祥伝説(京都編①)  
第 174 話 そば切り発祥伝説(京都編②)  
第 175 話 そば切り発祥伝説(京都編③)  
第 176 話 そば切り発祥伝説(京都編④)  
第 177 話 そば切り発祥伝説(京都編⑤)  
第 178 話 そば切り発祥伝説(信州編①)  
第 179 話 そば切り発祥伝説(信州編②)  
第 180 話 そば切り発祥伝説(信州編③)  
第 181 話 陰謀の行方 最終話 最後の旅  
平成 28(2016)年 8 月 3 日初版第 1 刷発行(小学館)

3741) 「玄米せんせいの弁当箱 1」(魚戸おさむ・北原雅紀脚本)

- 1 食目◎ぬか漬け事始め 2 食目◎キャンパス菜園 3 食目◎物語を食べる  
4 食目◎丸ごといただきます! 5 食目◎おいしい団欒 6 食目◎いのちのタネ  
7 食目◎ベリーメリー収穫祭! 8 食目◎おせち哀歌  
平成 20(2008)年 5 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 21(2009)年 12 月 20 日第 5 刷発行(小学館)

3742) 「玄米せんせいの弁当箱 2」(魚戸おさむ・北原雅紀脚本)

- 1 食目◎「オラ、玄米!!」 2 食目◎体からの便り 3 食目◎お茶碗の中の未来  
4 食目◎コロッケの風景 5 食目◎カッコイイおかゆ 6 食目◎先生のお弁当  
7 食目◎弁当の日①<ハレとケの弁当> 8 食目◎弁当の日②<心を作る弁当>  
9 食目◎弁当の日③<笑顔の弁当>/平成 20(2008)年 7 月 5 日初版第 1 刷発行  
平成 21(2009)年 10 月 20 日第 4 刷発行(小学館)

3743) 「玄米せんせいの弁当箱 3」(魚戸おさむ・北原雅紀脚本)

- 1 食目◎モンシロチョウは知っている 2 食目◎体おいしい顔  
3 食目◎あしたの食卓 4 食目◎晴彦の決断 5 食目◎キュウリとニンジン  
6 食目◎メタボの向こう側 7 食目◎これがホントの手前味噌  
8 食目◎家族の食卓 9 食目◎おにぎりの絆  
平成 20(2008)年 12 月 3 日初版第 1 刷発行(小学館)

3744) 「玄米せんせいの弁当箱 4」(魚戸おさむ・北原雅紀脚本)

- 1 食目◎デカ弁の行方 2 食目◎菌ちゃんvs二郎くん

- 3 食目◎いも煮戦争勃発!? 4 食目◎陽の当たる場所  
5 食目◎激突!! 女性社長vsマリア 6 食目◎玄米の天敵登場!!  
7 食目◎おいしいおっぱい<前編> 8 食目◎おいしいおっぱい<後編>  
9 食目◎合格駅弁

平成 21(2009)年 6 月 3 日初版第 1 刷発行

平成 21(2009)年 10 月 20 日第 2 刷発行(小学館)

3745) 「玄米せんせいの弁当箱 5」(魚戸おさむ・北原雅紀脚本)

- 1 食目◎雪がくれた贈り物 2 食目◎母さんの白酒  
3 食目◎男達の玉手箱 4 食目◎青空バイキング 5 食目◎春の収穫祭  
6 食目◎お箸の世界へようこそ! 7 食目◎心の空腹感  
8 食目◎ジャガイモと少年 9 食目◎台所に立つ子ども達

平成 21(2009)年 10 月 5 日初版第 1 刷発行(小学館)

3746) 「玄米せんせいの弁当箱 6」(魚戸おさむ・北原雅紀脚本)

- 1 食目◎多摩のおいしい夏休み 2 食目◎ THE 食[くい]ズ王  
3 食目◎ヒラメの昆布巻き 4 食目◎賢治のスイカ  
5 食目◎命の入口<前編> 6 食目◎命の入口<後編> 7 食目◎お母さんの味  
8 食目◎こゆきのパン<前編> 9 食目◎こゆきのパン<後編>

平成 22(2010)年 3 月 4 日初版第 1 刷発行

平成 23(2011)年 3 月 20 日第 3 刷発行(小学館)

3747) 「玄米せんせいの弁当箱 7」(魚戸おさむ・北原雅紀脚本)

- 1 食目◎親子鍋 2 食目◎お弁当の中のクリスマス  
3 食目◎洲本のぬか漬<前編> 4 食目◎洲本のぬか漬<後編>  
5 食目◎一期一会鍋 6 食目◎からから恋歌 7 食目◎味噌汁と魔法使い  
8 食目◎大根エール 9 食目◎地獄の缶詰

平成 22(2010)年 9 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)

3748) 「玄米せんせいの弁当箱 8」(魚戸おさむ・北原雅紀脚本)

- 1 食目◎さくらはウマシ! 2 食目◎聡美と弁当物語  
3 食目◎おかしな給食<前編> 4 食目◎おかしな給食<中編>  
5 食目◎おかしな給食<後編> 6 食目◎心を支えるスープサービス  
7 食目◎おむすび力 8 食目◎醤油の声<前編> 9 食目◎醤油の声<後編>

平成 23(2011)年 3 月 3 日初版第 1 刷発行(小学館)

3749) 「玄米せんせいの弁当箱 9」(魚戸おさむ・北原雅紀脚本)

- 1 食目◎日本を救う、ミドリガミ!? 2 食目◎個室でランチ  
3 食目◎ハマさんの救急箱 4 食目◎謙三さんの玉子焼き  
5 食目◎明日の私 6 食目◎キノコの森で 7 食目◎セロ弾きとゴーシュ  
8 食目◎マリア様のプレゼント 9 食目◎醬バトル! 餅バージョン

平成 23(2011)年 7 月 5 日初版第 1 刷発行(小学館)

3750) 「玄米せんせいの弁当箱 10」(魚戸おさむ・北原雅紀脚本)

- 1 食目◎ありがとう 2 食目◎収穫の日<前編> 3 食目◎収穫の日<後編>  
4 食目◎ THE LUNCH BOX OF LOVE 5 食目◎しゃあないなあ  
6 食目◎桜の木の下で 7 食目◎食べることは生きること<前編>  
8 食目◎食べることは生きること<中編>  
9 食目◎食べることは生きること<後編>

平成 23(2011)年 8 月 3 日初版第 1 刷発行(小学館)

3751) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部 1」(河合克敏著)

第 1 話 青春アミーゴ 第 2 話 望月結希 第 3 話 永字八法

第4話 「一」と「十」 第5話 書道部の顧問 第6話 屋上の決闘  
第7話 名札の字 第8話 九成宮醴泉銘 第9話 聖人之徳  
第10話 市民書道大会 第11話 鵠沼学園書道部  
平成19(2007)年5月7日初版第1刷発行(小学館)

3752) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部2」(河合克敏著)

第12話 母 第13話 母、二画め 第14話 其清若鏡 第15話 しみったれ  
第16話 言葉にできない 第17話 タイヤキくん 第18話 ラブレター  
第19話 ああ人生に涙あり 第20話 ○△□ 第21話 サウスポー  
第22話 過ぎたるは..... 第23話 筆を買う 第24話 合同合宿  
平成19(2007)年10月10日初版第1刷発行(小学館)

3753) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部3」(河合克敏著)

第25話 「○」6つ 第26話 理想の姿勢 第27話 二等辺三角形  
第28話 天地苞乎陰陽 第29話 地味な生徒 第30話 無我夢中  
第31話 勇気を出して 第32話 寸評会 第33話 蜀素帖  
第34話 書聖 王羲之 第35話 書の甲子園 第36話 篆刻  
第37話 「右」と「左」  
平成20(2008)年4月9日初版第1刷発行(小学館)

3754) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部4」(河合克敏著)

第38話 チョコッと来てくれ 第39話 「朱文」と「白文」  
第40話 宮田庵 第41話 ニコリともしない 第42話 ナマイキなヤツ  
第43話 崩壊 第44話 雁塔聖教序 第45話 決めたのよ! 第46話 良寛  
第47話 日常の感動 第48話 サポート役だって大切♡  
第49話 新入部員募集中! 第50話 パフォーマンスの書  
平成20(2008)年12月3日初版第1刷発行(小学館)

3755) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部5」(河合克敏著)

第51話 ひよ子の字 第52話 雨ニモマケズ 第53話 パンダ作戦  
第54話 夏の思い出 第55話 希望の轍 第56話 全臨八百二十一字  
第57話 大分は九州! 第58話 2年生トリオの秘密(前編)  
第59話 2年生トリオの秘密(中編) 第60話 2年生トリオの秘密(後編)  
第61話 本物の強豪 第62話 牛櫛造像記 第63話 臨時アルバイト  
平成21(2009)年7月5日初版第1刷発行(小学館)

3756) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部6」(河合克敏著)

第64話 大忙しの大晦日 第65話 いざ大阪へ! 第66話 文部科学大臣賞  
第67話 「かなの書」 第68話 初めて... 第69話 阿部毅  
第70話 席上揮毫 第71話 送り主 第72話 強豪校の書道部  
第73話 島田先生の受難 第74話 「かな」の先生  
第75話 おばあちゃんの同級生  
平成22(2010)年1月12日初版第1刷発行(小学館)

3757) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部7」(河合克敏著)

第76話 一条からの手紙 第77話 高野切 第78話 変体がな  
第79話 恋の歌 第80話 バレンタイン 第81話 いろは歌  
第82話 春休みの決戦 第83話 両極端の力加減  
第84話 オープンキャンパス 第85話 予期せぬ再会  
第86話 実技指導 第87話 そのイケメン 第88話 創作  
平成22(2010)年10月5日初版第1刷発行(小学館)



- 3758) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部 8」(河合克敏著)  
第 89 話 設計図 第 90 話 順位発表 第 91 話 ベスト 3  
第 92 話 負けました 第 93 話 二人の日本一 第 94 話 遊びみたいなもの  
第 95 話 好きな動物 第 96 話 ピース オブ ワールド  
第 97 話 新入生歓迎会 第 98 話 入りたくない入りたい  
第 99 話 二人の見学会 第 100 話 臨書はデッサン 第 101 話 これが前衛書  
平成 23(2011)年 6 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3759) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部 9」(河合克敏著)  
第 102 話 自分への問いかけ 第 103 話 何を書くのか  
第 104 話 再びの市民書道大会 第 105 話 惚れすぎてしまったがゆえ  
第 106 話 鈴里の大躍進 第 107 話 私の「前衛書」第 108 話 評価されたい  
第 109 話 おばあちゃんの考え 第 110 話 女学院のガマガエル  
第 111 話 湘南女学院書道部 第 112 話 出品をしない理由  
第 113 話 ユカリの説得 第 114 話 あらたなる目標  
平成 24(2012)年 1 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3760) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部 10」(河合克敏著)  
第 115 話 修学旅行でやれること 第 116 話 再会の教王護国寺  
第 117 話 これが本物 第 118 話 タイムカプセル 第 119 話 グッジョブ  
第 120 話 ポケットのアメ 第 121 話 望月の歌  
第 122 話 ザ・テイル・オブ・ゲンジ 第 123 話 光源氏あれこれ  
第 124 話 おばあちゃんの想い 第 125 話 書道部の光る君  
第 126 話 かけもちの限界 第 127 話 綺麗な書と面白い書  
平成 24(2012)年 9 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3761) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部 11」(河合克敏著)  
第 128 話 顧問として 第 129 話 結果発表 第 130 話 緑の憂鬱  
第 131 話 緊急会議 第 132 話 望月の結論  
第 133 話 楽しいことと得意なこと 第 134 話 一条の決断  
第 135 話 一条、上京 第 136 話 一条のアドバイス 第 137 話 強豪校の日常  
第 138 話 ふさわしい相手 第 139 話 インターハイ  
第 140 話 二人の源氏物語  
平成 25(2013)年 6 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3762) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部 12」(河合克敏著)  
第 141 話 表彰式 第 142 話 ツンデレな二人 第 143 話 書道男子の事情  
第 144 話 复合宿初日 第 145 話 新しい課題 第 146 話 宮田と一条  
第 147 話 眠れない夜 第 148 話 自分の世界 第 149 話 なんのために  
第 150 話 似てない二人 第 151 話 夏を感じ取れ  
第 152 話 砂と犬 第 153 話 一条の構想  
平成 26(2014)年 1 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3763) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部 13」(河合克敏著)  
第 154 話 何を書く? 第 155 話 二人と二人 第 156 話 その気持ちを書に  
第 157 話 後を追わず 第 158 話 光明皇后の「楽毅論」  
第 159 話 好きって言った 第 160 話 心に響く 第 161 話 タッチの差  
第 162 話 マジメしかとりえのない 第 163 話 教え子だから  
第 164 話 一条の書 第 165 話 衝撃[ショック] 第 166 話 井上有一という書家  
平成 26(2014)年 12 月 31 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3764) 「とめはねっ! 鈴里高校書道部 14」(河合克敏著)  
第 167 話 合宿最後の夜 第 168 話 私たちの大先輩 第 169 話 卒意の書

第170話 拙なるも巧なるなかれ 第171話 迷いながら.....  
第172話 望月のいない書道部 第173話 出品作、出揃う。  
第174話 大ピンチ! 第175話 新書道部スタート  
第176話 再び「書の甲子園」へ 第177話 一本の線  
最終話 緑と結希 エピローグ ボーイ・ミーツ・ガール  
平成27(2015)年6月3日初版第1刷発行(小学館)

3765) 「ヒストリエ1」(岩明均著)

第1話 地球儀 第2話 故郷カルディア・1 第3話 故郷カルディア・2  
第4話 故郷カルディア・3 第5話 図書室・1 第6話 図書室・2  
第7話 同じ夢 第8話 スキタイ流 第9話 体育教練  
平成16(2004)年10月22日第1刷発行  
平成23(2011)年10月3日第20刷発行(講談社)

3766) 「ヒストリエ2」(岩明均著)

第10話 斃[たお]すイメージ 第11話 足音 第12話 トラクスの戦い・1  
第13話 トラクスの戦い・2 第14話 トラクスの戦い・3 第15話 2つの死体  
第16話 証言 第17話 別世界 第18話 図書室・3 第19話 ペンダント  
平成16(2004)年10月22日第1刷発行  
平成16(2004)年12月16日第2刷発行(講談社)

3767) 「ヒストリエ3」(岩明均著)

第20話 買い手あらわる 第21話 出航 第22話 アンタカイオス  
第23話 アルゴ号 第24話 パフラゴニアにて・1  
第25話 パフラゴニアにて・2 第26話 パフラゴニアにて・3  
第27話 パフラゴニアにて・4 第28話 パフラゴニアにて・5  
第29話 パフラゴニアにて・6  
平成17(2005)年11月22日第1刷発行  
平成18(2006)年12月25日第6刷発行(講談社)

3768) 「ヒストリエ4」(岩明均著)

第30話 パフラゴニアにて・7 第31話 パフラゴニアにて・8  
第32話 パフラゴニアにて・9 第33話 パフラゴニアにて・10  
第34話 パフラゴニアにて・11 第35話 パフラゴニアにて・12  
第36話 オデュッセウス 第37話 レスボス島--生物研究所・1  
第38話 レスボス島--生物研究所・2  
平成19(2007)年7月23日第1刷発行(講談社)

3769) 「ヒストリエ5」(岩明均著)

第39話 故郷カルディア・4 第40話 故郷カルディア・5  
第41話 故郷カルディア・6 第42話 故郷カルディア・7  
第43話 キュクロプス 第44話 深酒の王 第45話 アッタロスの家  
第46話 大將軍の息子 第47話 進学と就職 第48話 王子・1  
平成21(2009)年2月23日第1刷発行(講談社)

3770) 「ヒストリエ6」(岩明均著)

第49話 王子・2 第50話 王子・3 第51話 乗馬教室・1  
第52話 乗馬教室・2 第53話 乗馬教室・3 第54話 ご学友たち  
第55話 滝 第56話 心肺停止 第57話 ヘファイスティオン・1  
平成22(2010)年5月21日第1刷発行(講談社)

3771) 「ヒストリエ7」(岩明均著)

第58話 ヘファイスティオン・2 第59話 ヘファイスティオン・3

第 60 話 ヘファイスティオン・4 第 61 話 ミエザ 第 62 話 将棋で勝負・1  
第 63 話 将棋で勝負・2 第 64 話 同盟都市カルディア  
第 65 話 2 都市攻略戦・1  
平成 23(2011)年 11 月 22 日第 1 刷発行(講談社)

3772) 「ヒストリエ 8」(岩明均著)  
第 66 話 2 都市攻略戦・2 第 67 話 2 都市攻略戦・3  
第 68 話 2 都市攻略戦・4 第 69 話 2 都市攻略戦・5  
第 70 話 スキタイ遠征・1 第 71 話 スキタイ遠征・2  
第 72 話 帰途の一戦・1 第 73 話 帰途の一戦・2  
平成 25(2013)年 8 月 23 日第 1 刷発行(講談社)

3773) 「ヒストリエ 9」(岩明均著)  
第 74 話 宿命・1 第 75 話 宿命・2 第 76 話 宿命・3  
第 77 話 メランティオス・1 第 78 話 メランティオス・2  
第 79 話 カイロネイア・1 第 80 話 カイロネイア・2  
平成 27(2015)年 5 月 22 日第 1 刷発行(講談社)

3774) 「ヘウレーカ」(岩明均著)  
平成 14(2002)年 12 月 24 日第 1 刷発行  
平成 20(2008)年 10 月 15 日第 15 刷発行(白泉社)

3775) 「**period** ピリオド i」(吉野朔実著)  
平成 16(2004)年 7 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)

3776) 「**period** ピリオド ii」(吉野朔実著)  
平成 17(2005)年 10 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)

3777) 「**period** ピリオド iii」(吉野朔実著)  
平成 21(2009)年 2 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)

3778) 「**period** ピリオド iv」(吉野朔実著)  
平成 22(2010)年 8 月 4 日初版第 1 刷発行(小学館)

3779) 「**period** ピリオド v」(吉野朔実著)  
平成 26(2014)年 12 月 3 日初版第 1 刷発行(小学館)

3780) 「瞳子 **Touko**」(吉野朔実著)  
・ 俄か雨(shower)・お葬式(funeral)・アイドル(idol)  
・ ドッペルゲンガー(doppelgänger)・ガールフレンド(girlfriend)  
・ ボーイフレンド(boyfriend)  
平成 13(2001)年 7 月 20 日初版第 1 刷発行(小学館)

3781) 「天使の声」(吉野朔実著)  
・ 天使の声 ・ 残のこんのゆめ夢 ・ 眠れる森  
平成 1(1989)年 2 月 28 日第 1 刷発行  
平成 4(1992)年 8 月 15 日第 2 刷発行(集英社)

3782) 「記憶の技法」(吉野朔実著)  
平成 14(2002)年 11 月 20 日初版第 1 刷発行(小学館)

3783) 「栗林かなえの犯罪」(吉野朔実著)  
・ 誰もいない野原で ・ ピンホール/ケイプ--天然の天窓

- ・プライベート/ウィルス   ・栗林かなえの犯罪--Girl's Site
  - ・栗林かなえの犯罪--Boy's Site
- 平成 13(2001)年 6 月 20 日初版第 1 刷発行(小学館)

3784) 「透明人間の失踪」(吉野朔実著)

- ・霜柱の森   ・アンナ/O   ・女子高校生殺人日記
  - ・粉ミルク   ・透明人間の失踪   ・恋愛家族
- 平成 15(2003)年 9 月 20 日初版第 1 刷発行(小学館)

3785) 「グールドを聴きながら」(吉野朔実著)

- ・グールドを聴きながら   ・haRmony   ・子供は泣かない
  - ・種--シード   ・DRY ICE
- 平成 12(2000)年 9 月 20 日初版第 1 刷発行(小学館)

3786) 「フリテンくん 第 1 巻」ジュニア版(植田まさし著)

昭和 58(1983)年 6 月 20 日初版発行(竹書房)

3787) 「フリテンくん 第 2 巻」ジュニア版(植田まさし著)

昭和 58(1983)年 7 月 20 日初版発行(竹書房)

3788) 「天才バカボン 第 26 巻」(赤塚不二夫著)

AkeBono-Comics(曙出版)

3789) 「人情小料理 のぞみ」(毛利甚八原作・ひきの真二絵)

第 1 話 おにぎり怖い!? 第 2 話 銀行マンのダメ出し  
第 3 話 のぞみの味 第 4 話 美酒の湧く泉

平成 25(2013)年 9 月 25 日発行(毎日新聞社)

3790) 「愛蔵版 メイミー・エンジェル」MAYME ANGEL(いがらしゆみこ著)

平成 1(1989)年 3 月 25 日初版発行(中央公論社)

3791) 「What's Michael?の猫の本」ホワッツ マイケル(小林まこと監修)

昭和 61(1986)年 12 月 1 日第 1 刷発行  
昭和 62(1987)年 3 月 9 日第 2 刷発行(講談社)

3792) 「What's Michael? 4」ホワッツ マイケル(小林まこと著)

昭和 62(1987)年 3 月 14 日第 1 刷発行(講談社)

3793) 「What's Michael? 5」ホワッツ マイケル(小林まこと著)

昭和 62(1987)年 9 月 12 日第 1 刷発行(講談社)

3794) 「What's Michael? 8」ホワッツ マイケル(小林まこと著)

平成 1(1989)年 12 月 18 日第 1 刷発行(講談社)

3795) 「犬を飼うと 12 の短編」KEEPING A DOG and 12 short stories(谷ロジロー著)

平成 21(2009)年 10 月 5 日初版第 1 刷発行  
平成 21(2009)年 10 月 25 日第 2 刷発行(小学館)

3796) 「歩くひと PLUS THE DIRECTOR'S CUT EDITION」(谷ロジロー著)

平成 22(2010)年 3 月 25 日初版第 1 刷発行(光文社)

3797) 「火の鳥 HINOTORI No. 1 黎明編」(手塚治虫著)

昭和 61(1986)年 6 月 30 日初版発行(角川書店)

- 3798) 「火の鳥 **HINOTORI No. 2 未来編**」(手塚治虫著)  
昭和 61(1986)年 7 月 31 日初版発行  
平成 1(1989)年 8 月 5 日 20 版発行(角川書店)
- 3799) 「火の鳥 **HINOTORI No. 3 ヤマト・異形編**」(手塚治虫著)  
昭和 61(1986)年 7 月 31 日初版発行  
平成 1(1989)年 8 月 5 日 21 版発行(角川書店)
- 3800) 「火の鳥 **HINOTORI No. 6 望郷編**」(手塚治虫著)  
昭和 61(1986)年 10 月 30 日初版発行  
昭和 61(1986)年 11 月 15 日再版発行(角川書店)
- 3801) 「火の鳥 **HINOTORI No. 9 宇宙・生命編**」(手塚治虫著)  
昭和 61(1986)年 8 月 31 日初版発行  
平成 6(1994)年 7 月 10 日 32 版発行(角川書店)
- 3802) 「火の鳥 **HINOTORI No. 10 太陽編(上)**」(手塚治虫著)  
昭和 61(1986)年 11 月 20 日初版発行(角川書店)
- 3803) 「火の鳥 **HINOTORI No. 11 太陽編(下)**」(手塚治虫著)  
昭和 62(1987)年 12 月 25 日初版発行(角川書店)
- 3804) 「火の鳥 **HINOTORI No. 12 ギリシャ・ローマ編**」(手塚治虫著)  
平成 2(1990)年 4 月 30 日初版発行  
平成 2(1990)年 5 月 25 日再版発行(角川書店)
- 3805) 「火の鳥 **2772**」(手塚治虫原作・御厨さと美作画)  
平成 19(2007)年 10 月 19 日初版第 1 刷発行(メディアファクトリー)
- 3806) 「火の鳥 **3 未来編**」(手塚治虫著) 手塚治虫マンガ全集 203  
昭和 55(1980)年 1 月 20 日第 1 刷発行(講談社)
- 3807) 「火の鳥 **4 ヤマト編・宇宙編**」(手塚治虫著) 手塚治虫マンガ全集 204  
昭和 55(1980)年 8 月 20 日第 1 刷発行(講談社)
- 3808) 「火の鳥 **5 鳳凰編**」(手塚治虫著) 手塚治虫マンガ全集 205  
昭和 57(1982)年 8 月 20 日第 1 刷発行(講談社)
- 3809) 「火の鳥 **6 鳳凰編**」(手塚治虫著) 手塚治虫マンガ全集 206  
昭和 57(1982)年 9 月 20 日第 1 刷発行(講談社)
- 3810) 「火の鳥 **7 復活編**」(手塚治虫著) 手塚治虫マンガ全集 207  
昭和 58(1983)年 2 月 20 日第 1 刷発行(講談社)
- 3811) 「火の鳥 **8 復活編・羽衣編**」(手塚治虫著) 手塚治虫マンガ全集 208  
昭和 58(1983)年 3 月 20 日第 1 刷発行(講談社)
- 3812) 「火の鳥 **9 望郷編**」(手塚治虫著) 手塚治虫マンガ全集 209  
昭和 58(1983)年 4 月 20 日第 1 刷発行(講談社)
- 3813) 「火の鳥 **10 望郷編**」(手塚治虫著) 手塚治虫マンガ全集 210  
昭和 58(1983)年 5 月 20 日第 1 刷発行(講談社)

- 3814) 「火の鳥 11 乱世編」(手塚治虫著) 手塚治虫マンガ全集 211  
昭和 58(1983)年 11 月 20 日第 1 刷発行(講談社)
- 3815) 「火の鳥 12 乱世編」(手塚治虫著) 手塚治虫マンガ全集 212  
昭和 58(1983)年 12 月 20 日第 1 刷発行(講談社)
- 3816) 「鬼丸大将 1」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 174  
昭和 54(1979)年 10 月 20 日第 1 刷発行  
平成 1(1989)年 8 月 21 日第 4 刷発行(講談社)
- 3817) 「鬼丸大将 2」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 174  
昭和 54(1979)年 12 月 20 日第 1 刷発行  
平成 5(1993)年 5 月 10 日第 5 刷発行(講談社)
- 3818) 「リボンの騎士 1」--少女クラブ版(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 85  
昭和 54(1979)年 10 月 20 日第 1 刷発行(講談社)
- 3819) 「リボンの騎士 2」--少女クラブ版(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 86  
昭和 54(1979)年 11 月 20 日第 1 刷発行(講談社)
- 3820) 「海のトリトン 第 1 巻」(手塚治虫著)  
昭和 47(1972)年 12 月 25 日初版発行  
昭和 53(1978)年 3 月 30 日 16 版発行(秋田書店)
- 3821) 「海のトリトン 第 2 巻」(手塚治虫著)  
昭和 48(1973)年 1 月 25 日初版発行  
昭和 52(1977)年 1 月 10 日 11 版発行(秋田書店)
- 3822) 「海のトリトン 第 3 巻」(手塚治虫著)  
昭和 48(1973)年 3 月 15 日初版発行  
昭和 54(1979)年 7 月 10 日 17 版発行(秋田書店)
- 3823) 「海のトリトン 第 4 巻」(手塚治虫著)  
昭和 48(1973)年 4 月 20 日初版発行  
昭和 53(1978)年 7 月 10 日 15 版発行(秋田書店)
- 3824) 「ゴッドファーザーの息子」(手塚治虫著) 手塚治虫名作集 1  
平成 1(1989)年 4 月 10 日第 1 刷発行  
平成 1(1989)年 6 月 30 日第 3 刷発行(集英社)
- 3825) 「雨ふり小僧」(手塚治虫著) 手塚治虫名作集 2  
平成 1(1989)年 5 月 20 日第 1 刷発行(集英社)
- 3826) 「百物語」(手塚治虫著) 手塚治虫名作集 3  
平成 1(1989)年 6 月 20 日第 1 刷発行(集英社)
- 3827) 「ナンバー 7 [セブン] 1」(手塚治虫著) 手塚治虫名作集 9  
平成 3(1991)年 5 月 25 日第 1 刷発行(集英社)
- 3828) 「ナンバー 7 [セブン] 2」(手塚治虫著) 手塚治虫名作集 10  
平成 3(1991)年 6 月 25 日第 1 刷発行(集英社)

- 3829) 「夜よさよなら」  
Adios Noches(手塚治虫著) 手塚治虫短編集 1  
平成 1(1989)年 12 月 18 日第 1 刷発行(講談社)
- 3830) 「サスピション」  
Suspicion(手塚治虫著) 手塚治虫短編集 2  
平成 2(1990)年 1 月 23 日第 1 刷発行(講談社)
- 3831) 「アドルフに告ぐ 第 1 巻」(手塚治虫著)  
昭和 60(1985)年 5 月 30 日第 1 刷  
昭和 61(1986)年 2 月 15 日第 14 刷(文藝春秋)
- 3832) 「アドルフに告ぐ 第 2 巻」(手塚治虫著)  
昭和 60(1985)年 6 月 30 日第 1 刷  
昭和 61(1986)年 2 月 15 日第 12 刷(文藝春秋)
- 3833) 「アドルフに告ぐ 第 3 巻」(手塚治虫著)  
昭和 60(1985)年 8 月 1 日第 1 刷  
昭和 61(1986)年 2 月 15 日第 11 刷(文藝春秋)
- 3834) 「アドルフに告ぐ 第 4 巻」(手塚治虫著)  
昭和 60(1985)年 11 月 10 日第 1 刷  
昭和 61(1986)年 2 月 15 日第 8 刷(文藝春秋)
- 3835) 「一輝まんだら 上巻」(手塚治虫著)  
平成 2(1990)年 12 月 20 日初版発行(角川書店)
- 3836) 「一輝まんだら 下巻」(手塚治虫著)  
平成 2(1990)年 12 月 20 日初版発行(角川書店)
- 3837) 「グリーンゴ 1」(手塚治虫著)  
昭和 63(1988)年 12 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 2(1990)年 4 月 5 日初版第 6 刷発行(小学館)
- 3838) 「グリーンゴ 2」(手塚治虫著)  
昭和 64(1989)年 1 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 2(1990)年 4 月 5 日初版第 6 刷発行(小学館)
- 3839) 「グリーンゴ 3」(手塚治虫著)  
平成 1(1989)年 5 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 2(1990)年 4 月 5 日初版第 5 刷発行(小学館)
- 3840) 「奇子 **AYAKO** 上巻 深淵の章」(手塚治虫著)  
昭和 60(1985)年 12 月 30 日初版発行  
平成 2(1990)年 9 月 30 日 7 版発行(大都社)
- 3841) 「奇子 **AYAKO** 下巻 奔流の章」(手塚治虫著)  
昭和 60(1985)年 12 月 30 日初版発行  
平成 2(1990)年 9 月 30 日 7 版発行(大都社)
- 3842) 「カノン」(手塚治虫著) 傑作短編集  
平成 1(1989)年 6 月 30 日初版発行(大都社)

- 3843) 「山棟蛇[やまかがし]」(手塚治虫著) 異色短編集  
平成3(1991)年8月10日初版発行  
平成7(1995)年11月10日4版発行(大都社)
- 3844) 「きりひと讃歌 上」(手塚治虫著)  
昭和61(1986)年9月30日初版発行  
平成1(1989)年9月30日6版発行(大都社)
- 3845) 「きりひと讃歌 下」(手塚治虫著)  
昭和61(1986)年9月30日初版発行  
平成1(1989)年9月30日6版発行(大都社)
- 3846) 「日本発狂」(手塚治虫著)  
昭和62(1987)年11月1日初版発行  
平成2(1990)年4月20日4版発行(大都社)
- 3847) 「SF・ファイブ」(手塚治虫著)  
平成1(1989)年8月10日初版発行  
平成1(1989)年9月10日2版発行(大都社)
- 3848) 「ユフラテの樹」(手塚治虫著)  
昭和62(1987)年10月1日初版発行  
平成1(1989)年9月30日3版発行(大都社)
- 3849) 「I.L(アイエル)」(手塚治虫著)  
昭和62(1987)年4月30日初版発行  
平成1(1989)年3月30日2版発行(大都社)
- 3850) 「ミッドナイト1」(手塚治虫著)  
平成10(1998)年2月10日初版発行  
平成11(1999)年6月15日6版発行(秋田書店)
- 3851) 「ミッドナイト2」(手塚治虫著)  
平成10(1998)年4月10日初版発行  
平成11(1999)年6月15日4版発行(秋田書店)
- 3852) 「ミッドナイト3」(手塚治虫著)  
平成10(1998)年6月10日初版発行  
平成11(1999)年6月15日4版発行(秋田書店)
- 3853) 「ミッドナイト4」(手塚治虫著)  
平成10(1998)年8月10日初版発行  
平成12(2000)年7月10日5版発行(秋田書店)
- 3854) 「どろろ1」(手塚治虫著)  
平成6(1994)年4月30日初版発行  
平成12(2000)年1月15日29版発行(秋田書店)
- 3855) 「どろろ2」(手塚治虫著)/ 平成6(1994)年4月30日初版発行  
平成12(2000)年7月10日31版発行(秋田書店)
- 3856) 「どろろ3」(手塚治虫著)/ 平成6(1994)年4月30日初版発行  
平成11(1999)年12月10日29版発行(秋田書店)



- 3857) 「バンパイヤ 1」(手塚治虫著)  
平成 7(1995)年 2 月 25 日初版発行(秋田書店)
- 3858) 「バンパイヤ 2」(手塚治虫著)  
平成 7(1995)年 2 月 25 日初版発行(秋田書店)
- 3859) 「バンパイヤ 3」(手塚治虫著)  
平成 7(1995)年 2 月 25 日初版発行(秋田書店)
- 3860) 「少年 傑作集 第 1 巻」鉄腕アトムほか(手塚治虫著)  
平成 1(1989)年 8 月 20 日初版 1 刷発行(光文社)
- 3861) 「少年 傑作集 第 2 巻」鉄人 28 号ほか(横山光輝著)  
平成 1(1989)年 10 月 20 日初版 1 刷発行(光文社)
- 3862) 「少年 傑作集 第 3 巻」ストップ!にいちちゃんほか(関谷ひさし著)  
平成 1(1989)年 11 月 20 日初版 1 刷発行(光文社)
- 3863) 「少年 傑作集 第 4 巻」矢車剣之助ほか(堀江卓著)  
平成 1(1989)年 12 月 20 日初版 1 刷発行(光文社)
- 3864) 「少年 傑作集 第 5 巻」忍者ハットリくんほか(藤子不二雄著)  
平成 2(1990)年 1 月 20 日初版 1 刷発行(光文社)
- 3865) 「ブラック・ジャック 1」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 151  
第 1 話 報復 第 2 話 シヤチの詩 第 3 話 閉ざされた三人  
第 4 話 ときには真珠のように 第 5 話 からだが石に...  
第 6 話 はるかなる国から 第 7 話 幸運な男 第 8 話 二つの愛  
第 9 話 タイムアウト 昭和 52(1977)年 7 月 15 日第 1 刷発行(講談社)
- 3866) 「ブラック・ジャック 2」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 152  
第 1 話 奇胎 第 2 話 二度死んだ少年 第 3 話 ピノコ愛してる  
第 4 話 アリの足 第 5 話 万引き犬 第 6 話 目撃者 第 7 話 めぐり会い  
第 8 話 古和医院 第 9 話 焼け焦げた人形 第 10 話 コマドリと少年  
昭和 53(1978)年 10 月 10 日第 1 刷発行(講談社)
- 3867) 「ブラック・ジャック 3」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 153  
第 1 話 友よいずこ 第 2 話 ダーティ・ジャック 第 3 話 ある教師と生徒  
第 4 話 ピノコ・ラブストーリー 第 5 話 その子を殺すな! 第 6 話 六等星  
第 7 話 上と下 第 8 話 なんという舌 第 9 話 感動息子  
第 10 話 U-18 は知っていた  
昭和 54(1979)年 5 月 30 日第 1 刷発行(講談社)
- 3868) 「ブラック・ジャック 4」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 154  
第 1 話 ふたりの黒い医者 第 2 話 人形と警官 第 3 話 座頭医師  
第 4 話 海は恋のかおり 第 5 話 鬼子母神の息子 第 6 話 えらばれたマスク  
第 7 話 盗難 第 8 話 お医者さんごっこ 第 9 話 鳥たちと野郎ども  
第 10 話 三者三様 昭和 55(1980)年 4 月 20 日第 1 刷発行(講談社)
- 3869) 「ブラック・ジャック 5」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 155  
第 1 話 ブラック・クイーン 第 2 話 死への一時間 第 3 話 ハッスルピノコ  
第 4 話 ある老婆の思い出 第 5 話 不発弾 第 6 話 身代わり

第7話 サギ師志願 第8話 ディンゴ 第9話 針  
第10話 空からきた子ども 昭和56(1981)年1月20日第1刷発行(講談社)

3870) 「ブラック・ジャック 6」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 156  
第1話 奇妙な関係 第2話 帰ってきたあいつ 第3話 ガス  
第4話 研修医たち 第5話 てるてる坊主 第6話 湯治場のふたり  
第7話 鯨にのまれた男 第8話 約束 第9話 灰色の館  
第10話 ある女の場合 昭和56(1981)年2月20日第1刷発行(講談社)

3871) 「ブラック・ジャック 7」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 157  
第1話 赤ちゃんのバラード 第2話 ネコと庄造と 第3話 宝島  
第4話 病院ジャック 第5話 ピノコ西へいく 第6話 あるスターの死  
第7話 しめくくり 第8話 もらい水 第9話 復しゅうこそわが命  
昭和57(1982)年2月20日第1刷発行(講談社)

3872) 「ブラック・ジャック 8」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 158  
第1話 白いライオン 第2話 ホスピタル 第3話 絵が死んでいる  
第4話 のろわれた手術 第5話 B・J入院す 第6話 気が弱いシラノ  
第7話 リンチ 第8話 二人目がいた 第9話 悲鳴 第10話 虚像  
昭和57(1982)年8月20日第1刷発行(講談社)

3873) 「ブラック・ジャック 9」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 159  
第1話 ナダレ 第2話 海賊の腕 第3話 獅子面病 第4話 誘拐  
第5話 本間血種 第6話 通り魔 第7話 雪の夜ばなし 第8話 銃創  
第9話 二人三脚 第10話 助け合い  
昭和57(1982)年9月20日第1刷発行(講談社)

3874) 「ブラック・ジャック 10」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 160  
第1話 白い目 第2話 土砂降り 第3話 とざされた記憶  
第4話 けいれん 第5話 イレズミの男 第6話 侵略者 第7話 浦島太郎  
第8話 身の代金 第9話 落としもの 第10話 おばあちゃん  
昭和57(1982)年10月20日第1刷発行(講談社)

3875) 「ブラック・ジャック 11」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 161  
第1話 誤診 第2話 にいちゃんをかえせ!! 第3話 スター誕生  
第4話 白葉さま 第5話 魔王大尉 第6話 春一番 第7話 曇りのち晴れ  
第8話 ハリケーン 第9話 道すがら 第10話 雪の訪問者  
第11話 がめつい同士 昭和57(1982)年11月20日第1刷発行(講談社)

3876) 「ブラック・ジャック 12」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 162  
第1話 地下壕にて 第2話 助っ人 第3話 ハロー CQ 第4話 老人と木  
第5話 霧 第6話 震動 第7話 発作 第8話 電話が三度なった  
第9話 人面瘡 第10話 ピノコ還る!  
昭和57(1982)年12月20日第1刷発行(講談社)

3877) 「ブラック・ジャック 13」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 163  
第1話 肩書き 第2話 ふたりのピノコ 第3話 満月病  
第4話 オオカミ少女 第5話 火と灰の中 第6話 ペンをすてろ!  
第7話 すりかえ 第8話 デベソの達 第9話 ふたりのジャン  
第10話 家出を拾った日 昭和58(1983)年1月20日第1刷発行(講談社)

3878) 「ブラック・ジャック 14」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 164  
第1話 畸形嚢腫[のうしゅ] 第2話 ピノコ再び 第3話 水とあくたれ

第4話 山猫少年 第5話 殺しがやってくる 第6話 されどいつわりの日々  
第7話 弁があった! 第8話 終電車 第9話 一ぴきだけの丘  
第10話 おとうと 昭和 58(1983)年 2月 20日 第1刷発行(講談社)

3879) 「ブラック・ジャック 15」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 165  
第1話 ゴーストタウンの流れ者 第2話 骨肉 第3話 ちぢむ!!  
第4話 ミュキとベン 第5話 犬のささやき 第6話 青い恐怖  
第7話 化身 第8話 未来への贈りもの 第9話 小さな悪魔  
第10話 黒潮号メモ 昭和 58(1983)年 3月 20日 第1刷発行(講談社)

3880) 「ブラック・ジャック 16」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 166  
第1話 99.9 パーセントの水 第2話 ピノコ生きてる  
第3話 動けソロモン 第4話 後遺症 第5話 ポケットモンキー  
第6話 ブラック・ジャック病 第7話 やり残しの家 第8話 モルモット  
第9話 激流 第10話 フィルムは二つあった 第11話 短指症  
昭和 58(1983)年 4月 20日 第1刷発行(講談社)

3881) 「ブラック・ジャック 17」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 167  
第1話 畸形嚢腫パート2 第2話 昭和山 第3話 かりそめの愛を  
第4話 再会 第5話 ご意見無用 第6話 消えさった音  
第7話 コレラさわぎ 第8話 流れ作業 第9話 灰とダイヤモンド  
第10話 ストラディバリウス  
昭和 58(1983)年 5月 20日 第1刷発行(講談社)

3882) 「ブラック・ジャック 18」(手塚治虫著) 手塚治虫漫画全集 168  
第1話 霊のいる風景 第2話 ピノコ・ミステリー 第3話 山小屋の一夜  
第4話 山手線の哲 第5話 なにかが山を..... 第6話 地下水道  
第7話 小うるさい自殺者 第8話 未知への挑戦 第9話 クマ  
第10話 密室の少年 第11話 人生という名の SL  
<あとがき>  
昭和 58(1983)年 6月 20日 第1刷発行(講談社)

3883) 「ブッダ Buddha 1」(手塚治虫著) 希望コミックス 25  
第1章 バラモン 第2章 浮浪児タッタ 第3章 ブダイ將軍  
第4章 告知 第5章 チャプラ  
昭和 49(1974)年 9月 25日 発行  
昭和 58(1983)年 12月 20日 22刷(潮出版社)

3884) 「ブッダ Buddha 2」(手塚治虫著) 希望コミックス 26  
第6章 王杯 第7章 生誕 第8章 技競べ 第9章 秘薬を求めて  
第10章 予言 第11章 裁きの日 第12章 死の壁  
昭和 49(1974)年 10月 25日 発行  
昭和 58(1983)年 12月 20日 20刷(潮出版社)

3885) 「ブッダ Buddha 3」(手塚治虫著) 希望コミックス 29  
第1章 王子 第2章 瞑想の園 第3章 奔流  
第4章 ヤショダラ 第5章 ミゲーラ  
昭和 49(1974)年 11月 25日 発行  
昭和 58(1983)年 12月 20日 19刷(潮出版社)

3886) 「ブッダ Buddha 4」(手塚治虫著) 希望コミックス 32  
第6章 四門出遊 第7章 ラーフラ 第8章 五人の行者  
第9章 旅立ちの朝 第10章 バンダカの死

昭和 50(1975)年 2 月 25 日発行  
昭和 58(1983)年 12 月 20 日 20 刷(潮出版社)

- 3887) 「ブッダ **Buddha 5**」(手塚治虫著) 希望コミックス 37  
第 1 章 苦行 第 2 章 弱肉強食 第 3 章 老婆と浮浪児  
第 4 章 騎士スカンダ(1)  
昭和 50(1975)年 12 月 10 日発行  
昭和 58(1983)年 12 月 20 日 18 刷(潮出版社)
- 3888) 「ブッダ **Buddha 6**」(手塚治虫著) 希望コミックス 41  
第 5 章 騎士スカンダ(1) 第 6 章 パンダブ山の会見 第 7 章 苦行林にて  
昭和 51(1976)年 8 月 20 日発行  
昭和 58(1983)年 12 月 20 日 18 刷(潮出版社)
- 3889) 「ブッダ **Buddha 7**」(手塚治虫著) 希望コミックス 44  
第 8 章 懲罰 第 9 章 アッサジの死 第 10 章 スジャータ  
第 11 章 ルリ王子 第 12 章 ヤタラの物語(1)  
昭和 52(1977)年 1 月 20 日発行  
昭和 58(1983)年 1 月 20 日 16 刷(潮出版社)
- 3890) 「ブッダ **Buddha 8**」(手塚治虫著) 希望コミックス 51  
第 13 章 ヤタラの物語(2)  
第 1 章 剣士と風来坊 第 2 章 決闘者 第 3 章 対決  
昭和 52(1977)年 1 月 15 日発行  
昭和 58(1983)年 6 月 20 日 13 刷(潮出版社)
- 3891) 「ブッダ **Buddha 9**」(手塚治虫著) 希望コミックス 59  
第 4 章 危難 第 5 章 鹿野苑 第 6 章 牡牛セブーの物語  
第 7 章 愚者が行く苦行 第 1 章 アナンダ登場  
昭和 52(1977)年 12 月 20 日発行  
昭和 58(1983)年 12 月 20 日 9 刷(潮出版社)
- 3892) 「ブッダ **Buddha 10**」(手塚治虫著) 希望コミックス 73  
第 2 章 パンパス刑事 第 3 章 リータ 第 4 章 アングリマーラ  
第 5 章 拝火殿 第 6 章 カッサパの帰依 第 7 章 ワニの河  
昭和 55(1980)年 11 月 10 日発行  
昭和 59(1984)年 7 月 10 日 7 刷(潮出版社)
- 3893) 「ブッダ **Buddha 11**」(手塚治虫著) 希望コミックス 84  
第 8 章 ワニの河(2) 第 9 章 象頭山の教え 第 10 章 竹林精舎  
第 11 章 幽閉の王子/ 昭和 56(1981)年 12 月 25 日発行  
昭和 59(1984)年 7 月 10 日 5 刷(潮出版社)
- 3894) 「ブッダ **Buddha 12**」(手塚治虫著) 希望コミックス 97  
第 1 章 サーリプッタとモッガラナ 第 2 章 非難する群れ  
第 3 章 死の沼地 第 4 章 狂女ヴィサーカー 第 5 章 ルリ王子との再会  
昭和 58(1983)年 2 月 20 日発行  
昭和 59(1984)年 7 月 10 日 3 刷(潮出版社)
- 3895) 「ブッダ **Buddha 13**」(手塚治虫著) 希望コミックス 107  
第 6 章 意志と意志 第 7 章 解放の日 第 8 章 ダイバダッタの陰謀  
第 9 章 ナラダッタ 第 10 章 祇園精舎 第 11 章 陥穽  
昭和 58(1983)年 12 月 5 日発行(潮出版社)

- 3896) 「**ブッダ Buddha 14**」(手塚治虫著) 希望コミックス 112  
 第12章 シャカ族の滅亡  
 第1章 悲報 第2章 ダイバダッタ 第3章 アジャセ王の微笑  
 第4章 旅の終り  
 昭和 59(1983)年 6月 1日発行(潮出版社)
- 3897) 「**三つ目がとおる 第1集**」三つ目登場編(手塚治虫著)  
 第1話 三つ目登場 第2話 第三の目の怪 第3話 魔法産院  
 第4話 酒船石奇談 第5話 寿命院邸の地下牢  
 第6話 三角錐[ピラミッド]コネクション 第7話 めおと岩がくつついた  
 第8話 キャンプに蛇がやってきた 第9話 王者の剣 第10話 円盤騒ぎ  
 第11話 オハグロ沼の怪物 第12話 貝塚の怪 第13話 文福脱走  
 昭和 61(1986)年 7月 5日第1刷発行  
 昭和 61(1986)年 11月 14日第4刷発行(講談社)
- 3898) 「**三つ目がとおる 第2集**」三つ目族の謎編(手塚治虫著)  
 第1話 三つ目族の謎 第1章 重すぎる小包 第2章 天人鳥  
 第3章 余呉明神の秘密 第4章 湖底の財宝 第5章 破壊への遺産  
 第2話 ようこそ墓あらし 第3話 カンニング  
 第4話 暗黒街のプリンス 第5話 神々の食料  
 第6話 ガイコツ・ショー 第7話 タワーリング・ミラクル  
 昭和 61(1986)年 8月 6日第1刷発行  
 昭和 61(1986)年 11月 14日第3刷発行(講談社)
- 3899) 「**三つ目がとおる 第3集**」グリーブの秘密編(手塚治虫著)  
 第1話 グリーブの秘密 第1章 先生も狂った! 第2章 悪魔のような女  
 第3章 死の谷 第4章 ナバホ・ポイント 第5章 満月の奇蹟  
 第2話 わんわん物語 第3話 魔術師 第4話 復活の谷  
 第5話 ナゾの浮遊物  
 昭和 61(1986)年 9月 6日第1刷発行  
 昭和 61(1986)年 11月 14日第3刷発行(講談社)
- 3900) 「**三つ目がとおる 第4集**」怪植物ボルボック編(手塚治虫著)  
 怪植物ボルボック  
 第1章 棒が出たア! 第2章 閉じこめられて  
 第3章 またもや行方不明 第4章 秘境へのアプローチ  
 第5章 植物を支配する植物 第6章 よっぱらった写楽  
 第7章 ボルボックの言い分 第8章 塩水の雨が降る  
 昭和 61(1986)年 10月 6日第1刷発行(講談社)
- 3901) 「**三つ目がとおる 第5集**」イースター島航海編(手塚治虫著)  
 イースター島航海(前編)  
 第1章 小鬼が夜にやってきた 第2章 幽霊船  
 第3章 第一の航海 第4章 第二の航海 第5章 第三の航海  
 第6章 ポキの島 第7章 調合台  
 昭和 61(1986)年 11月 6日第1刷発行  
 昭和 61(1986)年 11月 14日第2刷発行(講談社)
- 3902) 「**三つ目がとおる 第6集**」古代王子ゴダル編(手塚治虫著)  
 第1話 イースター島航海(後編)  
 第8章 モアイは謎をひめて 第9章 ポゴ死なないで  
 第2話 ビバゴン現わる!

第3話 古代王子ゴダル 第1章 ホア・カバリ・キルマ  
第2章 竜安寺にて 第3章 ゴモラ始動す 第4章 ハプニング  
第5章 地下水道 第6章 三十六計  
昭和 61(1986)年 12月 6日 第1刷発行(講談社)

3903) 「三つ目がとおる 第7集」 地下の都編(手塚治虫著)  
第1話 地下の都 第1章 ただひとりの友 第2章 写楽の宝箱  
第3章 土器をもとめて 第4章 地下の都 第5章 盗掘の輩  
第6章 流れさった歴史のおわり  
第2話 親子車 第3話 石の玉 第4話 浦島太郎の遺産  
第5話 イカヅチ山が泣いている 第6話 スマッシュでさよなら  
昭和 62(1987)年 1月 7日 第1刷発行(講談社)

3904) 「三つ目がとおる 第8集」 怪鳥モア編(手塚治虫著)  
怪鳥モア  
第1章 妖怪鳥 第2章 モアのふるさと 第3章 メキシコシティに行く  
第4章 和登さんだ!! 第5章 逃避行 第6章 月夜にとぶ影  
第7章 とざされた墓 第8章 乱戦 第9章 ティオティワカンの決闘  
昭和 62(1987)年 2月 6日 第1刷発行(講談社)

3905) 「シュマリ 1」 太財一族(手塚治虫著) 小学館文庫 201  
第1章 地の果て 第2章 余市川 第3章 刺青[いれずみ]  
第4章 雪解け 第5章 太財一族 第6章 瀕死の村  
第7章 ポン・ション 第8章 阿修羅のうた  
昭和 51(1976)年 4月 20日 初版第1刷発行  
昭和 61(1986)年 12月 25日 第6刷発行(小学館)

3906) 「シュマリ 2」 外道坑(手塚治虫著) 小学館文庫 202  
第9章 お峯 第10章 密告 第11章 集治監にて  
第12章 外道坑 第13章 人斬り十兵衛 第14章 鉾毒  
第15章 第三の男 第16章 大落盤 あとがき  
昭和 51(1976)年 4月 20日 初版第1刷発行  
昭和 61(1986)年 12月 25日 第5刷発行(小学館)

3907) 「シュマリ 3」 轍[わだち](手塚治虫著) 小学館文庫 203  
第17章 脱出行 第18章 父帰る 第19章 みだれ髪 第20章 無法の群れ  
第21章 乱戦 第22章 男の座 第23章 華本男爵 解説 尾崎秀樹  
昭和 51(1976)年 4月 20日 初版第1刷発行  
昭和 61(1986)年 12月 25日 第4刷発行(小学館)

3908) 「シュマリ 4」 侵略者(手塚治虫著) 小学館文庫 204  
第24章 泥炭地 第25章 白昼夢 第26章 野火 第27章 お妙の死  
第28章 暴動 第29章 男爵芋 第30章 落日の賦 第31章 大団円  
昭和 51(1976)年 7月 20日 初版第1刷発行  
昭和 61(1986)年 12月 25日 第8刷発行(小学館)

3909) 「MW[ムウ] 1」 悪魔の化身(手塚治虫著)  
第1話 誘拐 第2話 悪夢 第3話 一蓮托生 第4話 トライアングル  
第5話 報復 第6話 悪魔の化身 第7話 虎口に入る  
第8話 栄光の夜 第9話 殺しのプレリュード  
昭和 53(1978)年 4月 1日 初版第1刷発行  
平成 1(1989)年 10月 5日 初版第15刷発行(小学館)

- 3910) 「**MW[ムウ] 2**」 疑惑の筈[あな](手塚治虫著)  
 第10話 疑惑の筈 第11話 第3の証人 第12話 廃墟  
 第13話 島の果て 第14話 再会 第15話 協力者 第16話 邂逅  
 第17話 標的[ターゲット] 第18話 封じ込め 第19話 アラベスク  
 昭和53(1978)年5月1日初版第1刷発行  
 平成1(1989)年10月5日初版第13刷発行(小学館)
- 3911) 「**MW[ムウ] 3**」 破滅への出発[たびだち](手塚治虫著)  
 第20話 倒錯 第21話 エピソード 第22話 仮面の訪問  
 第23話 R-基地に悪魔が来た 第24話 人質 第25話 破滅への出発  
 第26話 最期の賭  
 解説 マンガ表現と現代--悪からのアプローチ(副田義也)  
 昭和53(1978)年6月1日初版第1刷発行  
 平成1(1989)年10月5日初版第12刷発行(小学館)
- 3912) 「**ブラック・ジャック創作秘話**」 手塚治虫の仕事場から  
 (〈原作〉宮崎克・〈漫画〉吉本浩二)  
 第1話 壁の穴 第2話 若者たち 第3話 逆鱗 第4話 アニメ地獄  
 第5話 夜明け前 第6話 原稿を上げずに手塚先生はアメリカへ飛んだ(前編)  
 第7話 原稿を上げずに手塚先生はアメリカへ飛んだ(後編)  
 特別対談 「みんな、手塚先生が大好きだった」  
 平成23(2011)年7月20日初版発行  
 平成23(2011)年11月25日4版発行(秋田書店)
- 3913) 「**ブラック・ジャック創作秘話2**」 手塚治虫の仕事場から  
 (〈原作〉宮崎克・〈漫画〉吉本浩二)  
 第8話 先生のメガネ 第9話 虫プロてんやわんや  
 第10話 火の鳥を追いかけて 第11話 まんが少年  
 平成25(2013)年1月20日初版発行(秋田書店)
- 3914) 「**ブラック・ジャック創作秘話3**」 手塚治虫の仕事場から  
 (〈原作〉宮崎克・〈漫画〉吉本浩二)  
 第12話 漫画手塚学校 第13話 一番打者  
 第14話 手塚治虫と6人の孫悟空(前編)  
 第15話 手塚治虫と6人の孫悟空(後編)  
 平成25(2013)年4月20日初版発行(秋田書店)
- 3915) 「**ブラック・ジャック創作秘話4**」 手塚治虫の仕事場から  
 (〈原作〉宮崎克・〈漫画〉吉本浩二)  
 第16話 手塚治虫の息子 第17話 敗戦少年  
 第18話 六畳間の青春 第19話 ブラック・ジャック誕生  
 平成25(2013)年9月20日初版発行(秋田書店)
- 3916) 「**ブラック・ジャック創作秘話5**」 手塚治虫の仕事場から  
 (〈原作〉宮崎克・〈漫画〉吉本浩二)  
 第20話 ふたりのピノコ 第21話 砂かけ男 第22話 歯医者はどこだ!?  
 第23話 手塚治虫は困った人なのだ 最終話 最後のひとり  
 平成26(2014)年8月15日初版発行(秋田書店)
- 3917) 「**ブラック・ジャック第1巻**」(手塚治虫著) 恐怖コミックス  
 第1話 医者はどこだ 第2話 海のストレンジャー 第3話 ミユキとベン  
 第4話 アナフラキシー 第5話 人間鳥 第6話 海賊の腕  
 第7話 ふたりの修二 第8話 鬼子母神の息子

昭和 49(1974)年 5 月 20 日初版発行  
平成 2(1990)年 4 月 20 日 100 版発行(秋田書店)

- 3918) 「漂流教室 1」(椋図かずお著) Shonen Sunday Comics  
第 1 章 その日の朝 第 2 章 ゆれた教室 第 3 章 おびえる目  
第 4 章 とざされた世界  
昭和 49(1974)年 6 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 62(1987)年 12 月 20 日第 24 刷発行(小学館)
- 3919) 「漂流教室 2」(椋図かずお著) Shonen Sunday Comics  
第 1 章 狂気をよぶパン 第 2 章 6 年 3 組の挑戦 第 3 章 862 人の墓標  
第 4 章 死の遠出 第 5 章 母の願い  
昭和 49(1974)年 6 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 62(1987)年 12 月 20 日第 23 刷発行(小学館)
- 3920) 「漂流教室 3」(椋図かずお著) Shonen Sunday Comics  
第 1 章 壁の中からの叫び 第 2 章 いけにえ 第 3 章 一枚の木の葉  
第 4 章 新リーダー・女番長  
昭和 49(1974)年 8 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 62(1987)年 12 月 20 日第 21 刷発行(小学館)
- 3921) 「漂流教室 4」(椋図かずお著) Shonen Sunday Comics  
第 1 章 大和小学校国の門出 第 2 章 せまりくる大怪虫  
第 3 章 捨て身の挑戦 第 4 章 小さな強敵  
昭和 49(1974)年 9 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 62(1987)年 12 月 20 日第 21 刷発行(小学館)
- 3922) 「漂流教室 5」(椋図かずお著) Shonen Sunday Comics  
第 1 章 勇気ある一撃 第 2 章 死を呼ぶ渴き 第 3 章 黒い斑点  
第 4 章 狂気のペスト禍 第 5 章 果てしなき暴走  
昭和 49(1974)年 10 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 62(1987)年 12 月 20 日第 21 刷発行(小学館)
- 3923) 「漂流教室 6」(椋図かずお著) Shonen Sunday Comics  
第 1 章 しのびよる死の影 第 2 章 時をへだてて 第 3 章 失われた光明  
昭和 49(1974)年 11 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 62(1987)年 12 月 20 日第 21 刷発行(小学館)
- 3924) 「漂流教室 7」(椋図かずお著) Shonen Sunday Comics  
第 1 章 未来植物の試食 第 2 章 のろいの教団 第 3 章 巨大な目  
昭和 49(1974)年 12 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 62(1987)年 3 月 20 日第 15 刷発行(小学館)
- 3925) 「漂流教室 8」(椋図かずお著) Shonen Sunday Comics  
第 1 章 つめたい目 第 2 章 暗黒の世界 第 3 章 滅亡の記録  
第 4 章 母の贈り物 第 5 章 闇からの脱出  
昭和 50(1975)年 1 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 62(1987)年 3 月 20 日第 15 刷発行(小学館)
- 3926) 「漂流教室 9」(椋図かずお著) Shonen Sunday Comics  
第 1 章 恐怖の糸 第 2 章 失われた友情 第 3 章 危険な執刀  
昭和 50(1975)年 2 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 62(1987)年 3 月 20 日第 15 刷発行(小学館)



- 3927) 「漂流教室 10」(楳図かずお著) Shonen Sunday Comics  
第1章 女番長の遺言 第2章 死の行進 第3章 危険な天国  
第4章 飢餓集団  
昭和 50(1975)年 4 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 62(1987)年 10 月 20 日第 18 刷発行(小学館)
- 3928) 「漂流教室 11」(楳図かずお著) Shonen Sunday Comics  
第1章 いつわりの告白 第2章 よみがえった友情  
第3章 漂流の果てに 巻末短編 ねがい  
昭和 50(1975)年 5 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 62(1987)年 10 月 20 日第 19 刷発行(小学館)
- 3929) 「女の子あつまれ!」(楳図かずお著) Sun Comics  
昭和 45(1970)年 10 月 8 日初版発行  
昭和 54(1979)年 6 月 5 日 3 版発行(朝日ソノラマ)
- 3930) 「おろち 第1巻」(楳図かずお著) Sun Comics  
昭和 59(1984)年 7 月 10 日初版発行(秋田書店)
- 3931) 「おろち 第2巻」(楳図かずお著) Sun Comics  
昭和 59(1984)年 8 月 10 日初版発行(秋田書店)
- 3932) 「おろち 1」(楳図かずお著) 秋田文庫  
平成 7(1995)年 7 月 20 日初版発行  
平成 8(1996)年 10 月 15 日再版発行(秋田書店)
- 3933) 「おろち 2」(楳図かずお著) 秋田文庫  
平成 7(1995)年 12 月 10 日初版発行  
平成 8(1996)年 10 月 15 日再版発行(秋田書店)
- 3934) 「おろち 3」(楳図かずお著) 秋田文庫  
平成 8(1996)年 2 月 10 日初版発行(秋田書店)
- 3935) 「おろち 4」(楳図かずお著) 秋田文庫  
平成 8(1996)年 2 月 10 日初版発行(秋田書店)
- 3936) 「神の左手 悪魔の右手 1」(楳図かずお著) 錆びたハサミ 1  
昭和 62(1987)年 7 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 1(1989)年 2 月 5 日初版第 9 刷発行(小学館)
- 3937) 「神の左手 悪魔の右手 2」(楳図かずお著) 錆びたハサミ 2  
昭和 62(1987)年 8 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 1(1989)年 2 月 5 日初版第 9 刷発行(小学館)
- 3938) 「神の左手 悪魔の右手 3」(楳図かずお著) 女王蜘蛛の舌  
昭和 62(1987)年 11 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 63(1988)年 3 月 5 日初版第 4 刷発行(小学館)
- 3939) 「神の左手 悪魔の右手 4」(楳図かずお著) 黒い絵本  
昭和 63(1988)年 3 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 1(1989)年 2 月 5 日初版第 5 刷発行(小学館)

- 3940) 「神の左手 悪魔の右手 5」(楳図かずお著) 影亡者 1  
昭和 63(1988)年 7 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 64(1989)年 1 月 5 日初版第 3 刷発行(小学館)
- 3941) 「神の左手 悪魔の右手 6」(楳図かずお著) 影亡者 2  
昭和 63(1988)年 10 月 1 日初版第 1 刷発行  
昭和 64(1989)年 1 月 5 日初版第 2 刷発行(小学館)
- 3942) 「雪の峠・剣の舞」(岩明均著) 歴史作品集  
平成 13(2001)年 3 月 23 日第 1 刷発行(講談社)
- 3943) 「骨の音」(岩明均著) 傑作集  
平成 2(1990)年 1 月 23 日第 1 刷発行  
平成 7(1995)年 4 月 20 日第 14 刷発行(講談社)
- 3944) 「七夕の国 1」(岩明均著)  
第 1 話 カササギの旗 第 2 話 超能力者 第 3 話 穴  
第 4 話 40 万円の模型 第 5 話 ガッピーン 第 6 話 若殿様 第 7 話 応答  
平成 9(1997)年 8 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3945) 「七夕の国 2」(岩明均著)  
第 8 話 発光性 第 9 話 有効利用 第 10 話 手がとどく  
第 11 話 不穏な動き 第 12 話 グレゴリオ暦 第 13 話 頼之さん  
第 14 話 いやなテレビ  
平成 10(1998)年 5 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3946) 「七夕の国 3」(岩明均著)  
第 15 話 正面のアップ 第 16 話 丸川町民あらわる  
第 17 話 セミナーおしまい 第 18 話 原則として秘密  
第 19 話 カササギの夢 第 20 話 マイナスに見える 第 21 話 進軍  
平成 10(1998)年 11 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3947) 「七夕の国 4」(岩明均著)  
第 22 話 領主の血 第 23 話 外からの力 第 24 話 窓の内側  
第 25 話 攻囲 第 26 話 カササギからの贈り物(前編)  
第 27 話 カササギからの贈り物(後編) 最終話 祭り  
平成 11(1999)年 4 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3948) 「風子のいる店 1」(岩明均著)  
第 1 話 ウエートレス 第 2 話 ひとり 第 3 話 いつもとちがう道  
第 4 話 氷の女 第 5 話 青年の主張 第 6 話 存在理由  
第 7 話 夏のおわり 第 8 話 他人ごと 第 9 話 友達見つけた  
第 10 話 草むらの少女  
昭和 61(1986)年 12 月 17 日第 1 刷発行(講談社)
- 3949) 「風子のいる店 2」(岩明均著)  
第 11 話 危険なお客さん 第 12 話 なんであやまるの 第 13 話 招きギツネ  
第 14 話 ペンフレンド 第 15 話 やなヤツ 第 16 話 あの子が目じるし  
第 17 話 逃げた日 第 18 話 他人の物差し 第 19 話 喫茶店散歩  
第 20 話 風子の泣く夢 第 21 話 気にする性格  
昭和 62(1987)年 8 月 22 日第 1 刷発行(講談社)

- 3950) 「風子のいる店 3」(岩明均著)  
 第 22 話 親不孝の絵 第 23 話 好かれるタイプのウェイトレス  
 第 24 話 友美さんの店 第 25 話 もう一方の手 第 26 話 放課後の木かげ  
 第 27 話 キーコ 第 28 話 もうじき夏休み 第 29 話 風子 竜を見る(前編)  
 第 30 話 風子 竜を見る(後編) 第 31 話 笑顔で勝負 第 32 話 自信  
 昭和 63(1988)年 2 月 23 日第 1 刷発行(講談社)
- 3951) 「風子のいる店 4」(岩明均著)  
 第 33 話 小さないたずら 第 34 話 むし返し 第 35 話 くたびれた  
 第 36 話 推薦 第 37 話 合格発表の日 第 38 話 卒業(前編)  
 第 39 話 卒業(後編) 第 40 話 才女 第 41 話 それぞれの道  
 第 42 話 最後の客(前編) 最終話 最後の客(後編)  
 昭和 63(1988)年 8 月 23 日第 1 刷発行  
 平成 7(1995)年 1 月 20 日第 6 刷発行(講談社)
- 3952) 「大崎人伝」(魚戸おさむ著) 魚戸おさむ短篇集  
 大崎人伝 トルコ帽の吟香 1/ トルコ帽の吟香 2/ トルコ帽の吟香 3  
 コレコレ是清 1/ コレコレ是清 2/ コレコレ是清 3  
 我が家の根っこ 1 我が家の根っこ/ 2 帰らぬ人/ 3 家出.....  
 平成 8(1996)年 5 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3953) 「ケントの方舟 1」ルーシーの食卓(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
 Field- Note. 0 ルーシーの食卓 Field- Note. 1 個体識別  
 Field- Note. 2 種子散布 Field- Note. 3 ひとりゴリラ Field- Note. 4 人づけ  
 Field- Note. 5 Creation Field- Note. 6 求愛 Field- Note. 7 父性  
 平成 9(1997)年 5 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3954) 「ケントの方舟 2」アフリカ(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
 Field- Note. 8 ヤクザル Field- Note. 9 イモ洗い Field- Note. 10 快樂  
 Field- Note. 11 縄張り Field- Note. 12 逃亡 Field- Note. 13 群れの誕生  
 Field- Note. 14 進化論 Field- Note. 15 アフリカ  
 Field- Note. 16 タンチョウズル  
 平成 9(1997)年 8 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3955) 「ケントの方舟 3」バカザル(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
 Field- Note. 17 ヤジ將軍 Field- Note. 18 カマキリ Field- Note. 19 野良猫  
 Field- Note. 20 猫町ツアー Field- Note. 21 ゴリラの心  
 Field- Note. 22 スイカ Field- Note. 23 バカザル Field- Note. 24 ウサギ  
 Field- Note. 25 アメスラン Field- Note. 26 盗聴  
 平成 10(1998)年 3 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3956) 「ケントの方舟 4」方舟(毛利甚八作・魚戸おさむ画)  
 Field- Note. 27 討論 Field- Note. 28 拉致 Field- Note. 29 法螺吹き  
 Field- Note. 30 里親 Field- Note. 31 官僚 Field- Note. 32 未完成の動物  
 Field- Note. 33 NY ジャーナル Field- Note. 34 投票  
 Field- Note. 55 開票 Last-Field- Note. 方舟  
 平成 10(1998)年 7 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3957) 「斗馬 TOMA 1」父の夢(魚戸おさむ著)  
 其ノ 1 <父と斗馬> 其ノ 2 <父の恩人> 其ノ 3 <父の夢> 其ノ 4 <父の涙>  
 其ノ 5 <父の恐れ> 其ノ 6 <父と魔物> 其ノ 7 <父の説得> 其ノ 8 <父と鬼>  
 平成 6(1994)年 11 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)

- 3958) 「斗馬 TOMA 2」父の命(魚戸おさむ著)  
其ノ1<父の命> 其ノ2<策略> 其ノ3<父の背中> 其ノ4<父の思い出>  
其ノ5<逮捕令状> 其ノ6<金の重さ> 其ノ7<幽霊と勝負師>  
其ノ8<進路希望>  
平成7(1995)年5月1日初版第1刷発行(小学館)
- 3959) 「斗馬 TOMA 3」父の道(魚戸おさむ著)  
其ノ1<経済学講義> 其ノ2<鉄砲> 其ノ3<大黒> 其ノ4<荒神>  
其ノ5<桐生零児> 其ノ6<一万円と十億円> 其ノ7<内面仏>  
其ノ8<定例株主総会> 其ノ9<対決> 其ノ10<父の道>  
平成7(1995)年6月1日初版第1刷発行(小学館)
- 3960) 「がんばるな!!! 家康1」(魚戸おさむ著)  
1LDK<がんばれ!? 家康> 2LDK<家の見える坂道> 3LDK<太郎の住む家>  
4LDK<家が泣いている> 5LDK<面子が立つ家> 6LDK<想いが重い家>  
7LDK<ハマッ子が住む家> 8LDK<されど、こんな家>  
9LDK<砂に描いた砂上の家>  
平成11(1999)年5月1日初版第1刷発行(小学館)
- 3961) 「がんばるな!!! 家康2」(魚戸おさむ著)  
10LDK<サンタが家にやって来た> 11LDK<舟木の家>  
12LDK<眠れる美女の家> 13LDK<朝日のあたる家>  
14LDK<"小樽の女[ひと]"の家> 15LDK<スウィートな家>  
16LDK<男は黙っての家> 17LDK<私のひかれた家>  
18LDK<先輩の売る家>  
平成11(1999)年10月1日初版第1刷発行  
平成12(2000)年9月5日第4刷発行(小学館)
- 3962) 「がんばるな!!! 家康3」(魚戸おさむ著)  
19LDK<"抜き"の家> 20LDK<リベンジ オブ"抜き"の家>  
21LDK<ゴルフの家> 22LDK<クレームの家> 23LDK<かなえの家>  
24LDK<一缶のコーヒーからの家> 25LDK<うらめしい家>  
26LDK<女ですもの"ON"な夜もあるわよの家> 27LDK<夏バテの家>  
平成12(2000)年3月1日初版第1刷発行(小学館)
- 3963) 「がんばるな!!! 家康4」(魚戸おさむ著)  
28LDK<親と娘の家> 29LDK<嫁と姑の家> 30LDK<転職の家>  
31LDK<バイカーの家> 32LDK<まず風呂ありきの家>  
33LDK<自信喪失の家> 34LDK<2000年問題の家> 35LDK<年の始めの家>  
36LDK<お施主様は神様の家(前編)> 37LDK<お施主様は神様の家(後編)>  
平成12(2000)年9月1日初版第1刷発行(小学館)
- 3964) 「MONSTER 1」ヘル Dr. テンマ(浦沢直樹著)  
Chapter 1. ヘル Dr.[ドクター]テンマ Chapter 2. ころして  
Chapter 3. 転居 Chapter 4. 兄・妹 Chapter 5. 殺人事件  
Chapter 6. BKAの男 Chapter 7. 「モンスター」 Chapter 8. 処刑の夜  
平成7(1995)年8月1日初版第1刷発行(小学館)
- 3965) 「MONSTER 2」戦慄の誕生日(浦沢直樹著)  
Chapter 1. ハイデルベルクの少女 Chapter 2. 白馬の王子様  
Chapter 3. 失踪記事 Chapter 4. 戦慄の誕生日 Chapter 5. 惨劇の館  
Chapter 6. あなたは悪くない Chapter 7. 追われる身 Chapter 8. 老兵と少女  
平成7(1995)年11月1日初版第1刷発行(小学館)

- 3966) 「**MONSTER 3**」 511 キンダーハイム(浦沢直樹著)  
Chapter 1. 消された過去 Chapter 2. ローヤーの法則  
Chapter 3. 511 キンダーハイム Chapter 4. プロジェクト  
Chapter 5. ささやかな実験 Chapter 6. ペトラとシューマン  
Chapter 7. ペトラとハインツ Chapter 8. 残された男  
平成 8(1996)年 6 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3967) 「**MONSTER 4**」 アイシェの友達(浦沢直樹著)  
Chapter 1. 残された女 Chapter 2. ビー・マイ・ベイビー  
Chapter 3. ゲーデリッツ教授 Chapter 4. アイシェの友達  
Chapter 5. ヴォルフの告白 Chapter 6. メインディッシュ  
Chapter 7. 再会 Chapter 8. 五杯目の砂糖  
平成 8(1996)年 10 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3968) 「**MONSTER 5**」 カーニバルのあと.....(浦沢直樹著)  
Chapter 1. 怪物の深淵 Chapter 2. ユルゲンスの物置き  
Chapter 3. カーニバルのあと Chapter 4. フライハムへの旅  
Chapter 5. 幸せな休日 Chapter 6. 復讐の銃口 Chapter 7. 明日は晴れる  
Chapter 8. ルンゲの期待 Chapter 9. ルンゲの罠  
平成 9(1997)年 5 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3969) 「**MONSTER 6**」 秘密の森(浦沢直樹著)  
Chapter 1. 対決 Chapter 2. 転落の果て Chapter 3. エヴァの告白  
Chapter 4. 男達の食卓 Chapter 5. 見えざる敵 Chapter 6. 火曜日の青年  
Chapter 7. 木曜日の青年 Chapter 8. 残された謎 Chapter 9. 秘密の森  
平成 9(1997)年 7 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3970) 「**MONSTER 7**」 リヒアルト(浦沢直樹著)  
Chapter 1. リヒアルト Chapter 2. 証拠の品 Chapter 3. 白日の下に  
Chapter 4. ただ一つの事件 Chapter 5. ヨハンへの旅 Chapter 6. 処刑  
Chapter 7. ある決意 Chapter 8. ライヒワインの日々 Chapter 9. 白日の下へ  
平成 9(1997)年 12 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3971) 「**MONSTER 8**」 名なしのヒーロー(浦沢直樹著)  
Chapter 1. 立証可能 Chapter 2. パーティーのあと Chapter 3. 聖域  
Chapter 4. 子どもの情景 Chapter 5. 人類の財産 Chapter 6. 闇の果て  
Chapter 7. 光を当てろ Chapter 8. 私はテンマ Chapter 9. 名なしのヒーロー  
平成 10(1998)年 4 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3972) 「**MONSTER 9**」 なまえのないかいぶつ(浦沢直樹著)  
Chapter 1. さらなる怪物 Chapter 2. 混沌の怪物  
Chapter 3. なまえのないかいぶつ Chapter 4. 蟻たちの饗宴  
Chapter 5. 我が目の悪魔 Chapter 6. 母からの手紙 Chapter 7. 心の痕跡  
Chapter 8. 目の中の地獄 Chapter 9. おとぎの国のカエル  
平成 10(1998)年 7 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3973) 「**MONSTER 10**」 ピクニック(浦沢直樹著)  
Chapter 1. グリマー Chapter 2. ピクニック Chapter 3. 511 の亡霊  
Chapter 4. 新たなる実験 Chapter 5. 鍵 Chapter 6. 超人シュタイナーの冒険  
Chapter 7. スーク刑事 Chapter 8. 極秘調査 Chapter 9. 大切な物  
平成 10(1998)年 12 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)

- 3974) 「**MONSTER 11**」 死角(浦沢直樹著)  
Chapter 1. 二つの闇 Chapter 2. 怪物の残像 Chapter 3. 録音再生  
Chapter 4. 接点 Chapter 5. 死角 Chapter 6. 超人シュタイナーの思い出  
Chapter 7. ココアの記憶 Chapter 8. 悪夢の扉 Chapter 9. 一番怖いもの  
平成 11(1999)年 5 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3975) 「**MONSTER 12**」 バラの屋敷(浦沢直樹著)  
Chapter 1. 長い休暇 Chapter 2. 少年探偵団 Chapter 3. 一番残酷なこと  
Chapter 4. 国境の街 Chapter 5. バラの屋敷 Chapter 6. 開かずの扉  
Chapter 7. 長いお別れ Chapter 8. ヘレンカを捜して Chapter 9. 残された人々  
平成 11(1999)年 8 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3976) 「**MONSTER 13**」 脱走(浦沢直樹著)  
Chapter 1. 怪物のラブレター Chapter 2. 脱獄囚 Chapter 3. 弁護士  
Chapter 4. 目撃者 Chapter 5. 決意 Chapter 6. 泥だらけのサンドイッチ  
Chapter 7. ヘレーネとグスタフ Chapter 8. 脱走 Chapter 9. 402 号室  
平成 12(2000)年 4 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3977) 「**MONSTER 14**」 あの日の夜(浦沢直樹著)  
Chapter 1. スパイの子 Chapter 2. 終わらない旅 Chapter 3. 人形使い  
Chapter 4. 朗読会の子供たち Chapter 5. あの日の夜  
Chapter 6. ヨハンの見た風景 Chapter 7. 楽しい思い出  
Chapter 8. いやな仕事 Chapter 9. 最悪なネクタイ  
平成 12(2000)年 8 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3978) 「**MONSTER 15**」 記憶の扉(浦沢直樹著)  
Chapter 1. パーティー イズ オーバー Chapter 2. 悪魔を見た男  
Chapter 3. 悪魔の友だち Chapter 4. 知りすぎた男 Chapter 5. 哀しみの再会  
Chapter 6. ニナの記憶 Chapter 7. 朗読会の思い出 Chapter 8. 記憶の扉  
Chapter 9. 楽しい食卓  
平成 12(2000)年 12 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3979) 「**MONSTER 16**」 おかえり(浦沢直樹著)  
Chapter 1. 屋根の向こうまで Chapter 2. 友情の答え  
Chapter 3. タクシードライバー Chapter 4. 無関係な殺人  
Chapter 5. 赤ん坊の憂うつ Chapter 6. 恐怖の足音  
Chapter 7. ヨハンの足跡 Chapter 8. 殺し合い Chapter 9. 父さん母さん  
Chapter 10. おかえり  
平成 13(2001)年 4 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3980) 「**MONSTER 17**」 ただいま(浦沢直樹著)  
Chapter 1. ただいま Chapter 2. 行くべきところ Chapter 3. ルーエンハイム  
Chapter 4. 静かなる銃声 Chapter 5. 吸血鬼の家 Chapter 6. 疑心暗鬼の町  
Chapter 7. 完全な自殺 Chapter 8. 安らぎの家 Chapter 9. 殺戮の町  
Chapter 10. 忘れたくない記憶  
平成 13(2001)年 10 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)
- 3981) 「**MONSTER 18**」 終わりの風景(浦沢直樹著)  
Chapter 1. 架空の人間 Chapter 2. 休暇の終わり Chapter 3. グリマーの叫び  
Chapter 4. 超人シュタイナーの怒り Chapter 5. 名前のない男  
Chapter 6. 描けない絵 Chapter 7. 泣かないで Chapter 8. 終わりの風景  
Chapter 9. 命ある者たち Chapter 10. 明日はくる 最終章 本当の怪物  
平成 14(2002)年 4 月 1 日初版第 1 刷発行(小学館)

- 3982) 「もうひとつの **MONSTER** 」  
(ヴェルナー・ヴェーバー/ 浦沢直樹共著) (長崎尚志訳)  
Another MONSTER: The Investigative Report  
by Werner Weber & Naoaki Urasawa, Translated by Kazuo Umino  
平成 14(2002)年 8 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 14(2002)年 10 月 5 日第 3 刷発行(小学館)
- 3983) 「初期の **URASAWA 浦沢直樹**」 浦沢直樹短編集  
平成 12(2000)年 6 月 1 日初版第 1 刷発行  
平成 14(2002)年 4 月 5 日第 4 刷発行(小学館)
- 3984) 「小公女」(バーネット作・吉田勝江訳) 岩波少年文庫 2027  
昭和 29(1954)年 3 月 25 日第 1 刷発行  
昭和 60(1985)年 2 月 20 日第 31 刷発行(岩波書店)
- 3985) 「小公子」(バーネット作・吉田甲子太郎訳) 岩波少年文庫 2026  
昭和 28(1953)年 3 月 1 日第 1 刷発行  
昭和 60(1985)年 2 月 20 日第 27 刷発行(岩波書店)
- 3986) 「イソップのお話」(河野与一編訳) 岩波少年文庫 1009  
昭和 30(1955)年 7 月 30 日第 1 刷発行  
昭和 55(1980)年 4 月 20 日第 27 刷発行(岩波書店)
- 3987) 「人間の歴史の物語 上」  
(ヴァン・ローン作/ 日高六郎・日高八郎訳) 岩波少年文庫 3087  
昭和 27(1952)年 1 月 15 日第 1 刷発行  
昭和 27(1952)年 12 月 10 日第 2 刷改版発行  
昭和 49(1974)年 12 月 6 日第 15 刷改訳発行  
昭和 58(1983)年 11 月 10 日第 24 刷発行(岩波書店)
- 3988) 「人間の歴史の物語 下」  
(ヴァン・ローン作/ 日高六郎・日高八郎訳) 岩波少年文庫 3088  
昭和 27(1952)年 8 月 15 日第 1 刷発行  
昭和 50(1975)年 11 月 26 日第 12 刷改訳発行  
昭和 58(1983)年 3 月 10 日第 19 刷発行(岩波書店)
- 3989) 「ギリシア・ローマ神話 上」  
(ブルフィンチ作・野上弥生子訳) 岩波少年文庫 3020  
昭和 29(1954)年 6 月 15 日第 1 刷発行  
昭和 58(1983)年 9 月 10 日第 33 刷発行(岩波書店)
- 3990) 「ギリシア・ローマ神話 下」  
(ブルフィンチ作・野上弥生子訳) 岩波少年文庫 3021  
昭和 29(1954)年 6 月 30 日第 1 刷発行  
昭和 58(1983)年 11 月 10 日第 30 刷発行(岩波書店)
- 3991) 「名探偵カッレくん」  
(A. リンドグレーン作・尾崎義訳) 岩波少年文庫 3051  
昭和 32(1957)年 6 月 10 日第 1 刷発行  
昭和 59(1984)年 8 月 10 日第 26 刷発行(岩波書店)

- 3992) 「シェイクスピア物語」(ラム作・野上弥生子訳) 岩波少年文庫 3045  
昭和 31(1956)年 5 月 23 日第 1 刷発行  
昭和 59(1984)年 7 月 20 日第 29 刷発行(岩波書店)
- 3993) 「ムギと王さま」(E.ファージョン作・石井桃子訳) 岩波少年文庫 3071  
昭和 34(1959)年 5 月 20 日第 1 刷発行  
昭和 54(1979)年 8 月 10 日第 19 刷発行(岩波書店)
- 3994) 「日本--その姿と心」 NIPPON: The Land and Its People  
監修(新日本製鐵株式会社)  
著者(日鉄ヒューマンデベロプメント)  
昭和 57(1982)年 7 月 20 日第 1 版初刷発行  
昭和 59(1984)年 5 月 1 日第 2 版初刷発行  
昭和 63(1988)年 5 月 25 日第 3 版初刷発行  
平成 5(1993)年 11 月 25 日第 4 版初刷発行  
平成 9(1997)年 4 月 1 日第 5 版初刷発行  
平成 11(1999)年 9 月 30 日第 6 版初刷発行(学生社)
- 3995) 「英語なぞなぞ集」(中村保男著) 岩波ジュニア新書 132  
昭和 62(1987)年 9 月 21 日第 1 刷発行(岩波書店)
- 3996) 「英語の語源」(渡部昇一著) 講談社現代新書  
昭和 52(1977)年 6 月 20 日第 1 刷発行  
昭和 54(1979)年 7 月 16 日第 7 刷発行(講談社)
- 3997) 「続・和英感情表現小辞典」(國弘正雄編著)  
昭和 57(1982)年 4 月 15 日初版発行(パナジアン)
- 3998) 「バイリンガル日本事典」 Bilingual  
平成 15(2003)年 6 月 13 日第 1 刷発行(講談社インターナショナル)
- 3999) 「日本文化を英語で紹介する事典」第 3 版(杉浦洋一＋ John K. Gillespie 共著)  
A Bilingual Handbook on Japanese Culture  
平成 5(1993)年 11 月 25 日第 1 版第 1 刷発行  
平成 11(1999)年 7 月 21 日第 2 版第 1 刷発行  
平成 16(2004)年 10 月 1 日第 3 版第 2 刷発行(ナツメ社)
- 4000) 「なぜ、日本人は？」(内池久貴＋ Office Miyako 著)(マイケル・ブレイズ訳)  
答えに詰まる外国人の質問 178 (Hard-to- Answer Questions about Japan)  
平成 19(2007)年 5 月 23 日第 1 刷発行(ジャパンプック)